

令和6年度

広島高速5号線料金所等新築その他工事

中山地区

令和6年11月

広島高速道路公社

図 面 目 録

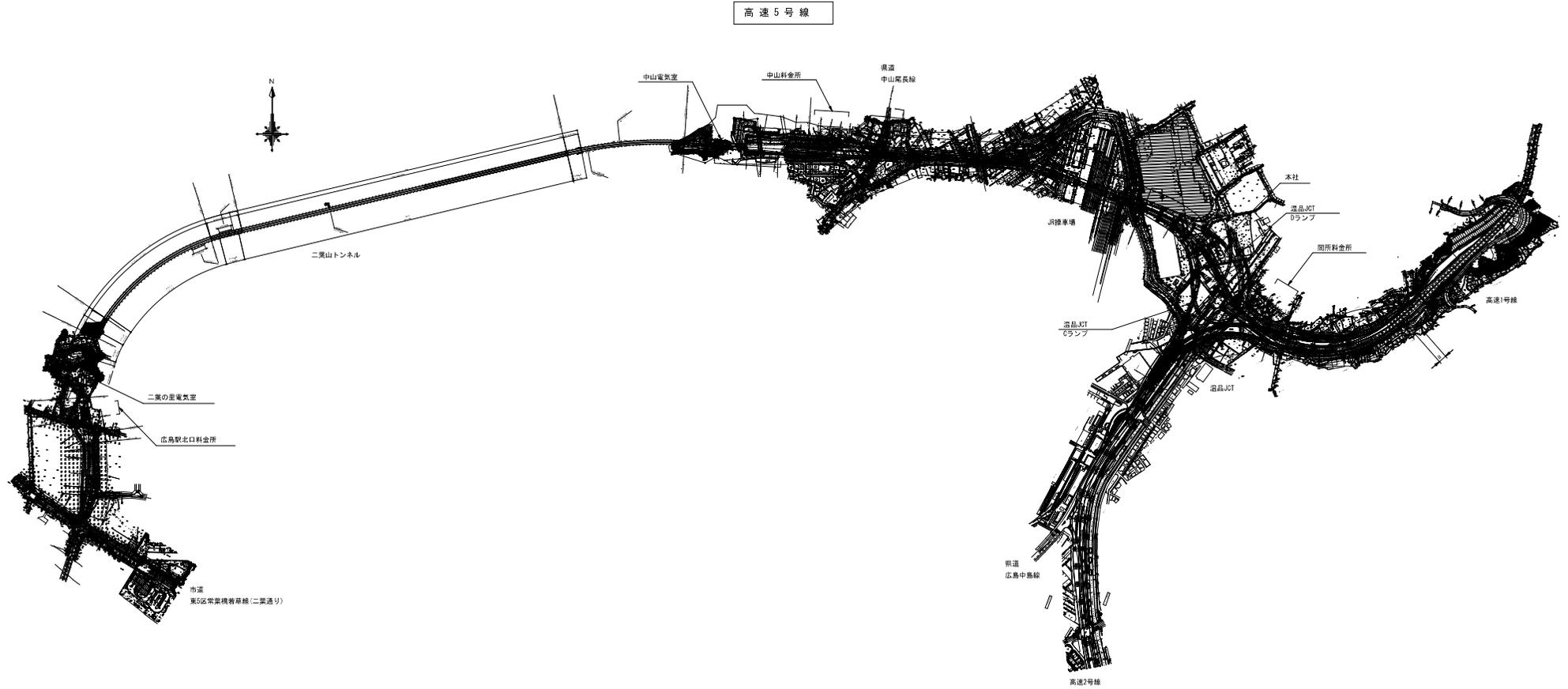
中山地区

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
	図面目録						
共-01	案内図	A-01	中山料金所 収受員待機室 配置図	BA-04	中山料金所 (OFF) サブプース建具表	E-01	中山料金所 電気設備 配置図
共-02	路線図(5号線)	A-02	中山料金所 (ON) 仕上表・平面図・求積図	BA-05	中山料金所 (OFF) 機械室2、サブプース プースアンカー詳細図	E-02	中山料金所 盤結線図・照明器具姿図 (収受員控室)
共-03	工事区分表	A-03	中山料金所 (ON) 平面詳細図			E-03	中山料金所 盤結線図 (OFFゲート)
		A-04	中山料金所 (ON) アイランド配筋要領図	CS-01	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	E-04	中山料金所 電気設備 平面図 (収受員待機室)
		A-05	中山料金所 (ON) 各部詳細図	CS-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)	E-05	中山料金所 電気設備 展開図 (収受員待機室)
		A-06	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 1	CS-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (3)	E-06	中山料金所 電気設備 平面図 (ONゲート)
		A-07	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 2	CS-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (4)	E-07	中山料金所 動力・コンセント・通信設備 平面図 (OFFゲート)
		A-08	中山料金所 (ON) 立面図	CS-05	中山電気室 伏図・軸組図	E-08	中山料金所 電灯設備 平面図 (OFFゲート)
		A-09	中山料金所 (ON) 断面図	CS-06	中山電気室 基礎リスト	E-09	中山料金所 (OFF) サブプース展開図
		A-10	中山料金所 (ON) 電波吸収パネル範囲図	CS-07	中山電気室 柱・梁・壁・スラブリスト	E-10	中山電気室 盤結線図
		A-11	中山料金所 (OFF) 仕上表・平面図・求積図	CS-08	中山電気室 架橋配筋詳細図	E-11	中山電気室 電気・通信設備 1階、2階平面図
		A-12	中山料金所 (OFF) 平面詳細図	CS-09	中山電気室 雑配筋詳細図	E-12	中山電気室 電気設備 1階、2階平面図
		A-13	中山料金所 (OFF) アイランド配筋要領図	CS-10	鉄骨構造標準図 (1)		
		A-14	中山料金所 (OFF) 各部詳細図	CS-11	鉄骨構造標準図 (2)		
		A-15	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 1	CS-12	EOP縦張標準工法標準図		
		A-16	中山料金所 (ON) PCプロテクター詳細図 2	CS-13	収受員待機室 ボーリング柱状図		
		A-17	中山料金所 (OFF) 立面図	CS-14	収受員待機室 伏図・軸組図		
		A-18	中山料金所 (OFF) 断面図	CS-15	収受員待機室 部材リスト		
		A-19	収受員待機室 仕上表・平面図・立面図・断面図	CS-16	収受員待機室 鉄骨詳細図		
		A-20	収受員待機室 平面詳細図・矩計図	CS-17	壁式配筋標準図 (1)		
		A-21	収受員待機室 展開図	CS-18	壁式配筋標準図 (2)		
		A-22	収受員待機室 建具表・外部片持ち屋根	CS-19	壁式配筋標準図 (3)		
		A-23	収受員待機室 部分詳細図	CS-20	中山料金所 (ON) 伏図・軸組図		
		A-24	中山電気室 配置図	CS-21	中山料金所 (ON) 部材リスト		
		A-25	中山電気室 仕上表・平面図・立面図・断面図	CS-22	中山料金所 (ON) 鉄骨詳細図		
		A-26	中山電気室 平面詳細図・矩計図	CS-23	中山料金所 (OFF) 伏図・軸組図		
		A-27	中山電気室 建具符号図・天井伏図・建具表	CS-24	中山料金所 (OFF) 部材リスト		
		A-28	中山電気室 展開図	CS-25	中山料金所 (OFF) 鉄骨詳細図		
		A-29	中山電気室 部分詳細図				
		BA-01	プース特記仕様書				
		BA-02	中山料金所 (OFF) サブプース仕上表 平面図・屋根伏図・立面図				
		BA-03	中山料金所 (OFF) サブプース展開図				

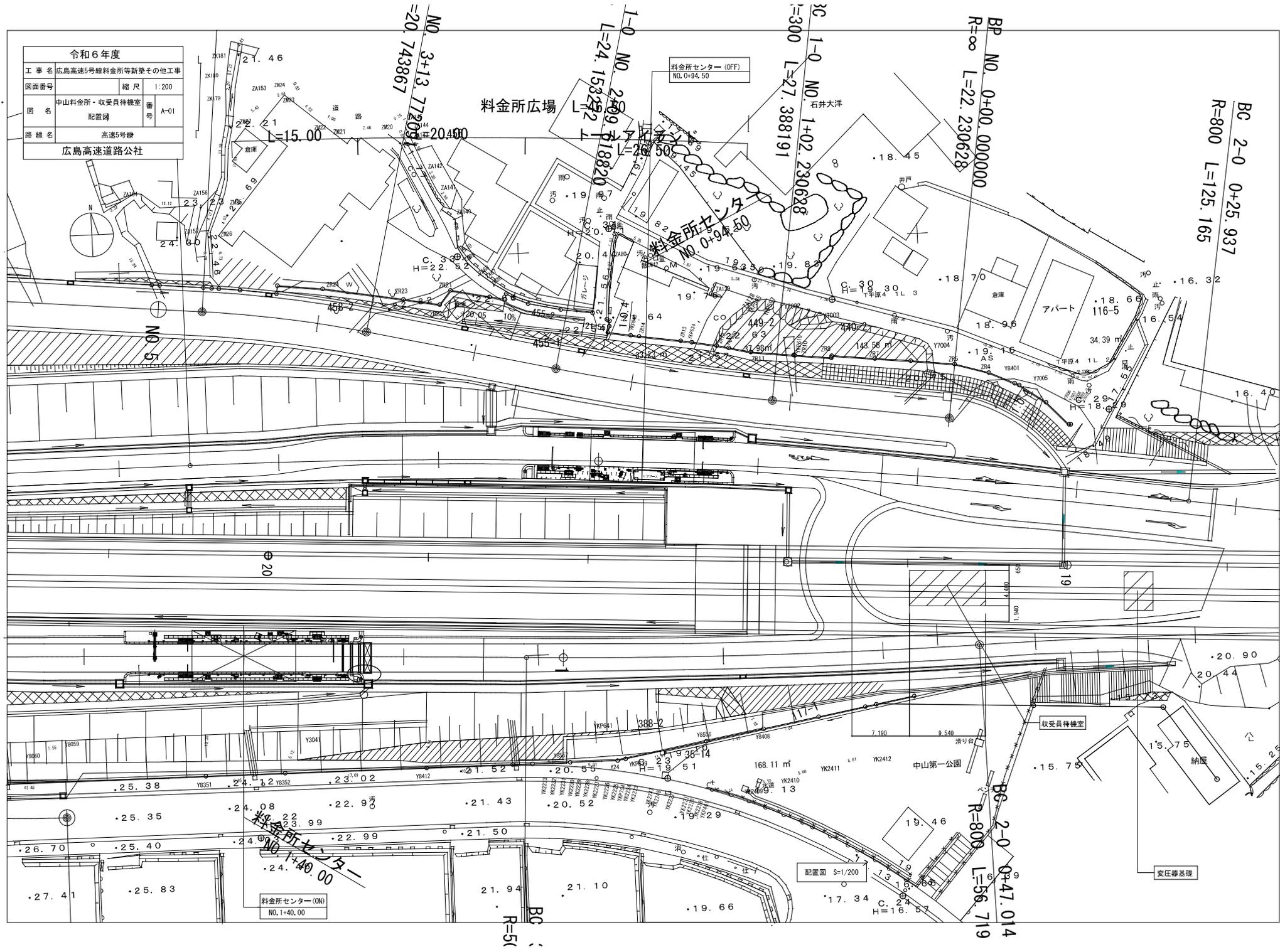
注 CS-05は欠番

令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等設置その他工事	
図面番号	縮尺	1:5000
図名	路線図	幅員 共-02
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		

路線図 S=1:5000



令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:200
図名	中山料金所・収受員待機室	番号 A-01
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		



料金所センター
NO. 1+40.00

料金所センター (ON)
NO. 1+40.00

料金所センター (OFF)
NO. 0+94.50

収受員待機室

配置図 S=1/200

変圧器基礎

料金所広場

料金所センター
NO. 0+94.50

井戸

倉庫

アパート

BC
R=56

BC 2-0
R=800
L=56.719
0+47.014

BC 2-0
R=800
L=125.165
0+25.937

BP NO. 0+00.000000
R=∞
L=22.230628

BC 1-0
R=300
L=27.388191
1+02.230628

BC 1-0
R=250
L=24.153292
2509.618820

BC 3+13
R=20
L=743867
77209.41

L=15.00

φ20

φ20

φ20

φ20

φ20

φ20

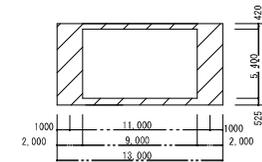
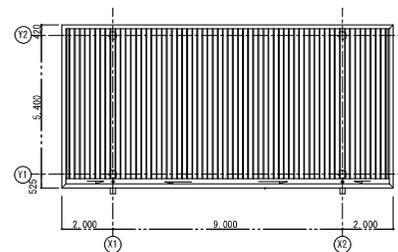
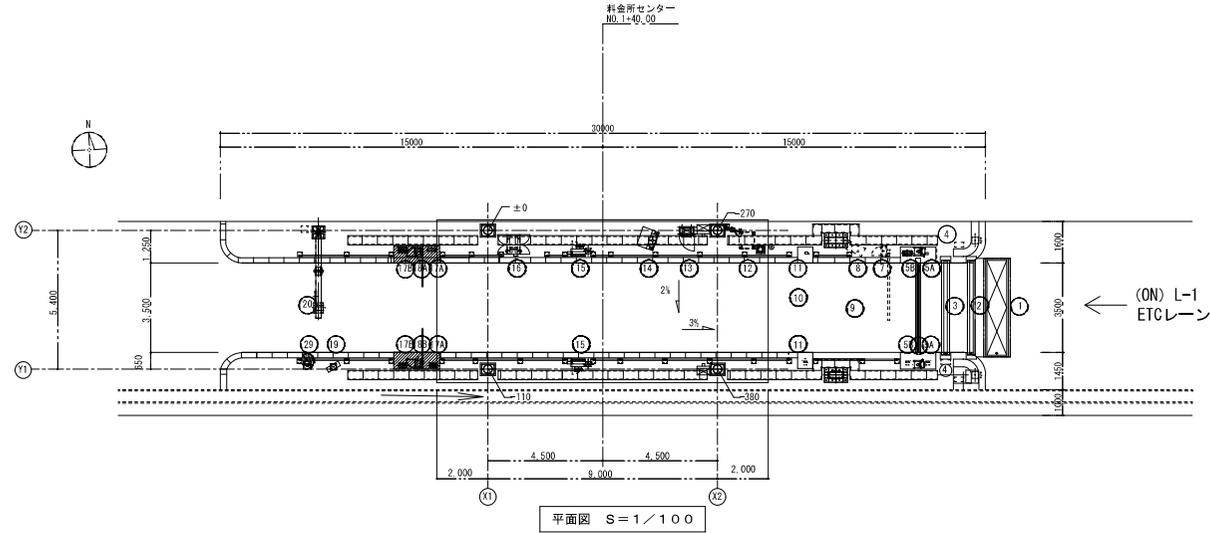
φ20

令和6年度	
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事
図面番号	縮尺 1:100, 1:200
図名	中山料金所(ON) 番号 A-02 仕上表・平面図・求積図
路線名	高速5号線
広島高速道路公社	

上屋 仕上表	
屋根	折板(フッ素鋼板) t=0.8(山高85以上)
幕板	フッ素樹脂鋼板 t=1.6
柱・梁	鋼管・形鋼 : 溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1)
壁樋	カラーVP100
その他	屋根下部防鳥ネット(ホリフレ製 440T 目合 20mm)、電波吸収パネル

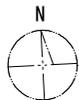
アイランド 仕上表	
アイランド	床版: コンクリート直均しの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1) プロテクター: コンクリート打放しフッ素樹脂系DP塗(DP-1)
防護柱	鋼管: 165.5φ加工 H=3900, H=1800、溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗(DP-1)
ピット蓋	GRC t=20
仕上ユニット	安全手摺、横断注意、注意喚起バー、車高計、電波吸収パネル

No.	機器名称	備考
○1	軸重計検出器	将来
○2	軸重計検出センサ1	
○3	軸重計検出センサ2、車高検知器	
○4	軸重計車高検知器	引込工事
○5	車高検知器 S1A	
○6	車高検知器 S1B	
○7	車高検知器(緊急検出用)	
○8	送断機	将来
○9	軸重計検出器	
○10	車高検知器	
○11	路側無線装置(第一)	
○12	車高検知器 S2	
○13	車高検知器	
○14	アイランド分電盤	
○15	路側表示器	
○16	アイランド用スイッチ	
○17	自動発券機	
○18	車高検知器 S4A	引込工事
○19	車高検知器 S4B	
○20	発券前照装置 右組	
○21	発券前照装置 左組	
○22	ICVカメラ	
○23	路側無線装置(第二)	
○24	送断機	
○25	自動発券機(左ハンドル用)	
○26	料金表示器	
○27	変圧器盤	
○28	車高監視制御盤(屋外型)	
○29	車高検知器 S4A(緊急検出用)	
○30	車高検知器 S4B(緊急検出用)	
○31	車高検知器 S1A(緊急検出用)	
○32	車高検知器 S1B(緊急検出用)	
○33	車高検知器	
○34	軸重計警告表示板	将来

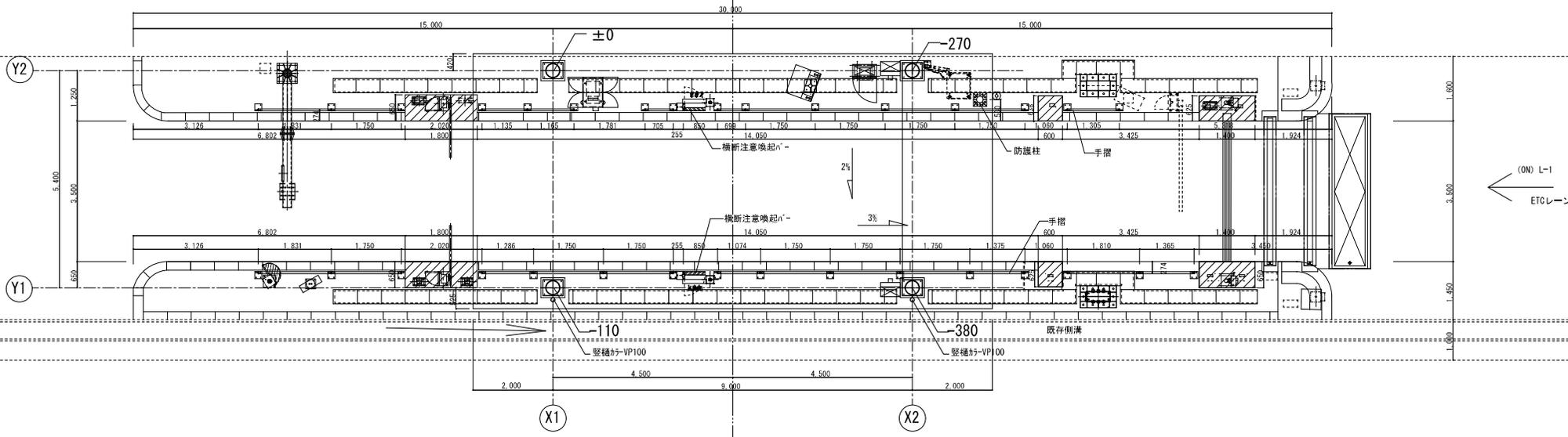


床面積	9×5.4=48.60	m ²
建築面積	11×5.4=59.40	m ²
屋根面積	13×6.345=82.48	m ²

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(ON) 平面詳細図	番号	A-03
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



料金所センター
NO. 1+40.00

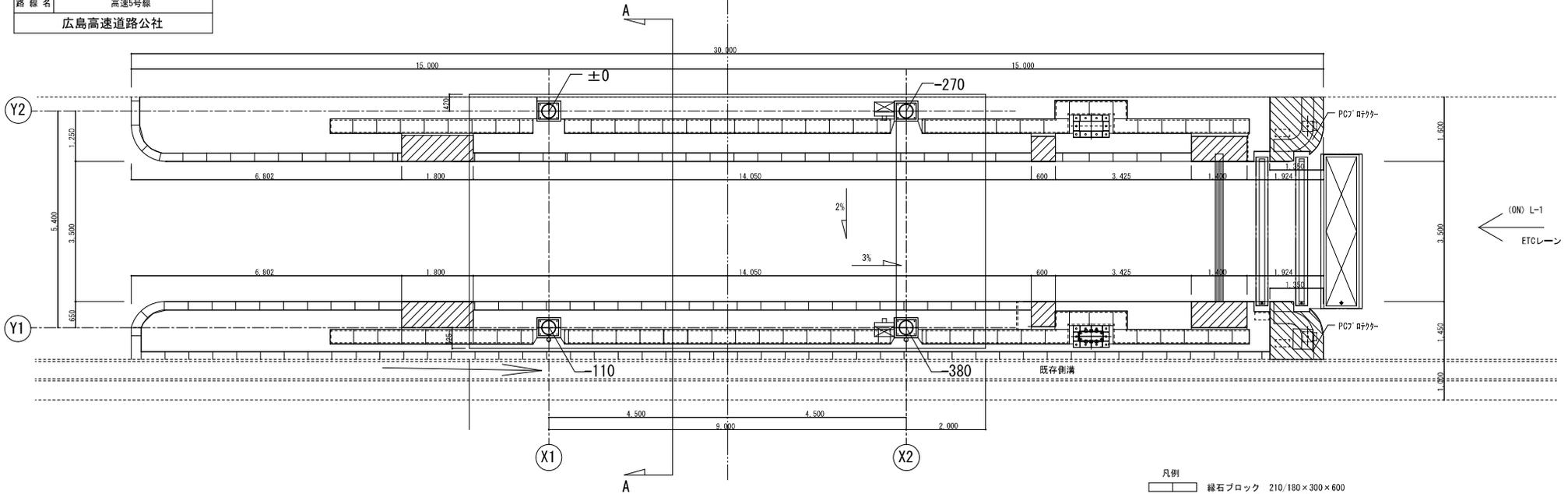


平面詳細図 S=1/50

令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:50
図名	中山料金所(ON) アイランド配筋要領図	番号 A-04
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		



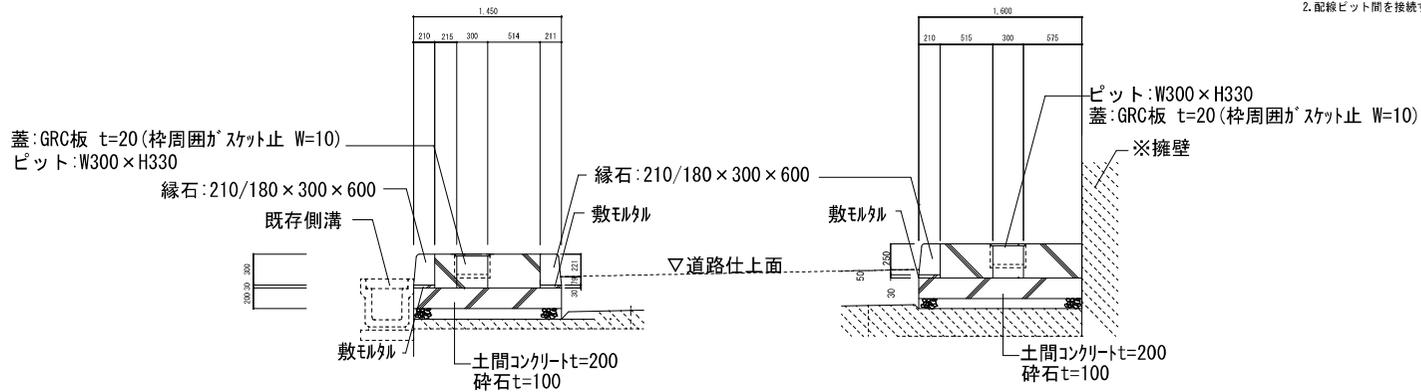
料金所センター
NO. 1+40.00



アイランド配筋要領図 S=1/30

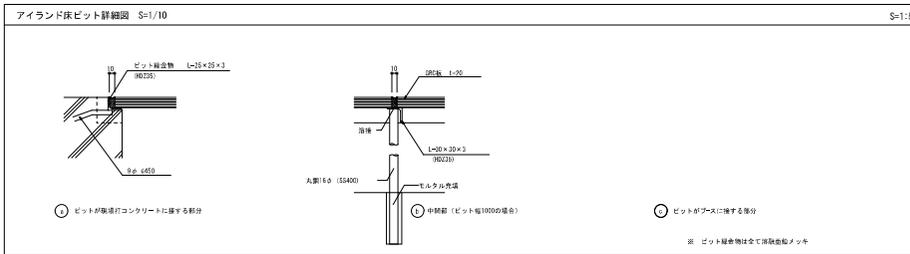
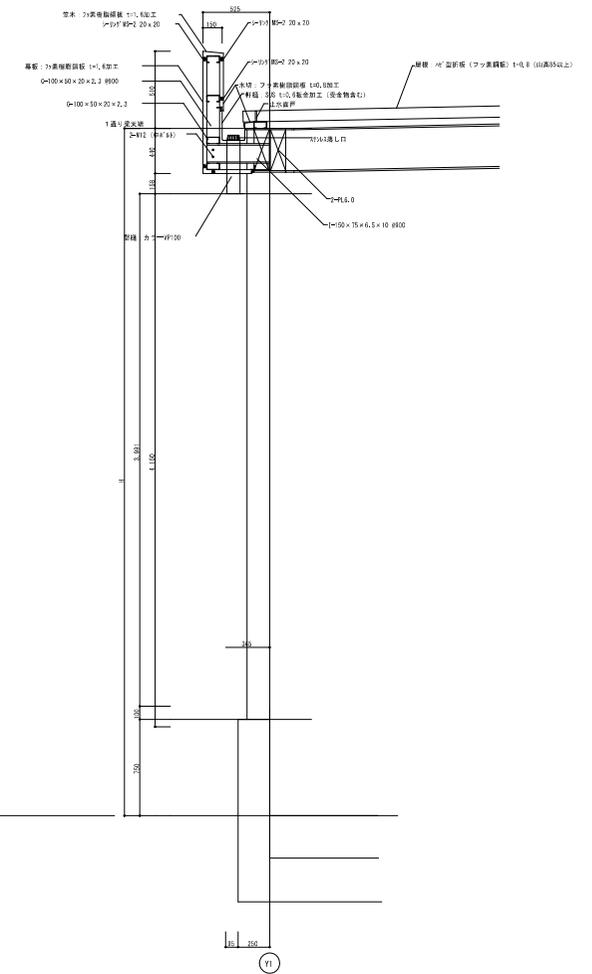
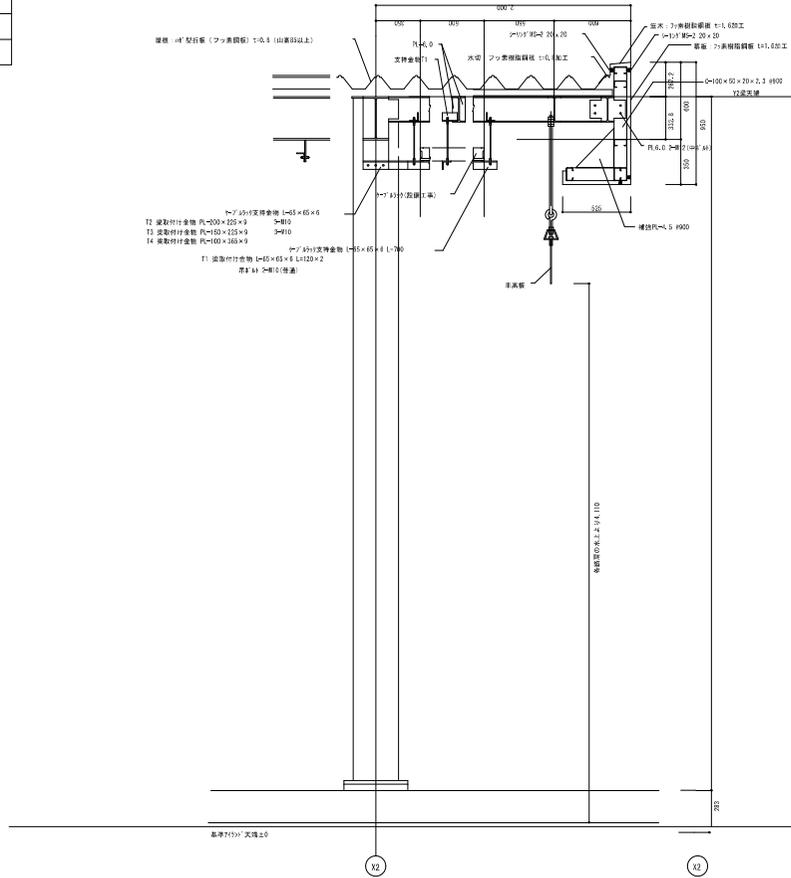
- 凡例
- 緑石ブロック 210/180×300×600
 - アイランド切込み 舗装面+100
 - PCコンクリート2次製品
 - アイランドコンクリート 舗装面より+250 FC24N S15
- *配線ピットには、水下に水抜き塩ビφ50を設置する。

- (注記)
1. アイランドの切込みと埋設配管の位置は、ETC設備工事業者と調整を行い決定すること。
 2. 配線ピット間を接続する埋設配管は、電気設備工事業者と調整を行い決定すること。



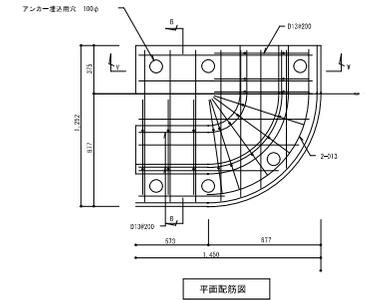
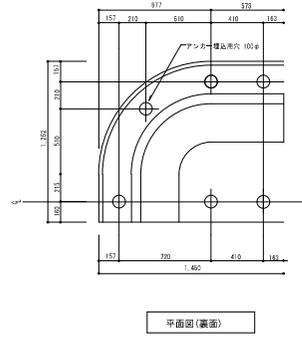
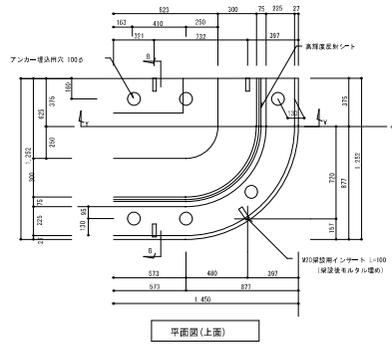
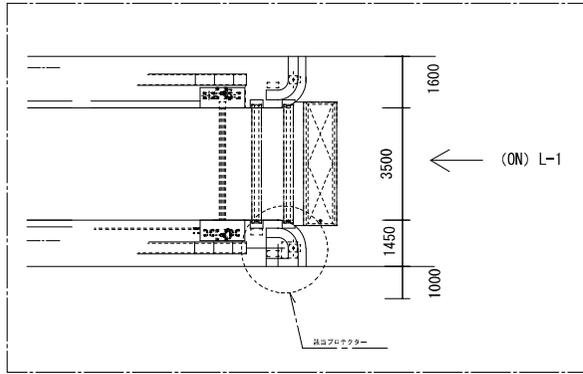
A-A断面図 S=1/15

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新設その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/20 1/10	
図名	中山料金所 (0N) 各部詳細図	構号	A-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

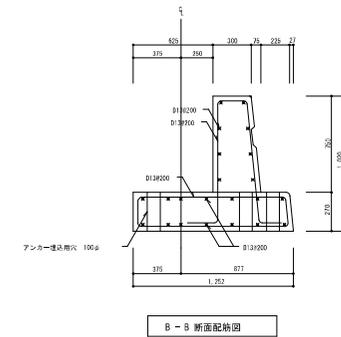
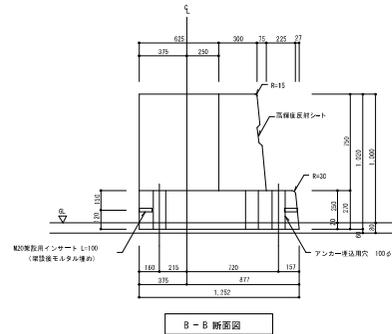
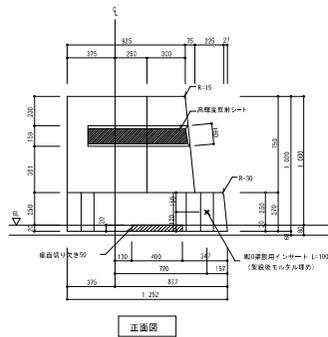
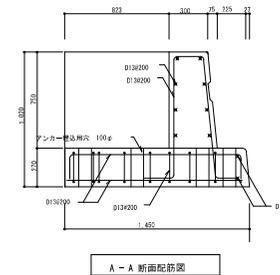
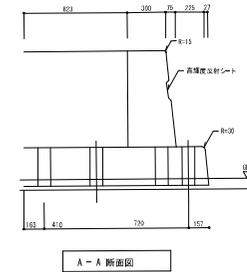
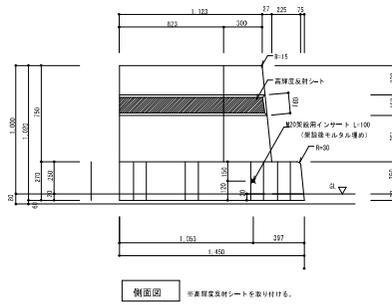
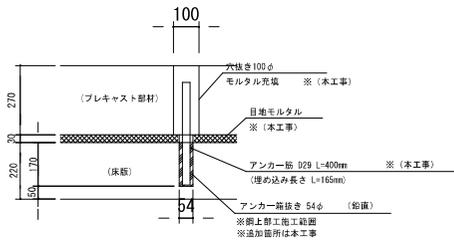


機材先詳細図 S=1/20

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S:1/20 1/10	
図名	中山料金所 PCプロテクター詳細図(1) ONランプ(1)	番号	A-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

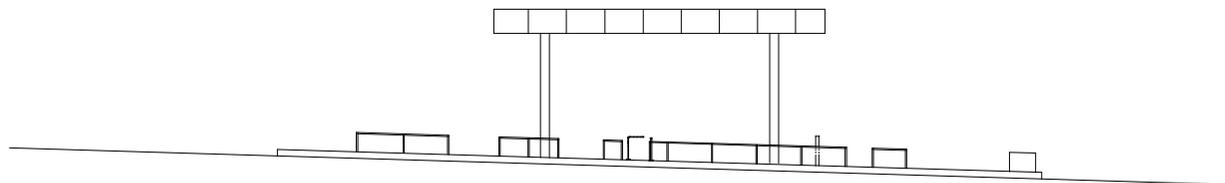


PCプロテクター固定部詳細図 S = 1 : 10

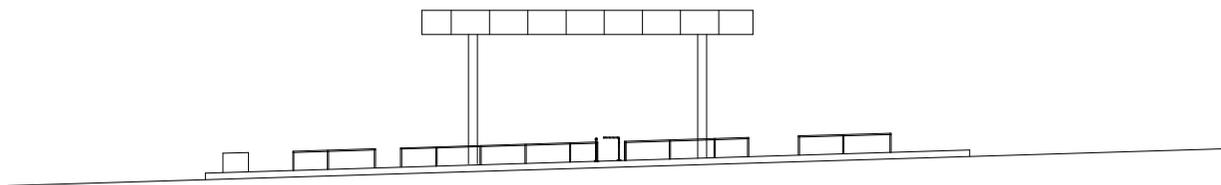


特別事項	
コンクリートの設計基準強度	f _{cd} =20 N/mm ²
鉄筋	S500A+101 品定
金物仕様	厚板埋込用シートの
その他	共通仕様書による

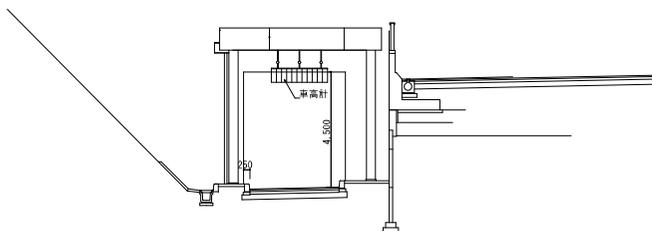
令和6年度			
工事名	広島高速5号検料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山料金所(ON) 立面図	番号	A-08
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



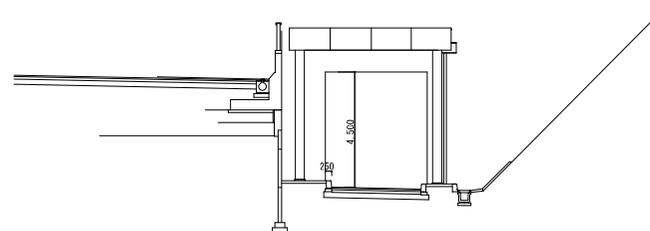
北立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

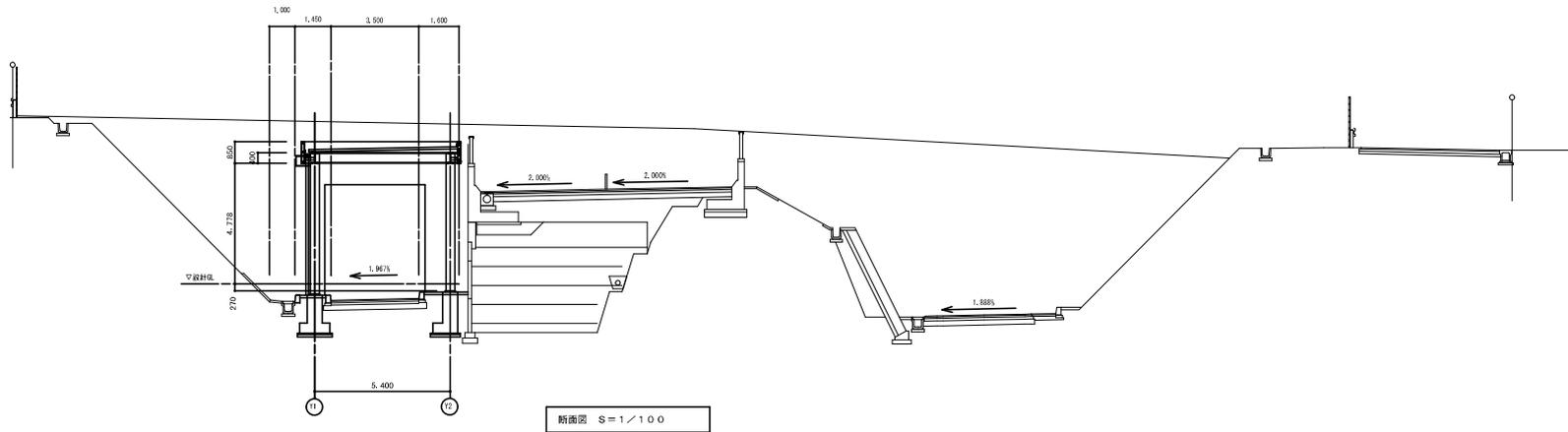


東側立面図 S=1/100

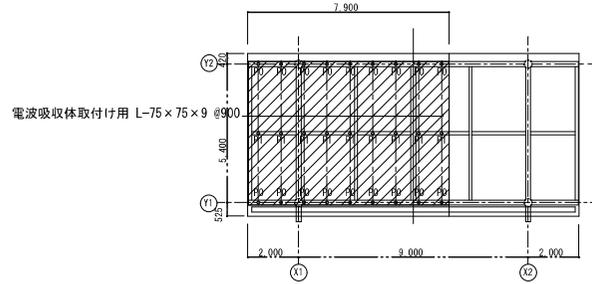


西側立面図 S=1/100

令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:100
図名	中山料金所 (ON) 断面図	欄位 A-09
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		



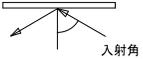
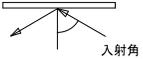
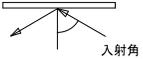
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号		縮尺	1:100, 1:200
図名	中山料金所(ON) 電波吸収パネル範囲図	番号	A-10
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



中山料金所(ON) 電波吸収パネル伏図

 電波吸収体パネル取り付け範囲を示す。

- P0 電波吸収体取り付け用ベース 80×100 1-M12
- P1 電波吸収体取り付け用ベース 80×140 1-M12
- P2 電波吸収体取り付け用ベース 80×240 1-M12

電波吸収パネル仕様	電波吸収パネルは、ETC路側機器設置レーン及びその隣接レーンに設置し、機能は以下のとおりとする。 (1) ETC路側装置のアンテナから放射される5.8GHz帯の電波波の内、 構造物からの不要反射波を吸収し、電波環境を整える。 (2) 通常火災等の災害時に、延焼しないものとする。								
電波吸収性能	パネルの電波吸収性能は、周波数5.8GHzの円偏波において、表1の特性を保証するものとする。 <table border="1" data-bbox="1070 1134 1787 1283"> <thead> <tr> <th>表1：電波吸収性能</th> <th>入射角</th> <th>円偏波</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$</td> <td>20dB以上</td> </tr> <tr> <td>$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$</td> <td>15dB以上</td> </tr> </tbody> </table>	表1：電波吸収性能	入射角	円偏波		$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$	20dB以上	$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$	15dB以上
表1：電波吸収性能	入射角	円偏波							
	$0^\circ \leq \theta \leq 40^\circ$	20dB以上							
	$40^\circ \leq \theta \leq 50^\circ$	15dB以上							
※三菱電線工業、新日本電波吸収体、積水樹脂の製品又は同等品以上とする。									

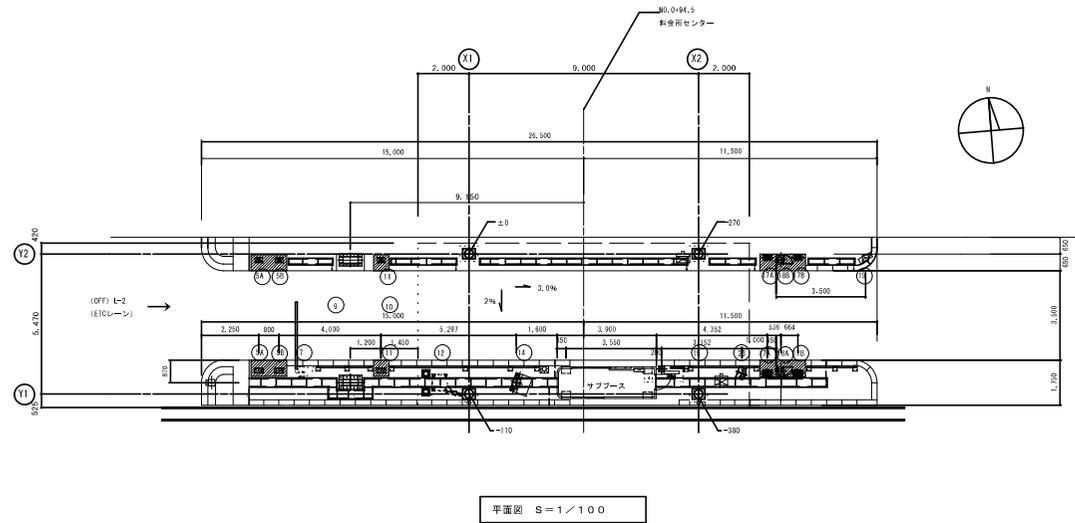
令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:100, 1:200
図名	中山料金所 (OFF)	番号 A-11
	仕上表・平面図・求積図	
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		

上屋 仕上表	
屋根	折板 (フッ素鋼板) t=0.8 (山高85以上)
幕板	フッ素樹脂鋼板 t=1.6
柱・梁	鋼管・形鋼 : 溶融亜鉛メッキの上、フッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
壁樋	カラーVP100
壁樋	カラーVP100
その他	屋根下部防鳥ネット (ホリフレ製 440T 目合 20mm)

アイランド 仕上表	
アイランド	床版 : コンクリート直均しの上、フッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
	プロテクター : コンクリート打放しフッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
防護柱	鋼管 : 165.5φ加工 H=3900, H=1800、溶融亜鉛メッキの上フッ素樹脂系DP塗 (DP-1)
遮断機	片支持タイプ
ピット蓋	GRC t=20
仕上ユニット	安全手摺、横断注意、注意喚起バー、車高計

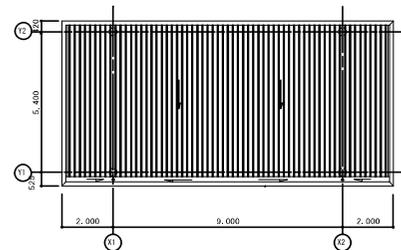
細部一覧表

記号	機器名称
①	車高検知器 S1A
②	車高検知器 S1B
③	車高検知器 (後身検知)
④	遮断機
⑤	車高検知器 (前)
⑥	車高検知器 (後)
⑦	車高検知器 S2
⑧	車高検知器 S2
⑨	車高検知器 S2
⑩	車高検知器 S2
⑪	車高検知器 S2
⑫	車高検知器 S2
⑬	車高検知器 S2
⑭	車高検知器 S2
⑮	車高検知器 S2
⑯	車高検知器 S2
⑰	車高検知器 S2
⑱	車高検知器 S2
⑲	車高検知器 S2
⑳	車高検知器 S2
㉑	車高検知器 S2
㉒	車高検知器 S2
㉓	車高検知器 S2
㉔	車高検知器 S2
㉕	車高検知器 S2
㉖	車高検知器 S2
㉗	車高検知器 S2
㉘	車高検知器 S2
㉙	車高検知器 S2
㉚	車高検知器 S2
㉛	車高検知器 S2
㉜	車高検知器 S2
㉝	車高検知器 S2
㉞	車高検知器 S2
㉟	車高検知器 S2
㊱	車高検知器 S2
㊲	車高検知器 S2
㊳	車高検知器 S2
㊴	車高検知器 S2
㊵	車高検知器 S2
㊶	車高検知器 S2
㊷	車高検知器 S2
㊸	車高検知器 S2
㊹	車高検知器 S2
㊺	車高検知器 S2
㊻	車高検知器 S2
㊼	車高検知器 S2
㊽	車高検知器 S2
㊾	車高検知器 S2
㊿	車高検知器 S2

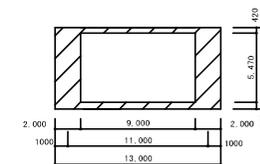


ブースリスト

サブブース	1,240W × 3,900L × 2,650H
-------	--------------------------



屋根伏図 S=1/100



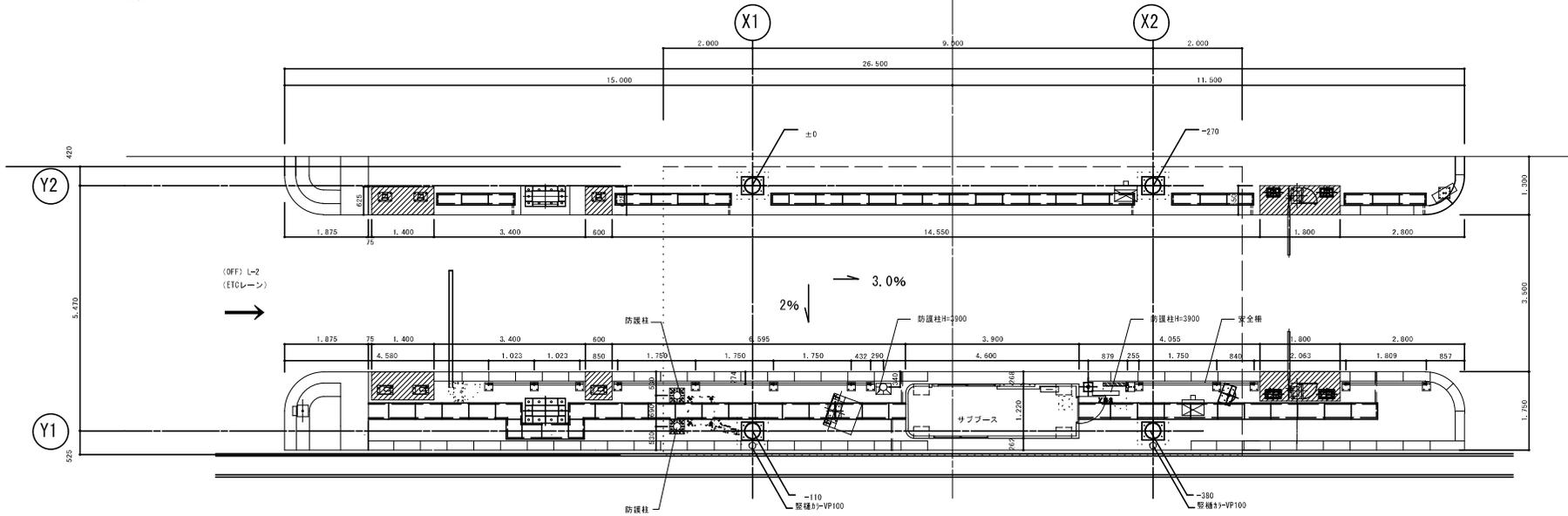
求積図 S=1/200

床面積	9 × 5.47 = 49.23	m ²
構造面積	11 × 5.47 = 60.17	m ²
屋根面積	13 × 6.415 = 83.40	m ²

令和6年度			
工事名	広島高速5号料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 (OFF)	番号	A-12
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

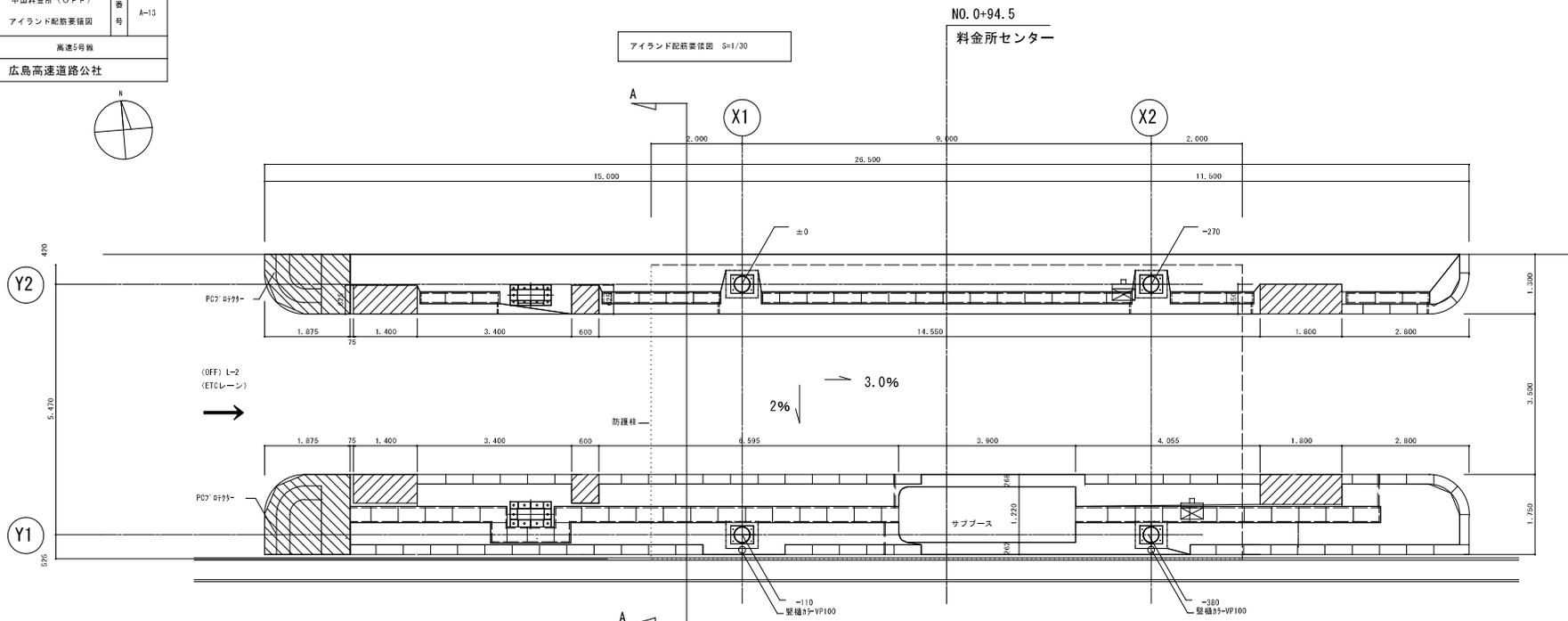


NO.0+94.5
料金所センター



平面詳細図 S=1/50

令和6年度			
工事名	高速5号線 料金所等新設工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 (OFF) アイランド配筋要保図	番 号	A-13
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



A-A断面図 S=1/15

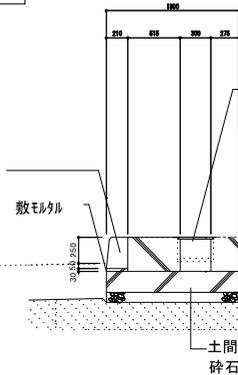
蓋: GRC板 t=20 (枠周囲がスガット正 W=10)
ピット: W300×H330

緑石: 210/180×300×600

既存側溝



▽道路仕上面



ピット: W300×H330
蓋: GRC板 t=20 (枠周囲がスガット正 W=10)

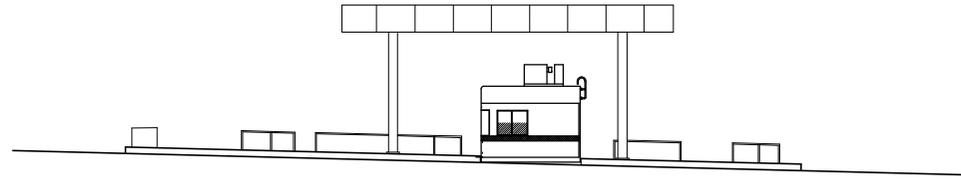
凡例

- 緑石ブロック 210/180×300×600
 - アイランド切込み 舗装面=100
 - PCコンクリート2次製成
 - アイランドコンクリート 舗装面より+250 FC24N S15
- * 配線ピットには、水下に承盤き地盤50を設置する。

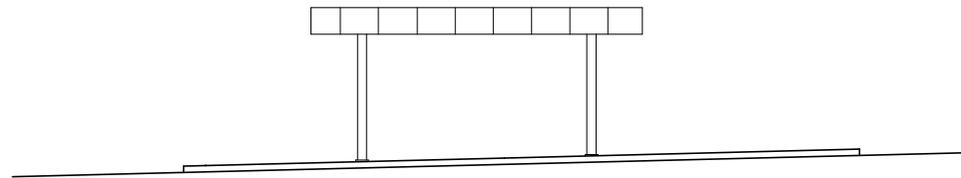
(注記)

1. アイランドの切込みと埋設配管の位置は、ETC設備工事業者と調整を行い決定すること。
2. 配線ピット間を接続する埋設配管は、電気設備工事業者と調整を行い決定すること。

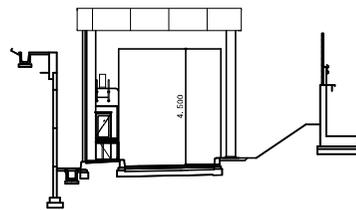
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:100, 1:200	
図名	中山料金所 (OFF) 立基図	番号	A-17
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



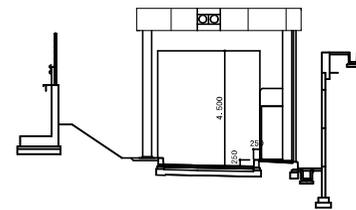
南側立基図 S=1/100



北側立基図 S=1/100



東立基図 S=1/100

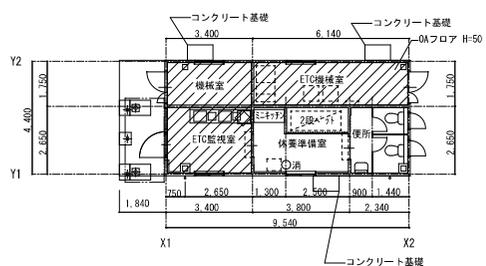


西立基図 S=1/100

令和6年度	
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事
図番	縮尺 1/100
図名	収受員待機室 仕上表・平面図 立面図・断面図
路線名	高速6号線
広島高速道路公社	

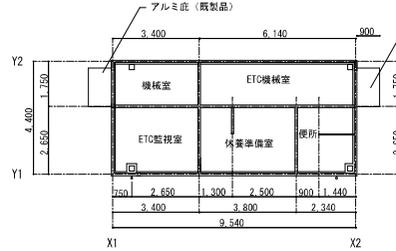
外壁仕上表		仕上		部位		仕上		部位		仕上	
種	ALC版 t=100の上、露出シート防水(外断熱・通熱工法) 一部 モルタル塗(水勾配付) 断熱材:ポリスチレンフォーム t=30	外壁	押出成形セメント板 t=60(リブ付) 縦貼 フッ素樹脂塗装 コーナー部:押出成形セメント板 t=60(平板) 縦貼 フッ素樹脂塗装 断熱材:グラスウール t=50	壁種	カラーVP(有塗装品) 75φ (ステンレス積み金物1200以内) 横引鉄製ドレイン75用	種	ALC版 t=50の上、露出シート防水立上げ アルミ製窓木(既製品) H=275	根廻り	コンクリート打放し	建具	アルミ製
庇	アルミ製(既製品) W=1500, D=900	ポーチ	床:コンクリートこて押入(水勾配付)	種	コンクリート基礎 1,000×600×150H						

内部仕上表		床		巾木		壁		天井		廻り縁		備考		
階	室名	下地	仕上	床高(F.L±)	仕上	高さ	下地	仕上	塗装	下地	仕上	天井高	廻り縁	備考
1階	ETC監視室	C	タイルカーペット t=6.5 OAフロア H=50	±0 (-50)	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼	塗装	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)	2.400	塩ビ製	横 ブラインド、ブラインドボックス
	休養準備室	C	ビニル床シート t=2.0	±0	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼	塗装	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)	2.400	塩ビ製	ミニキッチン:1060W×500D(冷蔵庫付)、2段ベッド カーテン(断熱) H=2000、ブラインド、ブラインドボックス
	便所	C	ビニル床シート t=2.0	±0	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼	塗装	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)	2.400	塩ビ製	カウンター天板:メラミン化粧板、洗濯機、鏡300×360 吊戸棚:メラミン化粧板フラッシュ400×130
	機械室・ETC機械室	C	ビニル床タイル t=2.0 OAフロア H=50	±0 (-50)	ビニル巾木	60	LGS	石膏ボード t=12.5(不燃) ビニルクロス貼	塗装	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)	2.400	塩ビ製	



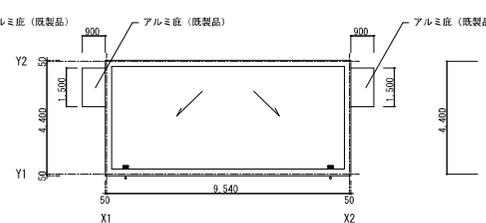
凡例: 消○ ABC粉末消火器10型を示す

平面図 S=1/100

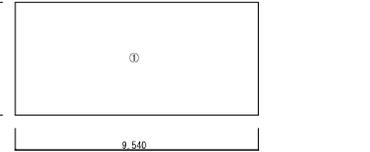


天井仕上げ:化粧石膏ボード t=9.5(不燃)

天井伏図 S=1/100

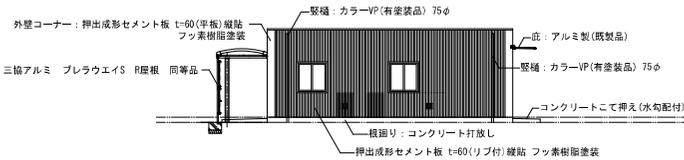


壁状図 S=1/100

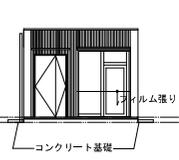


建築面積	9.54 × 4.40 = 41.976㎡	41.97㎡
床面積	9.54 × 4.40 = 41.976㎡	41.97㎡

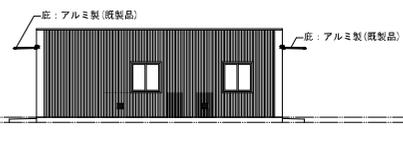
求積図 S=1/100



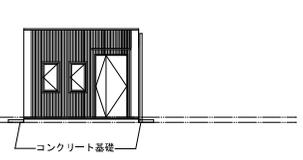
南立面図 S=1/100



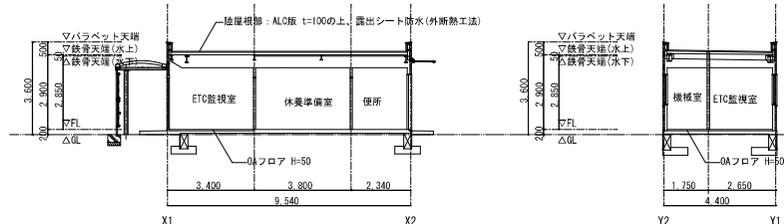
西立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



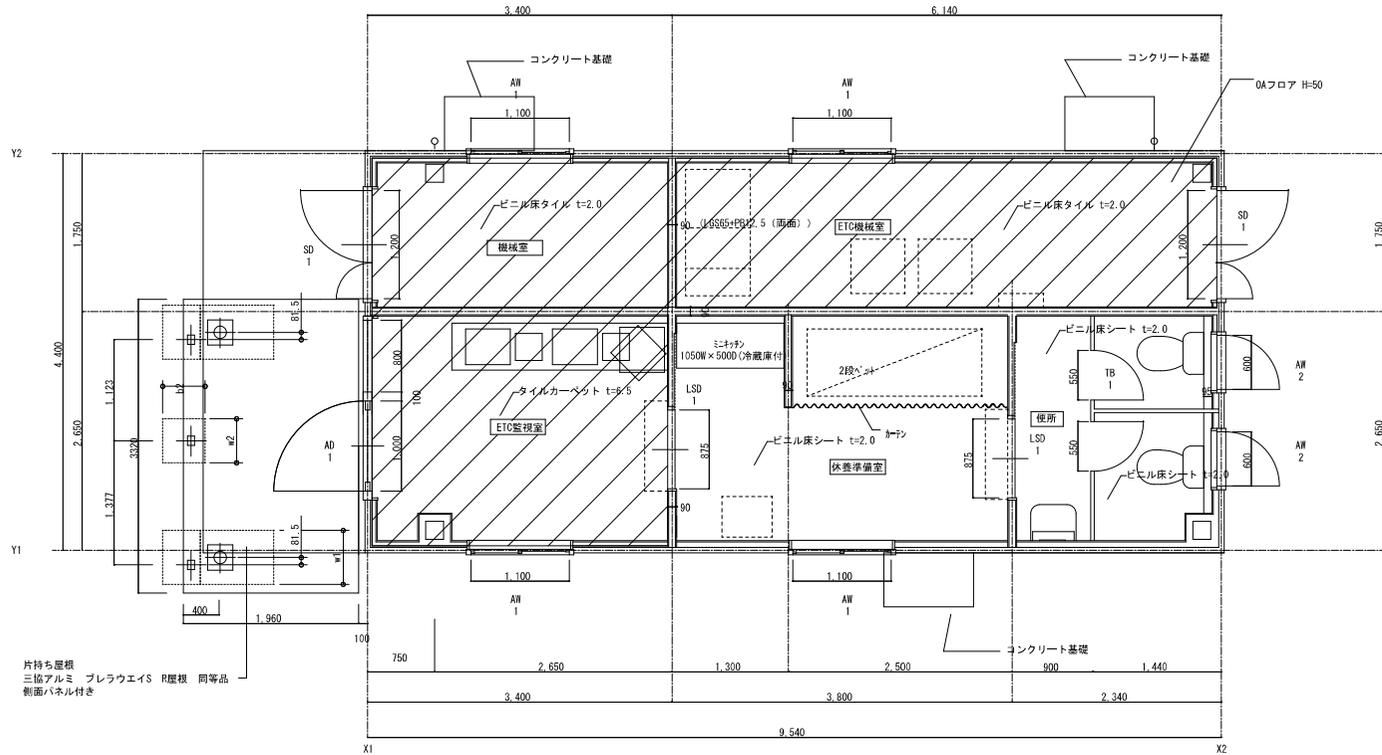
東立面図 S=1/100



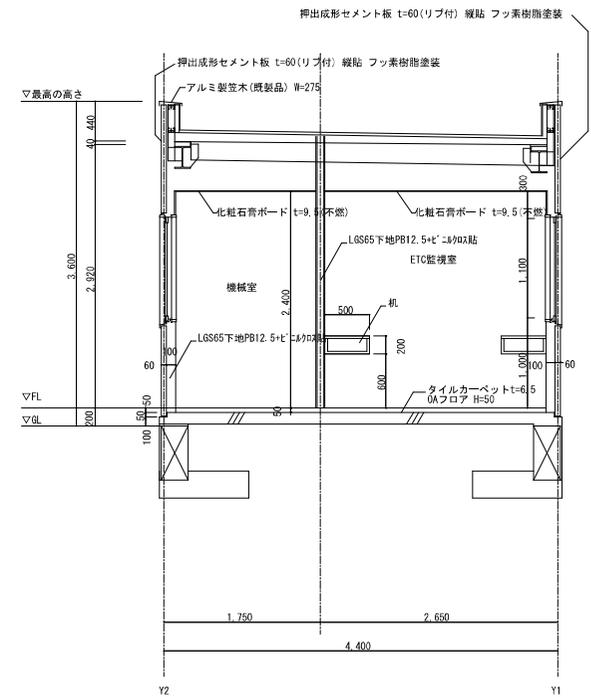
断面図 S=1/100

断面図 S=1/100

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	収受員待機室 平面詳細図・矩計図	番号	A-20
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



平面詳細図 S=1/30

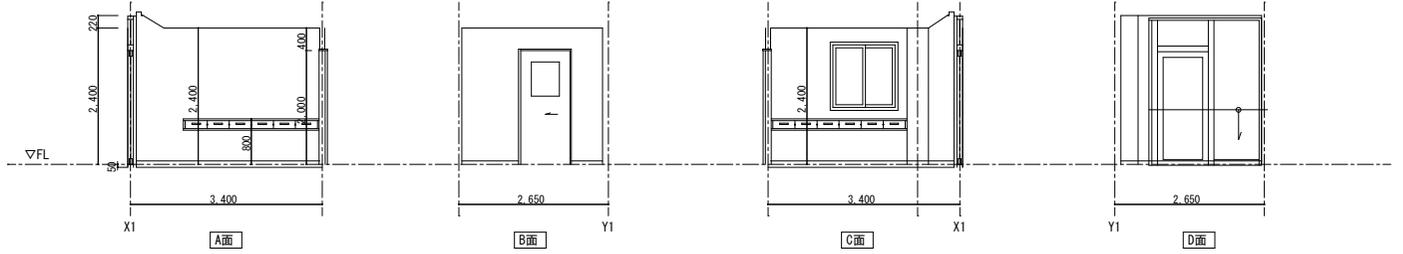


机仕様
天板: メラミン化粧板 (3mm厚 t=30)
引出し: 前板付メラミン化粧板貼
内部: ポリ合板
スライドレール、取手 (スチール)
脚板: メラミン化粧板貼

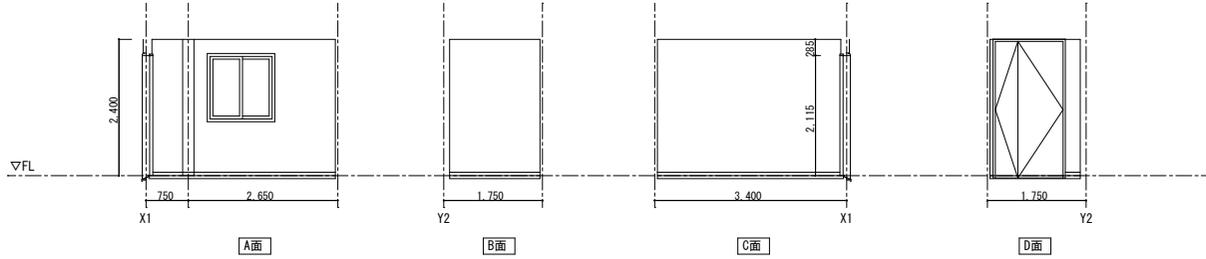
矩計図 S=1/30

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	収受員待機室 展開図	番号	A-21
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

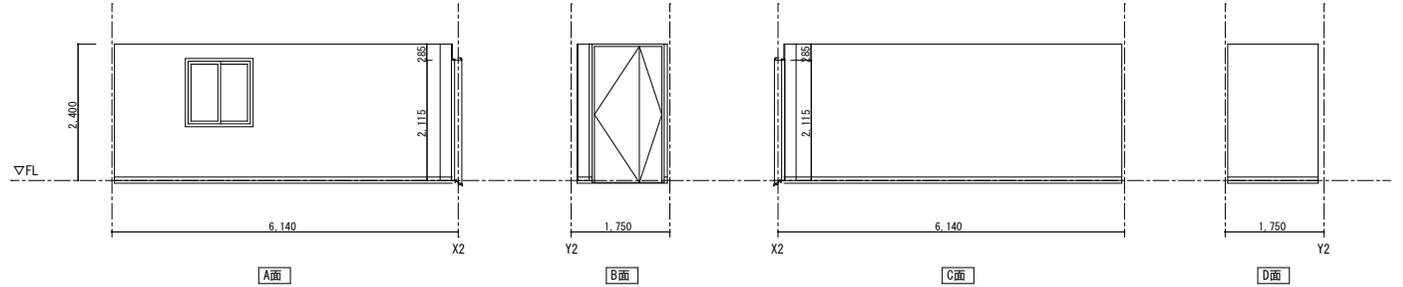
室名	ETC監視室
床	タイルカーペットt=6.5 OAフロアH=50
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	机、ブラインド、ブラインドボックス



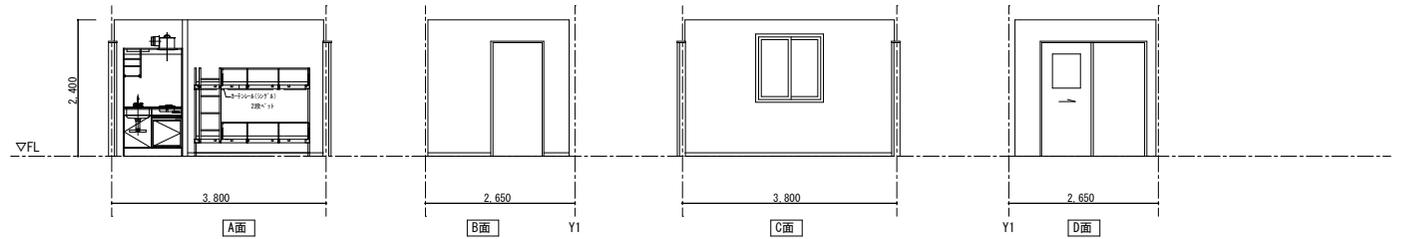
室名	機械室
床	ビニル床タイルt=5.0 OAフロアH=50
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	



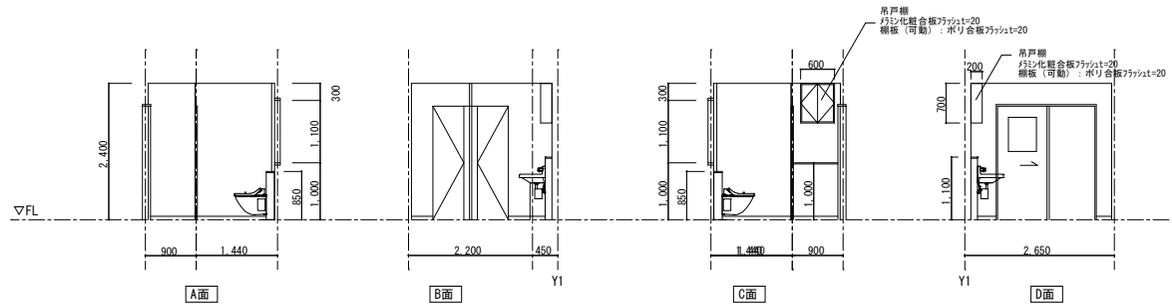
室名	ETC機械室
床	ビニル床タイルt=5.0 OAフロアH=50
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	



室名	休養準備室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	ミニキッチン: 1050W×500D(冷蔵庫付)、量カーテン(防虫) H=2000、ブラインド、ブラインドボックス

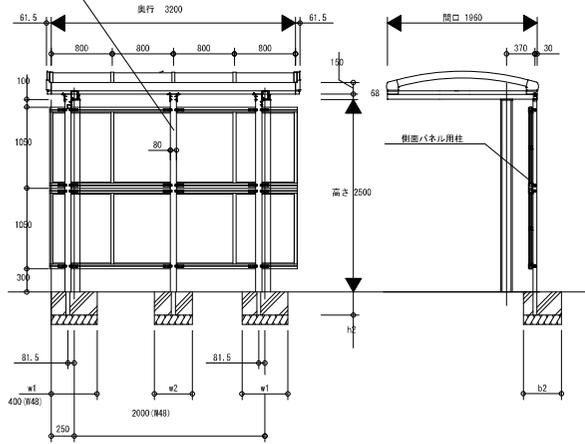


室名	便所
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=9.5(不燃)
備考	カウンター天板:メラミン化粧板、洗面器、鏡 吊戸棚:メラミン化粧板フラッシュ

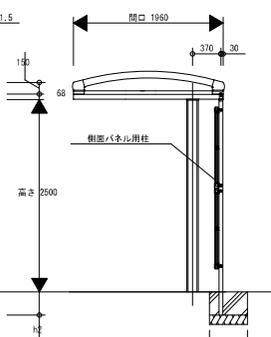


令和6年度			
工事名 広島高速5号線料金所等新築その他工事			
図面番号	縮尺	1:50	
図名	収受員待機室	番号	A-22
建具表・外部片持ち屋根			
路線名 高速5号線			
広島高速道路公社			

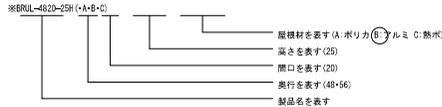
側面パネル用柱



ベースプレート部詳細



規格寸法一覧			
W48	W56	間口(D)	高さ(H)
BRUL-4820-25H(A+B+C)	WRUL-5620-25H(A+B+C)	20	25



部材リスト		
名称	材質	規格
桁	アルミ合金押出型材	A2015-15
パネル押え	アルミ合金押出型材	A6063S-15
柱カバリー	アルミ合金押出型材	A6063S-15
腕木カバリー	アルミ合金押出型材	A6063S-15
垂木	アルミ合金押出型材	A6063S-15
パネル押え	アルミ合金押出型材	A2015-15
裏垂木	アルミ合金押出型材	A6063S-15
中継	アルミ合金押出型材	A6063S-15
側面パネル柱	アルミ合金押出型材	A2015-15

部品リスト		
名称	材質	規格
柱	一般練成用角形鋼管	STR400 Z18
腕木	一般練成用角形鋼管	STR400 Z18
折連結ブラケット	一般練成用圧延鋼材	SS400
端部キャップ	アルミニウム合金鋳物	AC3A
屋根パネル	ポリカーボネート板(t=2.5) 熱線遮断ポリカーボネート板(t=2.5) アルミニウム板(t=2.0)	DM-0054 DM-0054 A1100P-H14
ビスボルト類	ステンレス	

■地耐力の簡易判別法			
地層の硬さ	表層り	推定地耐力 Gk(N/m ²)	
粘土質	極軟	軟弱を容易に押し込むことができる	20以下
	軟	シャベルで容易に掘れる	30
	中位	シャベルに力を入れて掘る	50
	硬	シャベルを強く踏んでようやく掘れる	100
地下水面上の砂質土	極硬	つるはしが必要	200
	非常にゆるい	孔壁が崩れやすく、深い足跡ができる	30以下
	ゆるい	シャベルで容易に掘れる	50
	中位	シャベルに力を入れて掘る	100
硬	シャベルを強く踏んでようやく掘れる	200	
密	つるはしが必要	300	

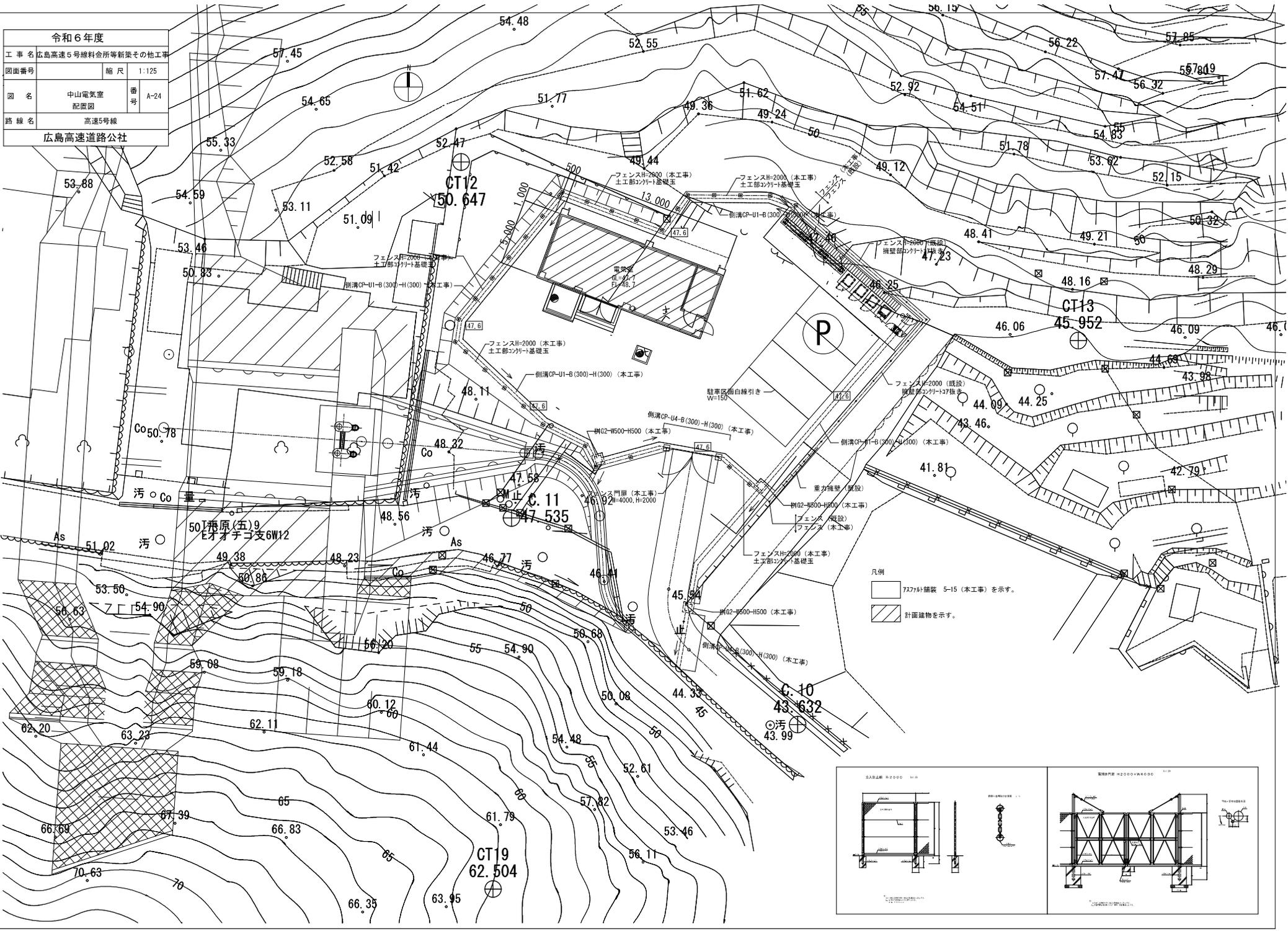
■基礎寸法(本体)					
側面パネル	地耐力 (kN/m ²)	築地境界線まで の距離 (mm)	b1 (mm)	w1 (mm)	h1 (mm)
なし	30≦N<50	L≦500	1150	800	500
		L>500	1000	600	500
有り	30≦N<50	L≦500	1150	800	500
		L>500	1000	500	500
有り	50≦N	L≦500	1250	800	500
		L>500	1200	600	500
有り	50≦N	L≦500	1250	800	500
		L>500	1200	600	500

■基礎寸法(側面パネル)				
長期地耐力 (kN/m ²)	築地境界線まで の距離 (mm)	b2 (mm)	w2 (mm)	h2 (mm)
30≦N<50	L≦500	750	750	300
	L>500	500	500	300
50≦N	L≦500	700	700	300
	L>500	500	500	300

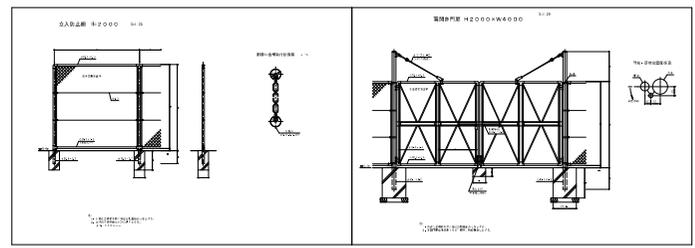
●地耐力が30kN/m²
●地耐力の簡易判別方法は上表を参照してください。

符号名称	SD 1	AD 1	
位置数	機械室・ETC機械室 2	ETC監視室 1	
形状寸法			
材質	扉: スチール t=1.6 枠: スチール t=2.3	アルミ	
仕上	SOP塗装	アルマイト	
金物	シリンダー木締め釘・レバーハンドル・丁寧・戸当り(付付) フランス落とし・ドアチェック	付属金物1式、シリンダー錠、丁寧、取手(ステンレス) アングルベース (3方) アルミ鋼線	
硝子		納入り透明ガラスt=6.8	
見込	枠: 100 扉: 40	100	
備考	仕様: SUS304 t=2.0	タチ型'ブラッド'	
符号名称	AM 1	AM 2	LS2 1
位置数	機械室・ETC機械室・ETC監視室・休養準備室 4	便所 2	休養準備室 2
形状寸法			
材質	アルミ	アルミ	スチール
仕上	アルマイト	アルマイト	化粧鋼板
金物	付属金物1式、アルミ水切り、納戸 アングルベース (4方) アルミ鋼線	付属金物1式、アルミ水切り、納戸 アングルベース (4方) アルミ鋼線	ハンガーレール、戸車、引手、シリンダー錠 アングルベース (4方) アルミ鋼線
硝子	納入り透明ガラスt=6.8	納入り透明ガラスt=6.8	型枠ガラスt=4
見込	70	70	110
備考	ブラッド'	ブラッド'	ステンレス仕様
符号名称	TR 1		
位置数	トイレブース 1		
形状寸法			
材質	F31化粧板		
仕上	F31化粧板		
金物	タチ型高板、SUS304M-40、戸当たり衣箱掛け ラバトリーヒンジ、付属金物1式		
硝子	納入り透明ガラスt=6.8		
見込	40		
備考			

令和6年度		
工事名 広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:125
図名	中山電気室 配設図	番号 A-24
路線名 高速5号線		
広島高速道路公社		



凡例
 7/27斜め舗装 5-15 (本工事) を示す。
 計画建物を示す。



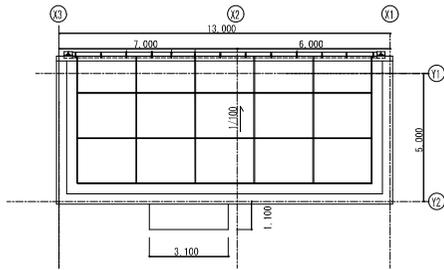
令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:100
図名	中山電気室	番号 A-25
路線名	広島高速5号線	
広島高速道路公社		

外部仕上表 (電気室)

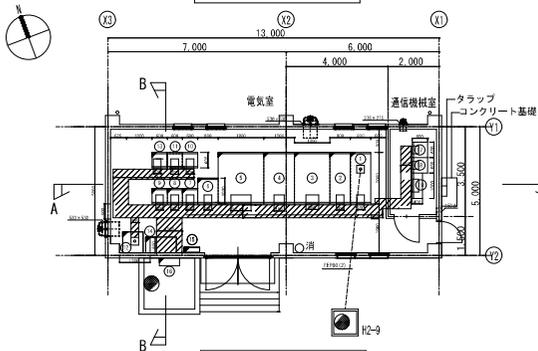
屋根	コンクリート直均し (水勾配1/100付) の上、屋根保護防水密着断熱工法 (A1-1) (断熱材: 押出法ポリスチレン保温板3種Bスキン層付) 押及コンクリート (溶接金網φ6×100×120敷込み) ±0直均し 底形俣野目地材H=25	種	・タラップ: ステンレス製タラップφ22 W=400 (既製品、H.H脚)
外壁	コンクリート打放し (B種) の上、被覆塗材RC (断熱材1種) 水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂エナメル		・タテ樋: 57-VP100 (有塗装品) 2ヶ所・鋼鉄製ルーフトレイン: 呼称100φ用2ヶ所・オーバーフロー管VP60φ
視廻り	コンクリート打放し (B種)		・ハンドホール: 鋼鉄製マンホール蓋600φ簡易密閉型 (歩行用) 銀付き
建具	搬入口: 鋼製扉 (30P 性能等級: 気密性A-3 水密性B-1)		・コンクリート基礎1100×600×150H
土間 (搬入口部)	コンクリート直均し仕上		

内部仕上表

階数	室名	床	床高 (FL)	巾木	内 壁	外部に面する内壁	天 井	天井高	備 考	
1 階	電気室	下地 嵩上げコンクリート直均し下地 t=300 (溶接金網φ6×100×100敷込み)	SL+300	---	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	直 天	・配線用ビッド (H=300)
		仕上 帯電防止ビニル床シート t=2.0								
1 階	通信機械室	下地 嵩上げコンクリート直均し下地 t=300 (溶接金網φ6×100×100敷込み)	SL+300	---	ビニル巾木 H=75	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	コンクリート打放し EP-G	直 天	・配線用ビッド (H=300)
		仕上 帯電防止ビニル床シート t=2.0								



屋根伏図 S=1/100



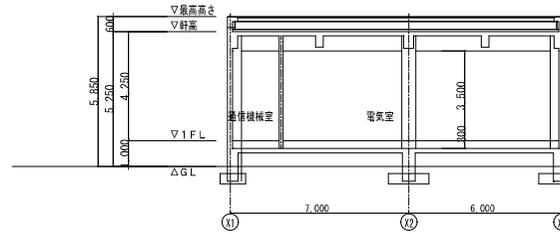
平面図 S=1/100

機器リスト

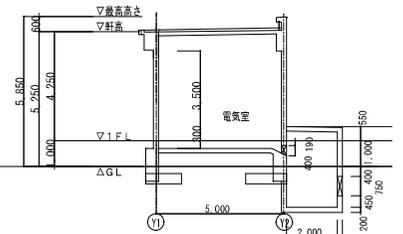
番号	名 称	備考
①	受電盤	
②	変圧機一次盤	
③	動力変圧機盤	200kVA
④	照明変圧機盤	75kVA
⑤	所内変圧機盤	20kVA
⑥	直流電源装置	
⑦	消防制御盤	
⑧	消防コントロールセンター (1)	
⑨	照明コントロールセンター (2)	
⑩	緑地用換気制御盤	
⑪	換気コントロールセンター (1)	
⑫	保守用変圧機盤	20kVA
⑬	LP S	1kVA
⑭	保守用切替盤	
⑮	接地端子盤	
⑯	保守用接続箱	
⑰	IP-6子局	
⑱	通信機器収納箱	
⑲	MDF	

* 機器は別途工事

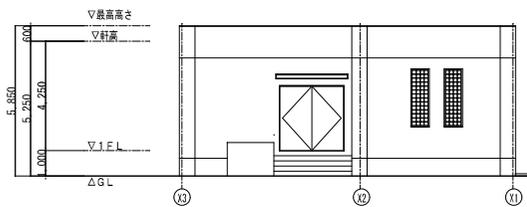
①: 200kVA, ②: 75kVA, ③: 20kVA, ④: 20kVA, ⑤: 1kVA, ⑥: 20kVA, ⑦: 1kVA, ⑧: 20kVA, ⑨: 20kVA, ⑩: 20kVA, ⑪: 20kVA, ⑫: 20kVA, ⑬: 1kVA, ⑭: 20kVA, ⑮: 20kVA, ⑯: 20kVA, ⑰: 20kVA, ⑱: 20kVA



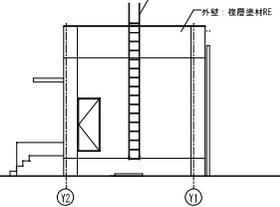
A-A断面図 S=1/100



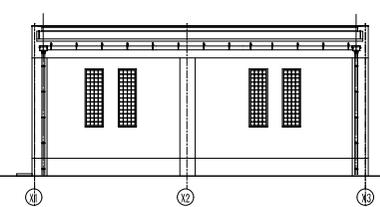
B-B断面図 S=1/100



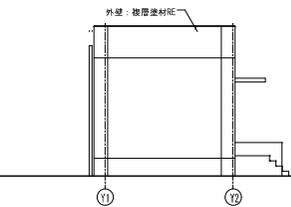
南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100

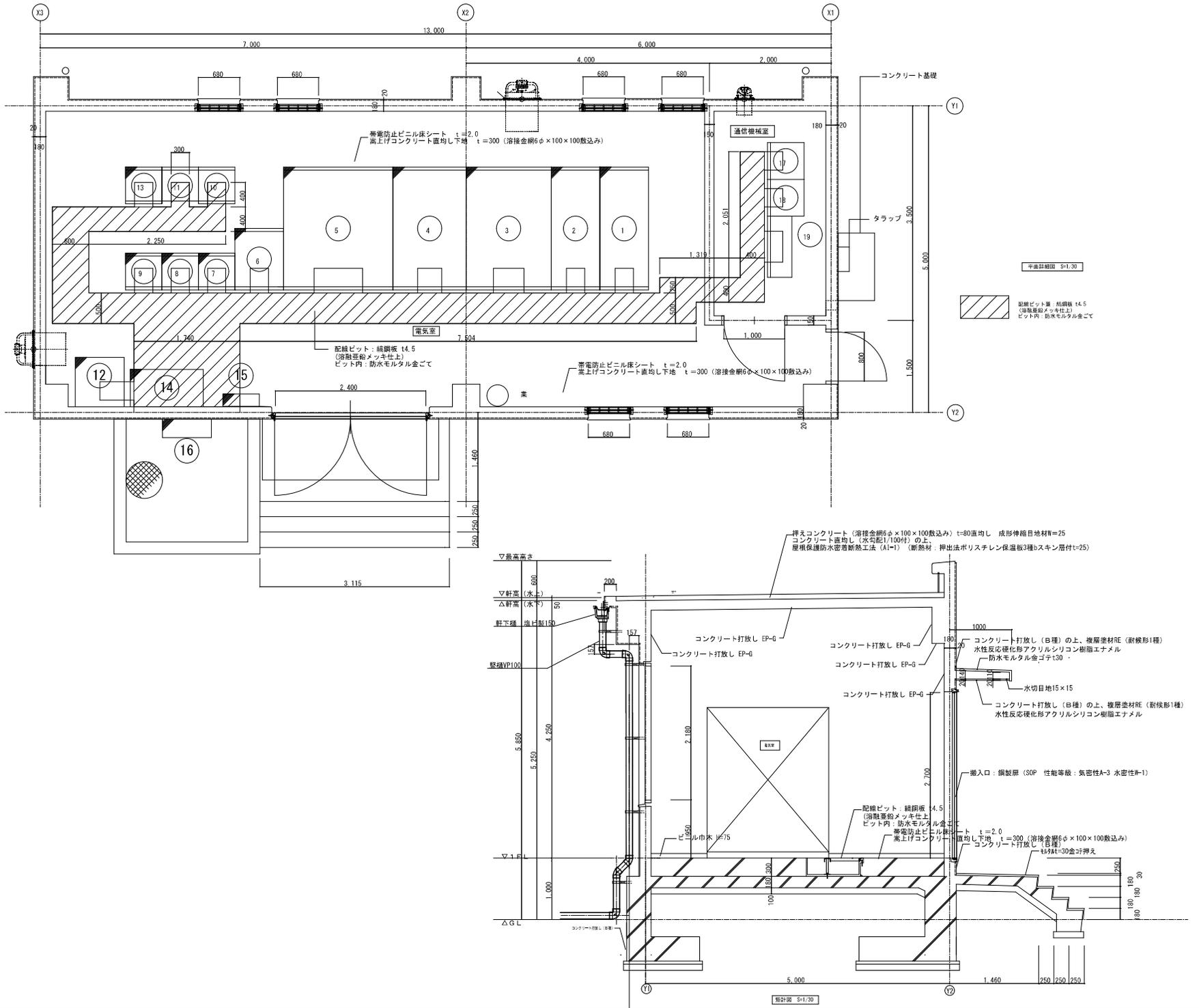


北立面図 S=1/100

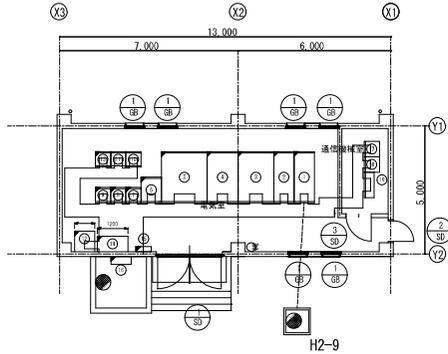


西立面図 S=1/100

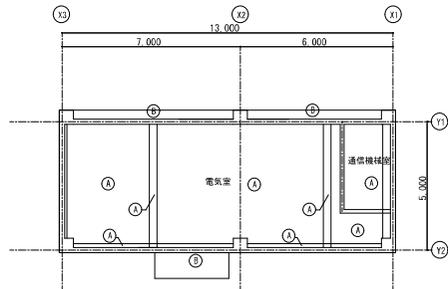
令和6年度			
工事名 広島高速5号線料金所等新築その他工事			
図面番号	縮尺	1:30	
図名	中山電気室 平面詳細図・矩計図	番号	A-26
路線名 高速5号線			
広島高速道路公社			



令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:100
図名	中山電気室 建具符号図・天井伏図 建具表	番号 A-27
路線名	高速5号線	
広島高速道路公社		



建具符号図 S=1/100



天井伏図 S=1/100

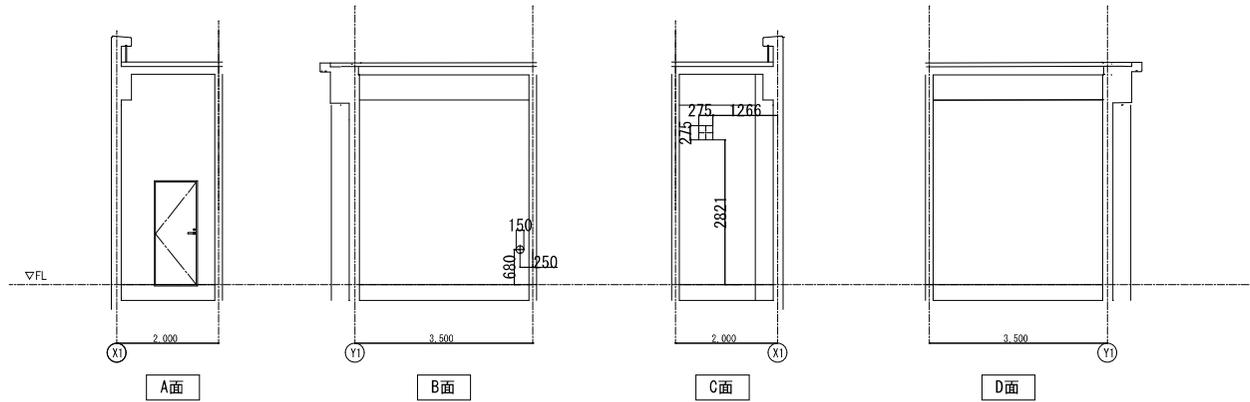
【天井仕上凡例】

記号	天井仕上	連絡
Ⓐ	コンクリート打放し EPG	
Ⓑ	底張：コンクリート打放し（機打ち 厚20） 覆層材料：（耐熱形1種）水性炭酸セメント系 アクリルシリコン樹脂エナメル	

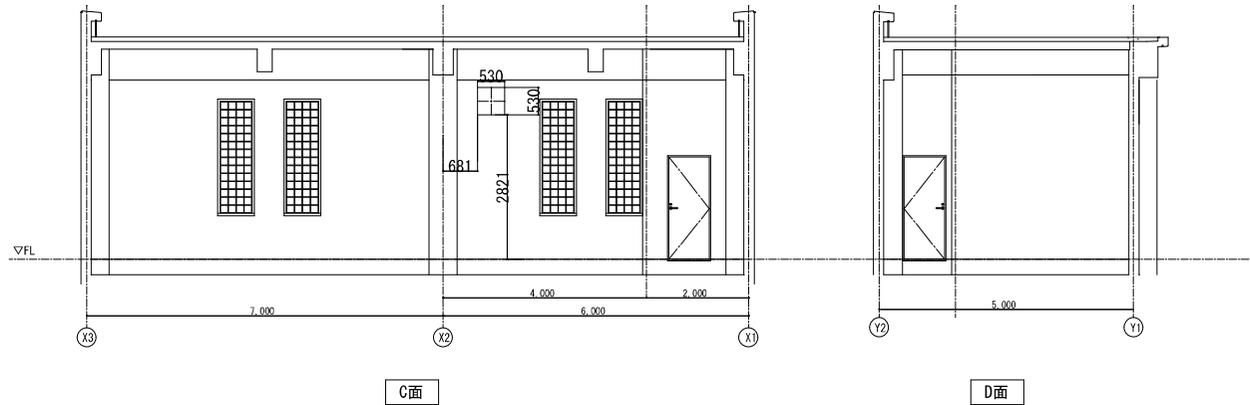
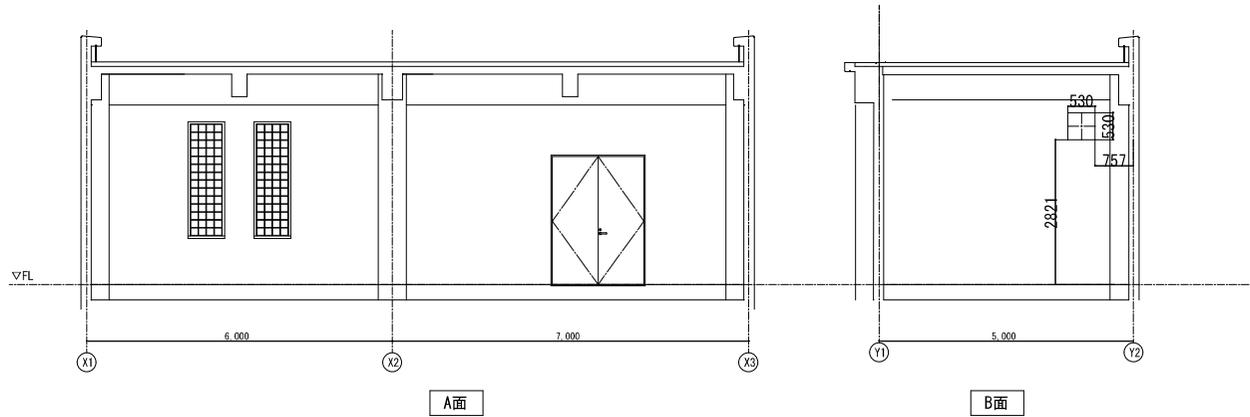
建具表		S=1/50		
符号名称	① 両開きフラッシュドア	② 片開きフラッシュドア	③ 片開きフラッシュドア	
位置個数	電気室・通信機室 1	電気室 1	電気室・通信機室 1	1
形状寸法				
材質	扉: スチール t=1.6 枠: スチール t=2.3	扉: スチール t=1.6 枠: スチール t=2.3	扉: スチール t=1.6 枠: スチール t=2.3	
仕上	SOP塗装	SOP塗装	SOP塗装	
金物	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番・戸当り(ひげ付) フランシス施し・ドアチェック	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番 戸当り(ひげ付)・ドアチェック	シリンダー本締め・レバーハンドル・丁番 戸当り(ひげ付)・ドアチェック	
硝子				
見込	枠: 100 扉: 40	枠: 80 扉: 40	枠: 80 扉: 40	
備考	番種: SUS304 t=2.0	番種: SUS304 t=2.0	番種: SUS304 t=2.0	
符号名称	④ ガラスブロック窓			
位置個数	電気室・通信機室 6			
形状寸法				
材質	アルミ			
仕上	アルマイト			
金物	付属金物1式			
硝子	ガラスブロック145*145*65			
見込	枠: 100			
備考	アルミ顔縁			
符号名称				
位置個数				
形状寸法				
材質				
仕上				
金物				
硝子				
見込				
備考				

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 展開図	番号	A-28
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

室名	送電機械室
床	ビニル床シート(帯電防止)厚2.0
巾木	ビニル巾木 H-75
壁	コンクリート打放し EP-G
天井	コンクリート打放し EP-G
備考	配線ピット、換気扇枠(機械設備工事)
柱型	コンクリート打放し EP-G



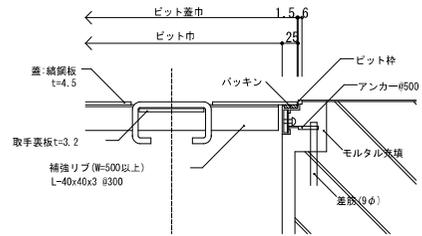
室名	電気室
床	ビニル床シート(帯電防止)厚2.0
巾木	ビニル巾木 H-75
壁	コンクリート打放し EP-G
天井	コンクリート打放し EP-G
備考	配線ピット、換気扇枠(機械設備工事)
柱型	コンクリート打放し EP-G



令和6年度			
工事名 広島高速5号線料金所等新築その他工事			
図面番号	縮尺	1:100	
図名	中山電気室 部分詳細図	番号	A-29
路線名		高速5号線	
広島高速道路公社			

配線ピット蓋詳細図

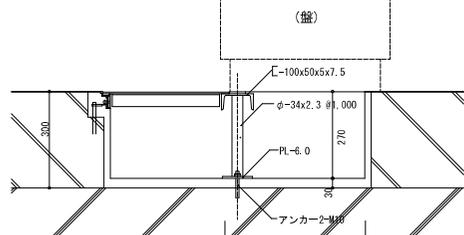
S=1/5



※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。
※枠はメーカー既製品(硬質アルミ枠)とする。

配線ピット盤受支柱詳細図

S=1/10

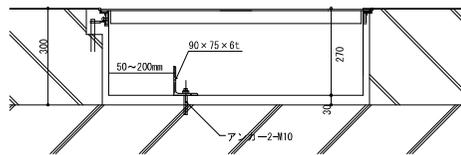


① 盤下補強は盤削工事とする。その他の補強は建築工事とする。

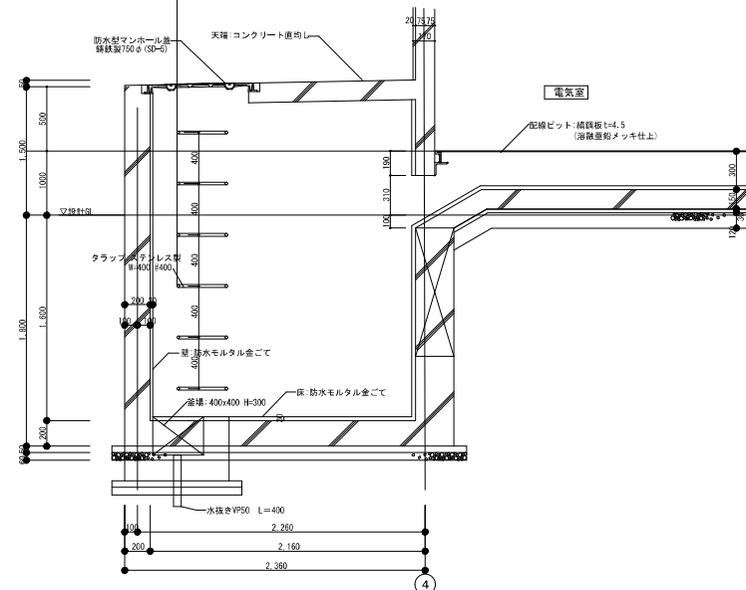
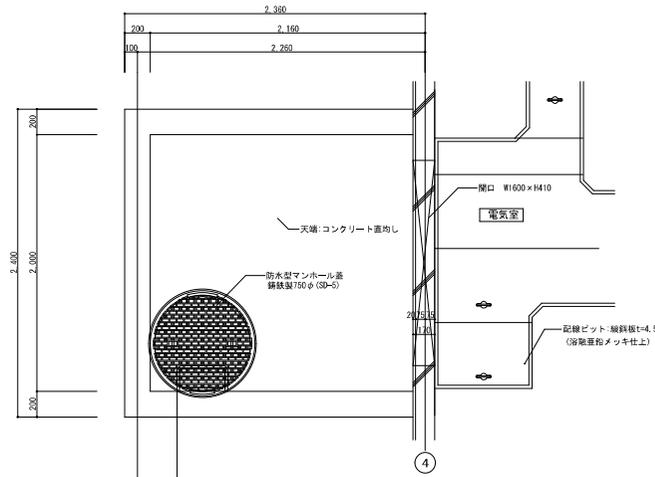
※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。

配線ピットセパレーター詳細図

S=1/10

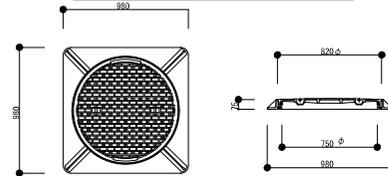


※鉄部は溶融亜鉛メッキ仕上とする。



電気室(A通り)ハンドホール詳細図

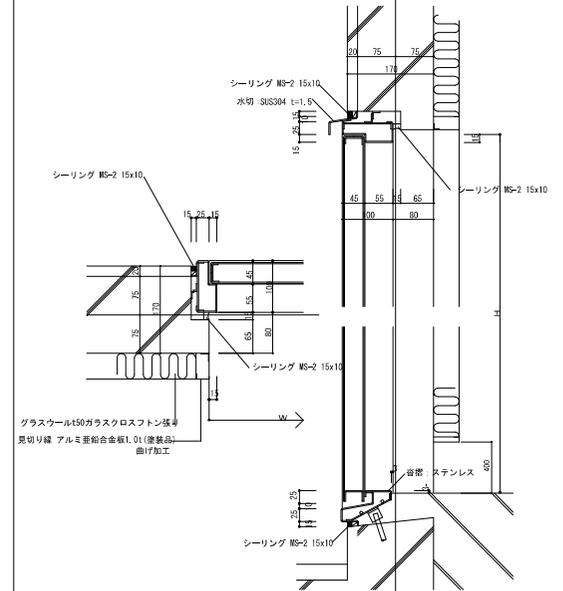
S=1/20



マンホール蓋 (SD-6) S=1/20

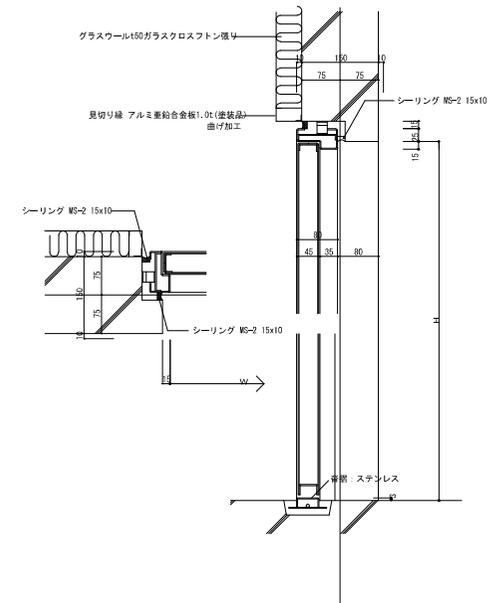
外部ステールドア詳細図

S=1/5



内部ステールドア詳細図

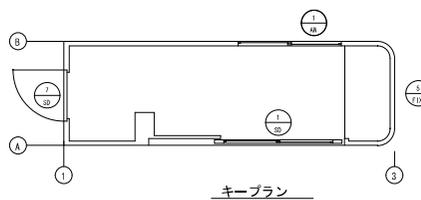
S=1/5



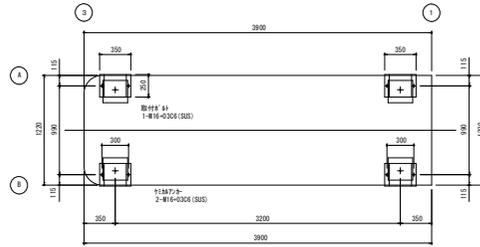
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30	
図名	中山料金所(FF) サブブース 建具表	番号	BA-04
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

記号・場所	建 具 表 (ブース棟分)			
	① 1/30	② 1/30	③ 1/30	④ 1/30
姿 図				
見込寸法	43.8 (ドア), 48.5 (引型アルミサッシ)	32.8	70 (サッシュ), 93 (枠)	板敷し窓 1 61 (枠)
形式・数量	鋼製引降高フラッシュ戸 1	鋼製片開フラッシュ戸 1	引違いアルミ窓 1	外板切込
材質・塗装	外, 鋼板 1.6 非汚染形セラミック美性 内, 鋼板 1.2 ポリウレタン樹脂塗装	外, 鋼板 1.6 非汚染形セラミック美性 内, 鋼板 1.2 ポリウレタン樹脂塗装	アルミ 表面アルマイト処理	透明色付アクリル板 t=5 ブラウンスモーク
硝 子	透明半強化ガラス t=5 下半分ボカシ	網入硝子 t=6.8 下半分ボカシ	網入ガラス t=6.8 下半分ボカシ	室内側押え枠 鋼板 t=1.6 (メラミン積付)
付属金物	ハンガー複数戸車 2 ステンレスプレス把手 2 内掛忍錠 1 (鍵付) アルミ錠 (1300x1060) 1	127mm面付釘丁番 3, 据上げシリンダー錠 1 アームストッパー 1 溝ゴム	室内側サッシュ押え枠 鋼板1.6 (メラミン積付)	溝ゴム シリコンコーキング
備 考	ガラスウール充填 "I=50 32K"	ガラスウール充填 "I=25 32K"	外板側シリコンコーキング	

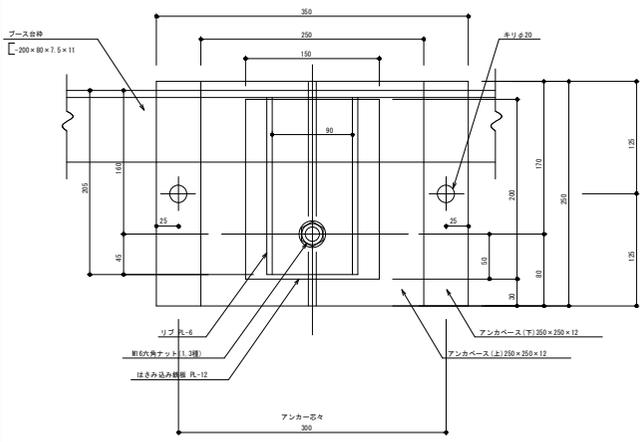
(注記) 1. ガラス窓が軽く動くこと。



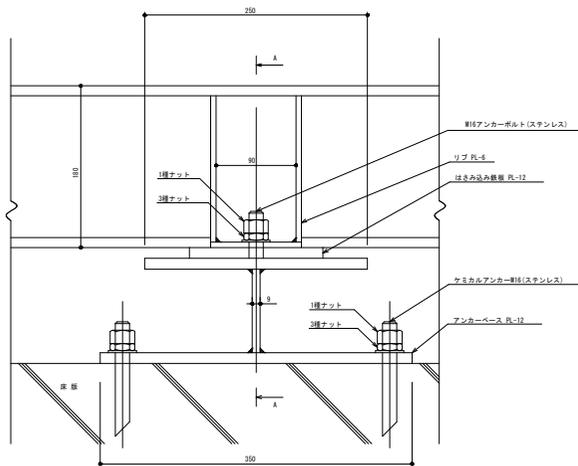
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	S=1/30 1/3	
図名	中山料金所 (OFF) ブースアンカー詳細図 (2) サブブース	番号	BA-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



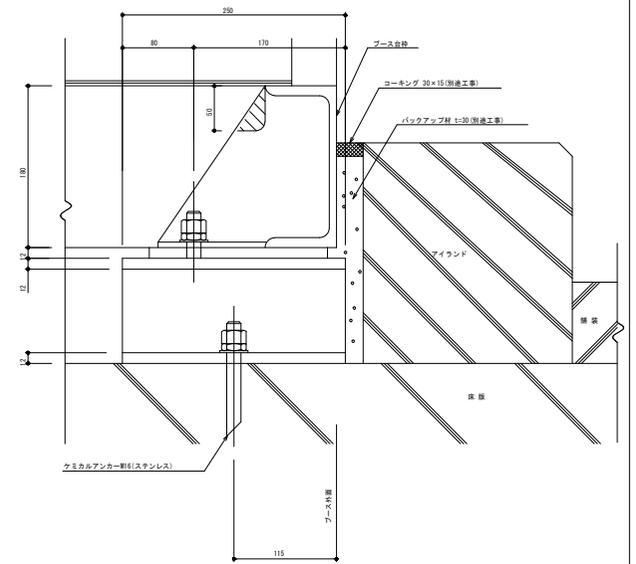
サブアンカーベース配置図 S=1/30
(ベース取り付け別途工事)



台枠アンカー取合平面図 S=1/3



台枠アンカー取合正面図 S=1/3

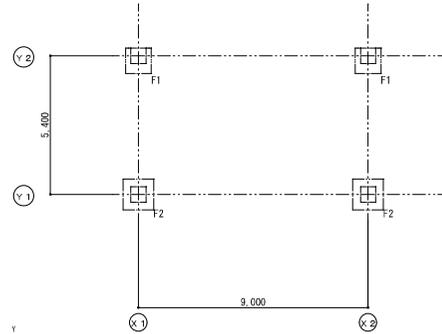


A-A断面図 S=1/3

注記:フロアヒーター設置部のみ斜線部分をカットする。

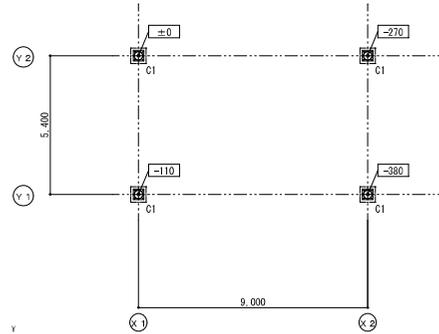
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山料金所 (ON) 伏図・軸組図	番号	CS-20
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項		
鋼材	円型鋼管	STKM400B
	H型鋼	SM400A, SM400B
	ダイヤフラム	SM490C
	ペースプレート	SM490C
	軽量型鋼	SSC400
	高力ボルト	F8T
備考	・鋼材の仕上げは、溶融亜鉛メッキとすること	



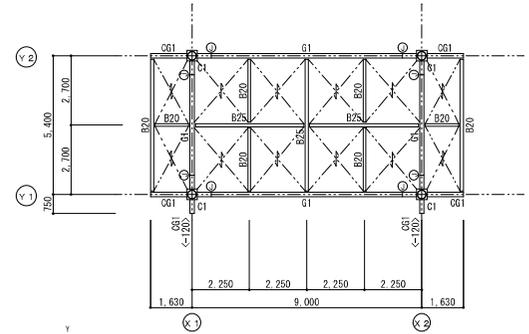
基礎伏図 (見下図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 基礎下端レベル GL-1000~1380
 - 基礎は施工済みである。



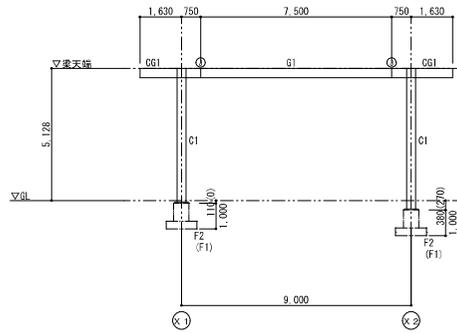
1階伏図 (見下図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 〔○○〕はGLからのアイランド天端レベルを示す。
 - 7か所の埋込まで施工済みである。



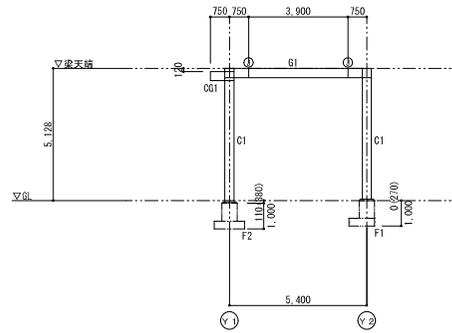
屋根伏図 (見上図) 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- 梁天端レベル GL+5128
 - 〔○○〕は上記の高さからの梁天端レベルを示す。
 - 印は折板方向を示す。
 - 印は屋根ブレースH/Iを示す。
 - は現場継手位置を示す。



Y1・Y2通り軸組図 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- は現場継手位置を示す。
 - ()はY2通りのレベル及び符号を示す。



X1・X2通り軸組図 1:100

- 記入なき限り、下記とする
- は現場継手位置を示す。
 - ()はX2通りのレベル及び符号を示す。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1 一般事項

1.1 適用範囲
この章は、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造等の鉄筋工事に適用する。

1.2 基本要求品質

- (a) 鉄筋工事に用いる材料は、所定のものであること。
- (b) 組み立てられた鉄筋は、所定の形状及び寸法を有し、所定の位置に保持されていること。また、鉄筋の両端は、両重の状態でよいこと。
- (c) 鉄筋の継手及び定着部は、作用する力を伝達できることであること。

1.3 配筋検査

主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督機関の検査を受ける。

1.4 その他準拠標準

- 鋼材機械配筋設計・説明図 (日本建築学会)

2 材料

2.1 鉄筋
鉄筋は表2.1により、種類の符号は特記による。

規格番号	規格名称	種類の記号
JIS S 3112	鉄筋コンクリート用棒筋	B R235, B R295, S D235A, S D295B, S D345, S D390
	建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたせん断補強筋	

2.2 溶接金具

溶接金具はJIS S 3051 (溶接金具及び鉄筋棒)により、棒目の形状、寸法及び鉄筋の種類は特記による。

2.3 材料試験

鉄筋の品質を担保により証明する場合は、適用するJIS又は建築基準法に基づき定められた方法により、それぞれ材料に相当したものとする。

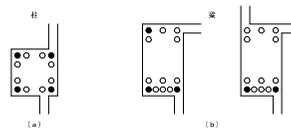
3 加工及び組立

3.1 一般事項

- (a) 鉄筋は、設計図書に指定された寸法及び形状に合わせ、常定で正しく加工して組み立てる。
- (b) 鋼材の等級 (この章の本文、表において「d」で示す。)は、呼び名に同じ数量とする。
- (c) 実定寸法又は規格等のある鉄筋は、使用しない。
- (d) コイル状の鉄筋は、直線状態にしてから使用する。この際、鉄筋に損傷を与えない。
- (e) 鉄筋には、凸付け溶接を行わない。また、アークスライク絶してはならない。

3.2 加工

- (a) 鉄筋の切断は、シーヤークター等によって行う。
- (b) 次の部分に使用する異形鉄筋の先端部には、フックを付ける。
- (1) 柱の隅角にある主筋で、重ね継手の場合及び床上高の柱に用いる場合。
- (2) 実定寸法の主筋が、突出部及び下向きの湾曲にある場合 (端部を除く。)
- (c) 湾曲の鉄筋 (隅角一つとなる場合を含む。)
- (d) 折戻しのべース筋
- (e) 筋筋、あばら筋及び増し筋



(a) 鉄筋の折曲げ内法位置及びその使用箇所は、表3.1及び表3.2による。

表3.1 鉄筋の折曲げ内法位置及びその使用箇所 (兼規格)

折曲げ角度	折曲げ部	折曲げ内法位置 (D)			使用箇所
		S D235A, S D295B			
		D16以下	D19 ~ D25	D29 ~ D38	
180°		3φ以上	4φ以上	5φ以上	柱・梁の主筋 筋量換算のべース筋 D16以上の鉄筋
135°		3φ以上	4φ以上	5φ以上	あばら筋、筋筋 スライラ筋 D13以下の鉄筋
90°		3φ以上	4φ以上	5φ以上	T筋及びし筋の あばら筋
135° 及び 90°		3φ以上	4φ以上	5φ以上	幅止め筋

表3.2 鉄筋の折曲げ内法位置及びその使用箇所 (中閉鎖)

折曲げ角度	折曲げ部	折曲げ内法位置 (D)			使用箇所
		S D235A, S D295B			
		D16以下	D19 ~ D25	D29 ~ D38	
90° 以下		3φ以上	4φ以上	5φ以上	あばら筋、筋筋 スライラ筋
		4φ以上 (5φ以上)	6φ以上 (6φ以上)	8φ以上 (8φ以上)	その他の鉄筋

3.3 組立

鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の箇所を越え50mm以上の鉄筋で覆われ、適切な位置にスペーサー、吊り物等を併用して行う。

なお、スペーサーは、筋筋及び作業等と対峙されるものとし、スラブのスペーサーは、原則として、面裏に、また、縦筋のスペーサーは、型枠に接する部分に吊り物等を併用して行うものとする。

3.4 継手及び定着

- (a) 鉄筋の継手は重ね継手、折り接継手、機械式継手又は溶接継手とし、適用は特記による。物定又は筋筋等での筋筋がなければ、柱及び梁の主筋は折り返しで接続し、その他の鉄筋は重ね継手とする。
- (b) 鉄筋の重ね継手は、次の通り。
- なお、性質異なる鉄筋の重ね継手の長さは、短い鉄筋の長さによる。
- (1) 柱及び梁の主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、特記による。耐力壁の鉄筋の重ね継手の場合、特記がなければ、40tと表3.3の重ね継手長さのうち大きい値とする。
- (2) (1) 以外の鉄筋の重ね継手の長さは、表3.3による。

表3.3 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F _{cd}) (N/mm ²)	直接定着の長さ		フックあり定着の長さ	
		L ₁	L ₂	L ₁	L ₂
S D235A S D295B	18	45φ	40φ	35φ	30φ
	21	40φ	35φ	30φ	25φ
	24, 27	35φ	30φ	25φ	20φ
S D345	18	50φ	45φ	40φ	35φ
	21	45φ	40φ	35φ	30φ
	24, 27	40φ	35φ	30φ	25φ
S D390	18	55φ	50φ	45φ	40φ
	21	50φ	45φ	40φ	35φ
	24, 27	45φ	40φ	35φ	30φ

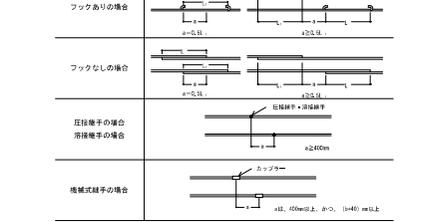
- (注) 1. L₁、L₂は、直線定着の長さ。
- 2. フックありの場合、L₁は、図3.1に示すようにフック部が1t含まない。
- 3. 質量コンクリートの場合は、表の値は5t含まないものとする。

図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

(3) 隅り合う継手の位置は、表3.4による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合は特記。

なお、先組み工法等で、柱・梁の主筋の継手を真一方向に設ける場合は、特記による。

表3.4 隅り合う継手の位置



(c) 鉄筋の定着は、次の通り。

- (1) 柱に取付ける梁の隅り合う鉄筋の定着の長さは、表3.5により、適用は特記による。
- (2) (1) 以外の鉄筋の定着の長さは、表3.5により、適用は特記による。

表3.5 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 (F _{cd}) (N/mm ²)	直接定着の長さ				フックあり定着の長さ			
		L ₁	L ₂	L ₃	L ₄	L ₁	L ₂	L ₃	L ₄
S D235A S D295B	18	45φ	40φ	35φ	30φ	30φ	25φ	20φ	15φ
	21	40φ	35φ	30φ	25φ	25φ	20φ	15φ	10φ
	24, 27	35φ	30φ	25φ	20φ	20φ	15φ	10φ	5φ
	30, 33, 36	30φ	25φ	20φ	15φ	15φ	10φ	5φ	5φ
S D345	18	50φ	45φ	40φ	35φ	35φ	30φ	25φ	20φ
	21	45φ	40φ	35φ	30φ	30φ	25φ	20φ	15φ
	24, 27	40φ	35φ	30φ	25φ	25φ	20φ	15φ	10φ
	30, 33, 36	35φ	30φ	25φ	20φ	25φ	20φ	15φ	10φ
S D390	18	55φ	50φ	45φ	40φ	40φ	35φ	30φ	25φ
	21	50φ	45φ	40φ	35φ	35φ	30φ	25φ	20φ
	24, 27	45φ	40φ	35φ	30φ	35φ	30φ	25φ	20φ
	30, 33, 36	40φ	35φ	30φ	25φ	35φ	30φ	25φ	20φ

- (注) 1. L₁、L₂、L₃及びL₄は、直線定着の長さ。
- 2. L₁は、隅角部における耐力壁の定着長さ。ただし、隅角部スラブ筋に接する場合は特記。
- 3. L₁は、質量コンクリート等の場合は、表の値は5t含まないものとする。
- 4. フックありの場合、L₁は、図3.1に示すようにフック部が1t含まない。
- 5. 質量コンクリートの場合は、表の値は5t含まないものとする。

(3) 定着の方法は、図3.2による。

なお、耐力壁の柱内法筋に接する隅り合う鉄筋は、図3.2 (D) に示すように、原則として柱せいの引当りとする。ただし、折り返し筋の直線部が10tに満たない場合は、監督機関と協議する。

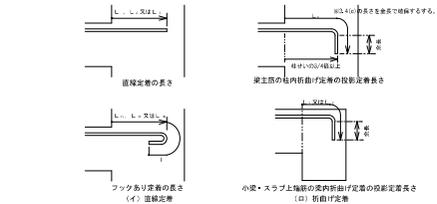


図3.2 定着の長さ

(d) その他の鉄筋の継手及び定着は、次の通り。

- (1) 直線部での継手及び定着は、図3.3による。
- なお、L₁及びL₂は、表3.5 (D) による。

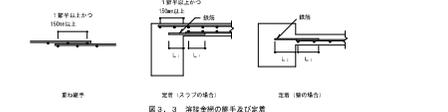


図3.3 直線部での継手及び定着

(2) スライラ筋の継手及び定着は、図3.4による。

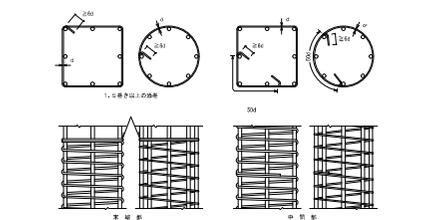


図3.4 スライラ筋の継手及び定着

3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(a) 鉄筋及び溶接金具の最小かぶり厚さは、表3.6による。ただし、柱及び梁の主筋にD25以上を使用する場合は、主筋の最小かぶり厚さを壁の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表3.6 鉄筋の最小かぶり厚さ (単位: mm)

構造部分の種類	構造部分の種類		
	せり上がり	最小かぶり厚さ	
スラブ、断面形状が一定の場合	せり上がり	20	
断面形状が一定でない場合	せり上がり	30	
柱、梁、耐力壁	内側	せり上がり	30
	外側	せり上がり	30
隅角部	内側	せり上がり	40
	外側	せり上がり	40
階段、斜めスラブ		40	
せり上りする部分	柱、梁、スラブ、梁	40	
	階段、斜め、斜めスラブ	60	
規定質量と異なる部分		60	

- (注) 1. せり上り厚さは、質量コンクリートに適用し、質量コンクリートに適用しない場合は、特記による。
- 2. 「せり上がり」とは、質量コンクリートのせり上りのものをし、鉄筋のせり上り厚さがない場合は「せり上がり」のものを指す。
- 3. スラブ、梁、耐力壁の場合、断面形状が一定でない場合は、せり上りの厚さを定める。
- 4. 隅角部での最小かぶり厚さは、隅角部による。
- 5. 質量コンクリート等の場合は、表の値は5t含まないものとする。

(b) 柱・梁等の鉄筋の加工による最小かぶり厚さは、最小かぶり厚さを10mm以上確保し、確保しない場合は、特記による。

(c) 鉄筋の最小かぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

(d) 鉄筋の最小かぶり厚さは、図3.5により、次のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋の種類の場合は、特記による。

- (1) 筋筋の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隅り合う鉄筋の平均径 (3.1(a)によるφ)の1.25倍

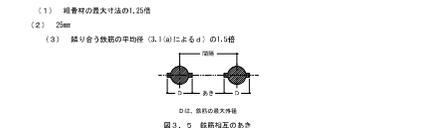


図3.5 鉄筋の最小かぶり厚さ

(e) 鉄筋コンクリート造の柱、梁と平行する鉄筋とのあきは、(a)による。

(f) 質量コンクリートに接する鉄筋の最小かぶり厚さは、(a)による。

3.6 鉄筋の保護

- (a) 鉄筋の保護は、スラブ、梁等には、歩み板を置き、直接鉄筋のみに触れないようにする。
- (b) コンクリート打込みによる鉄筋の露出は、なるべく少なくする。特に、最小かぶり厚さ、上端筋の位置及び間隔の維持に努める。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)

6.2 あばら筋の割付け

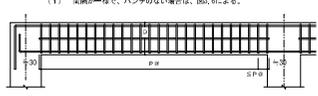


図3.1 あばら筋の割付け(その1)

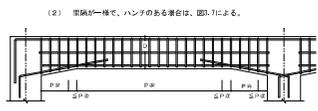


図3.7 あばら筋の割付け(その2)

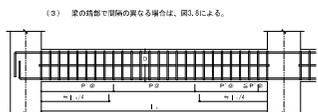


図3.8 あばら筋の割付け(その3)

6.3 梁の打直し補筋

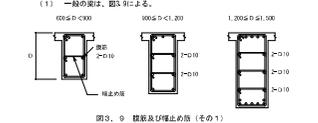


図3.11 梁の打直し補筋

6.4 小梁

6.4.1 小梁主筋の継手、定着及び余長



図3.12 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

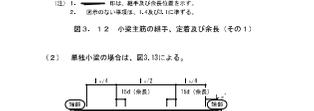


図3.13 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

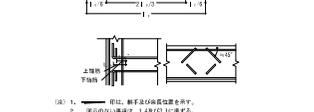


図3.14 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁がない場合)

6.5 片持梁

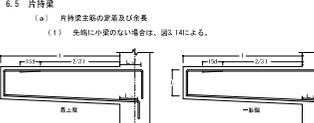


図3.14 片持梁主筋の定着及び余長(先端に小梁がない場合)

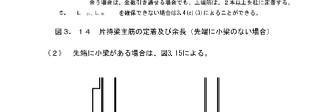


図3.15 片持梁主筋の定着

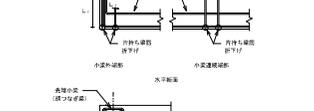


図3.16 片持梁主筋の定着

7 壁、その他の配筋

7.1 壁

- (a) 一般事項
- 配筋筋の重ね継手及び定着の長さは、特記がなければ、(b)とする。
 - 土圧等を受ける壁及び壁脚として特記されたものは、重ね継手長さをLとし、定着長さをLとする。
 - 重ね継手及び定着の長さが取れない場合は、監督職員と協議する。
 - 端部初期は、縦筋ともD10・D100程度とする。
 - 一般事項の配筋は、図4.1による。

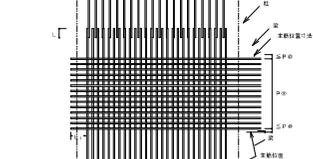


図4.1 壁の配筋

- (b) 壁の温度配筋は表4.1により、種別は特記による。

表4.1 壁の温度配筋

種別	縦筋及び横筋	断面間隔
W10	D10-250@シングル	100
W12	D10-200@シングル	100
W15A	D10-150@シングル	100
W15B	D10-100@シングル	100
W18A	D10-200@ダブル	100
W18B	D10-150@ダブル	100
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

- (c) 片持スラブ前後段を受ける壁の温度配筋は表4.2により、種別は特記による。

表4.2 片持スラブ前後段を受ける壁の温度配筋

種別	縦筋及び横筋	断面間隔	配筋の配列種別(表1)
KW1	縦筋	D10-200@ダブル	KA.1 KA.3
	横筋	D10-200@ダブル	
KW2	縦筋	D10-150@ダブル	KA.2 KA.4
	横筋	D10-200@ダブル	

- (d) 壁の交差部及び隅部の配筋は、図4.2による。

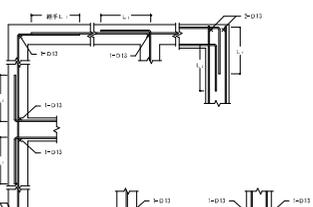


図4.2 壁の交差部及び隅部の配筋

7.2 壁の補筋

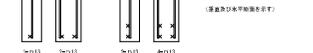


図4.3 壁の交差部及び隅部の配筋

7.2.1 壁の補筋

- (a) 開口部の特長
- 開口部を跨ぐ壁脚部の補筋は表4.3、表4.4、表4.5、表4.6、表4.7、表4.8、表4.9、表4.10、表4.11、表4.12、表4.13、表4.14、表4.15、表4.16、表4.17、表4.18、表4.19、表4.20、表4.21、表4.22、表4.23、表4.24、表4.25、表4.26、表4.27、表4.28、表4.29、表4.30、表4.31、表4.32、表4.33、表4.34、表4.35、表4.36、表4.37、表4.38、表4.39、表4.40、表4.41、表4.42、表4.43、表4.44、表4.45、表4.46、表4.47、表4.48、表4.49、表4.50、表4.51、表4.52、表4.53、表4.54、表4.55、表4.56、表4.57、表4.58、表4.59、表4.60、表4.61、表4.62、表4.63、表4.64、表4.65、表4.66、表4.67、表4.68、表4.69、表4.70、表4.71、表4.72、表4.73、表4.74、表4.75、表4.76、表4.77、表4.78、表4.79、表4.80、表4.81、表4.82、表4.83、表4.84、表4.85、表4.86、表4.87、表4.88、表4.89、表4.90、表4.91、表4.92、表4.93、表4.94、表4.95、表4.96、表4.97、表4.98、表4.99、表4.100、表4.101、表4.102、表4.103、表4.104、表4.105、表4.106、表4.107、表4.108、表4.109、表4.110、表4.111、表4.112、表4.113、表4.114、表4.115、表4.116、表4.117、表4.118、表4.119、表4.120、表4.121、表4.122、表4.123、表4.124、表4.125、表4.126、表4.127、表4.128、表4.129、表4.130、表4.131、表4.132、表4.133、表4.134、表4.135、表4.136、表4.137、表4.138、表4.139、表4.140、表4.141、表4.142、表4.143、表4.144、表4.145、表4.146、表4.147、表4.148、表4.149、表4.150、表4.151、表4.152、表4.153、表4.154、表4.155、表4.156、表4.157、表4.158、表4.159、表4.160、表4.161、表4.162、表4.163、表4.164、表4.165、表4.166、表4.167、表4.168、表4.169、表4.170、表4.171、表4.172、表4.173、表4.174、表4.175、表4.176、表4.177、表4.178、表4.179、表4.180、表4.181、表4.182、表4.183、表4.184、表4.185、表4.186、表4.187、表4.188、表4.189、表4.190、表4.191、表4.192、表4.193、表4.194、表4.195、表4.196、表4.197、表4.198、表4.199、表4.200、表4.201、表4.202、表4.203、表4.204、表4.205、表4.206、表4.207、表4.208、表4.209、表4.210、表4.211、表4.212、表4.213、表4.214、表4.215、表4.216、表4.217、表4.218、表4.219、表4.220、表4.221、表4.222、表4.223、表4.224、表4.225、表4.226、表4.227、表4.228、表4.229、表4.230、表4.231、表4.232、表4.233、表4.234、表4.235、表4.236、表4.237、表4.238、表4.239、表4.240、表4.241、表4.242、表4.243、表4.244、表4.245、表4.246、表4.247、表4.248、表4.249、表4.250、表4.251、表4.252、表4.253、表4.254、表4.255、表4.256、表4.257、表4.258、表4.259、表4.260、表4.261、表4.262、表4.263、表4.264、表4.265、表4.266、表4.267、表4.268、表4.269、表4.270、表4.271、表4.272、表4.273、表4.274、表4.275、表4.276、表4.277、表4.278、表4.279、表4.280、表4.281、表4.282、表4.283、表4.284、表4.285、表4.286、表4.287、表4.288、表4.289、表4.290、表4.291、表4.292、表4.293、表4.294、表4.295、表4.296、表4.297、表4.298、表4.299、表4.300、表4.301、表4.302、表4.303、表4.304、表4.305、表4.306、表4.307、表4.308、表4.309、表4.310、表4.311、表4.312、表4.313、表4.314、表4.315、表4.316、表4.317、表4.318、表4.319、表4.320、表4.321、表4.322、表4.323、表4.324、表4.325、表4.326、表4.327、表4.328、表4.329、表4.330、表4.331、表4.332、表4.333、表4.334、表4.335、表4.336、表4.337、表4.338、表4.339、表4.340、表4.341、表4.342、表4.343、表4.344、表4.345、表4.346、表4.347、表4.348、表4.349、表4.350、表4.351、表4.352、表4.353、表4.354、表4.355、表4.356、表4.357、表4.358、表4.359、表4.360、表4.361、表4.362、表4.363、表4.364、表4.365、表4.366、表4.367、表4.368、表4.369、表4.370、表4.371、表4.372、表4.373、表4.374、表4.375、表4.376、表4.377、表4.378、表4.379、表4.380、表4.381、表4.382、表4.383、表4.384、表4.385、表4.386、表4.387、表4.388、表4.389、表4.390、表4.391、表4.392、表4.393、表4.394、表4.395、表4.396、表4.397、表4.398、表4.399、表4.400、表4.401、表4.402、表4.403、表4.404、表4.405、表4.406、表4.407、表4.408、表4.409、表4.410、表4.411、表4.412、表4.413、表4.414、表4.415、表4.416、表4.417、表4.418、表4.419、表4.420、表4.421、表4.422、表4.423、表4.424、表4.425、表4.426、表4.427、表4.428、表4.429、表4.430、表4.431、表4.432、表4.433、表4.434、表4.435、表4.436、表4.437、表4.438、表4.439、表4.440、表4.441、表4.442、表4.443、表4.444、表4.445、表4.446、表4.447、表4.448、表4.449、表4.450、表4.451、表4.452、表4.453、表4.454、表4.455、表4.456、表4.457、表4.458、表4.459、表4.460、表4.461、表4.462、表4.463、表4.464、表4.465、表4.466、表4.467、表4.468、表4.469、表4.470、表4.471、表4.472、表4.473、表4.474、表4.475、表4.476、表4.477、表4.478、表4.479、表4.480、表4.481、表4.482、表4.483、表4.484、表4.485、表4.486、表4.487、表4.488、表4.489、表4.490、表4.491、表4.492、表4.493、表4.494、表4.495、表4.496、表4.497、表4.498、表4.499、表4.500、表4.501、表4.502、表4.503、表4.504、表4.505、表4.506、表4.507、表4.508、表4.509、表4.510、表4.511、表4.512、表4.513、表4.514、表4.515、表4.516、表4.517、表4.518、表4.519、表4.520、表4.521、表4.522、表4.523、表4.524、表4.525、表4.526、表4.527、表4.528、表4.529、表4.530、表4.531、表4.532、表4.533、表4.534、表4.535、表4.536、表4.537、表4.538、表4.539、表4.540、表4.541、表4.542、表4.543、表4.544、表4.545、表4.546、表4.547、表4.548、表4.549、表4.550、表4.551、表4.552、表4.553、表4.554、表4.555、表4.556、表4.557、表4.558、表4.559、表4.560、表4.561、表4.562、表4.563、表4.564、表4.565、表4.566、表4.567、表4.568、表4.569、表4.570、表4.571、表4.572、表4.573、表4.574、表4.575、表4.576、表4.577、表4.578、表4.579、表4.580、表4.581、表4.582、表4.583、表4.584、表4.585、表4.586、表4.587、表4.588、表4.589、表4.590、表4.591、表4.592、表4.593、表4.594、表4.595、表4.596、表4.597、表4.598、表4.599、表4.600、表4.601、表4.602、表4.603、表4.604、表4.605、表4.606、表4.607、表4.608、表4.609、表4.610、表4.611、表4.612、表4.613、表4.614、表4.615、表4.616、表4.617、表4.618、表4.619、表4.620、表4.621、表4.622、表4.623、表4.624、表4.625、表4.626、表4.627、表4.628、表4.629、表4.630、表4.631、表4.632、表4.633、表4.634、表4.635、表4.636、表4.637、表4.638、表4.639、表4.640、表4.641、表4.642、表4.643、表4.644、表4.645、表4.646、表4.647、表4.648、表4.649、表4.650、表4.651、表4.652、表4.653、表4.654、表4.655、表4.656、表4.657、表4.658、表4.659、表4.660、表4.661、表4.662、表4.663、表4.664、表4.665、表4.666、表4.667、表4.668、表4.669、表4.670、表4.671、表4.672、表4.673、表4.674、表4.675、表4.676、表4.677、表4.678、表4.679、表4.680、表4.681、表4.682、表4.683、表4.684、表4.685、表4.686、表4.687、表4.688、表4.689、表4.690、表4.691、表4.692、表4.693、表4.694、表4.695、表4.696、表4.697、表4.698、表4.699、表4.700、表4.701、表4.702、表4.703、表4.704、表4.705、表4.706、表4.707、表4.708、表4.709、表4.710、表4.711、表4.712、表4.713、表4.714、表4.715、表4.716、表4.717、表4.718、表4.719、表4.720、表4.721、表4.722、表4.723、表4.724、表4.725、表4.726、表4.727、表4.728、表4.729、表4.730、表4.731、表4.732、表4.733、表4.734、表4.735、表4.736、表4.737、表4.738、表4.739、表4.740、表4.741、表4.742、表4.743、表4.744、表4.745、表4.746、表4.747、表4.748、表4.749、表4.750、表4.751、表4.752、表4.753、表4.754、表4.755、表4.756、表4.757、表4.758、表4.759、表4.760、表4.761、表4.762、表4.763、表4.764、表4.765、表4.766、表4.767、表4.768、表4.769、表4.770、表4.771、表4.772、表4.773、表4.774、表4.775、表4.776、表4.777、表4.778、表4.779、表4.780、表4.781、表4.782、表4.783、表4.784、表4.785、表4.786、表4.787、表4.788、表4.789、表4.790、表4.791、表4.792、表4.793、表4.794、表4.795、表4.796、表4.797、表4.798、表4.799、表4.800、表4.801、表4.802、表4.803、表4.804、表4.805、表4.806、表4.807、表4.808、表4.809、表4.810、表4.811、表4.812、表4.813、表4.814、表4.815、表4.816、表4.817、表4.818、表4.819、表4.820、表4.821、表4.822、表4.823、表4.824、表4.825、表4.826、表4.827、表4.828、表4.829、表4.830、表4.831、表4.832、表4.833、表4.834、表4.835、表4.836、表4.837、表4.838、表4.839、表4.840、表4.841、表4.842、表4.843、表4.844、表4.845、表4.846、表4.847、表4.848、表4.849、表4.850、表4.851、表4.852、表4.853、表4.854、表4.855、表4.856、表4.857、表4.858、表4.859、表4.860、表4.861、表4.862、表4.863、表4.864、表4.865、表4.866、表4.867、表4.868、表4.869、表4.870、表4.871、表4.872、表4.873、表4.874、表4.875、表4.876、表4.877、表4.878、表4.879、表4.880、表4.881、表4.882、表4.883、表4.884、表4.885、表4.886、表4.887、表4.888、表4.889、表4.890、表4.891、表4.892、表4.893、表4.894、表4.895、表4.896、表4.897、表4.898、表4.899、表4.900、表4.901、表4.902、表4.903、表4.904、表4.905、表4.906、表4.907、表4.908、表4.909、表4.910、表4.911、表4.912、表4.913、表4.914、表4.915、表4.916、表4.917、表4.918、表4.919、表4.920、表4.921、表4.922、表4.923、表4.924、表4.925、表4.926、表4.927、表4.928、表4.929、表4.930、表4.931、表4.932、表4.933、表4.934、表4.935、表4.936、表4.937、表4.938、表4.939、表4.940、表4.941、表4.942、表4.943、表4.944、表4.945、表4.946、表4.947、表4.948、表4.949、表4.950、表4.951、表4.952、表4.953、表4.954、表4.955、表4.956、表4.957、表4.958、表4.959、表4.960、表4.961、表4.962、表4.963、表4.964、表4.965、表4.966、表4.967、表4.968、表4.969、表4.970、表4.971、表4.972、表4.973、表4.974、表4.975、表4.976、表4.977、表4.978、表4.979、表4.980、表4.981、表4.982、表4.983、表4.984、表4.985、表4.986、表4.987、表4.988、表4.989、表4.990、表4.991、表4.992、表4.993、表4.994、表4.995、表4.996、表4.997、表4.998、表4.999、表5.000

表4.3 開口部補筋(表4.3)

表4.4 開口部補筋(表4.4)

表4.5 開口部補筋(表4.5)

表4.6 開口部補筋(表4.6)

表4.7 開口部補筋(表4.7)

表4.8 開口部補筋(表4.8)

表4.9 開口部補筋(表4.9)

表4.10 開口部補筋(表4.10)

表4.11 開口部補筋(表4.11)

表4.12 開口部補筋(表4.12)

表4.13 開口部補筋(表4.13)

表4.14 開口部補筋(表4.14)

表4.15 開口部補筋(表4.15)

表4.16 開口部補筋(表4.16)

表4.17 開口部補筋(表4.17)

表4.18 開口部補筋(表4.18)

表4.19 開口部補筋(表4.19)

表4.20 開口部補筋(表4.20)

表4.21 開口部補筋(表4.21)

表4.22 開口部補筋(表4.22)

表4.23 開口部補筋(表4.23)

表4.24 開口部補筋(表4.24)

表4.25 開口部補筋(表4.25)

表4.26 開口部補筋(表4.26)

表4.27 開口部補筋(表4.27)

表4.28 開口部補筋(表4.28)

表4.29 開口部補筋(表4.29)

表4.30 開口部補筋(表4.30)

表4.31 開口部補筋(表4.31)

表4.32 開口部補筋(表4.32)

表4.33 開口部補筋(表4.33)

表4.34 開口部補筋(表4.34)

表4.35 開口部補筋(表4.35)

表4.36 開口部補筋(表4.36)

表4.37 開口部補筋(表4.37)

表4.38 開口部補筋(表4.38)

表4.39 開口部補筋(表4.39)

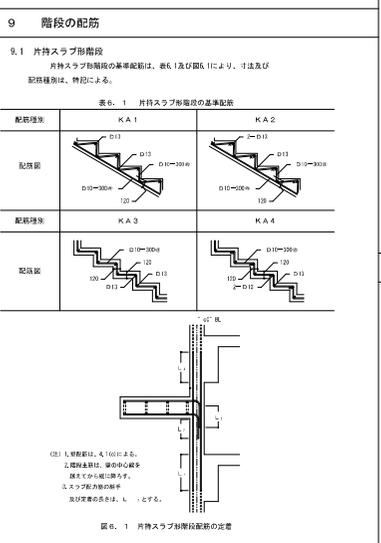
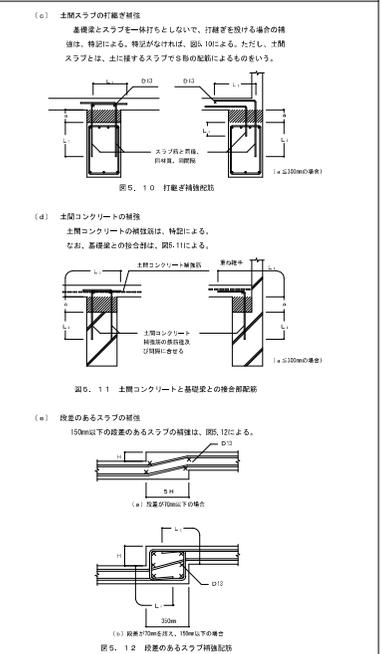
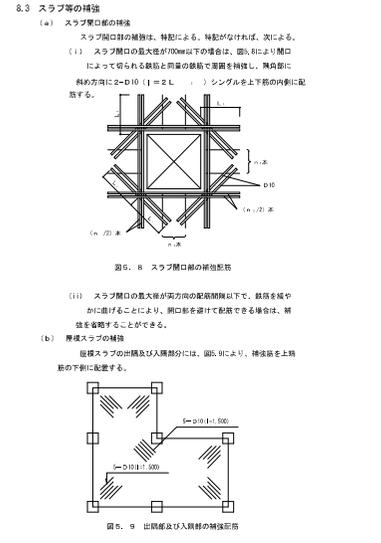
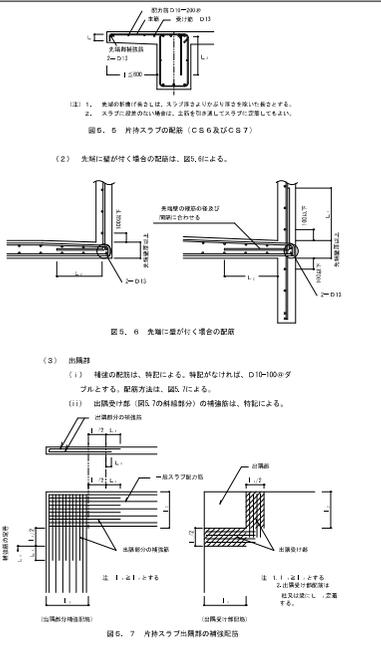
表4.40 開口部補筋(表4.40)

表4.41 開口部補筋(表4.41)

表4.42 開口部補筋(表4.42)

表4.43 開口部補筋(表4

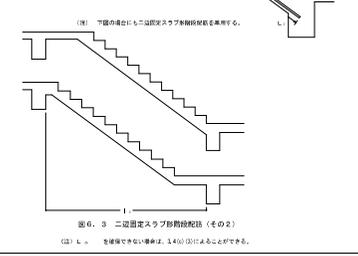
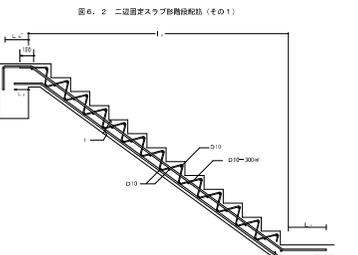
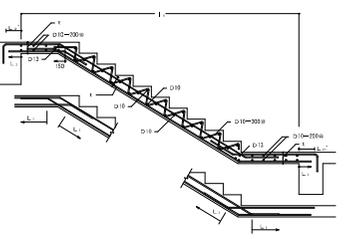
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(4)



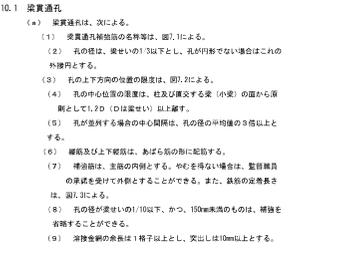
9.2 二辺固定スラブ階段

二辺固定スラブ階段の基準配筋は表6.2及び図6.3により、寸法及び配筋種別は、特記による。

配筋種別	スラブ厚さh (mm)	上層筋、下層筋代 全長
K.B.1	150	D13-200φ
K.B.2	150	D13-150φ
K.B.3	150	D13-100φ
K.B.4	180	D13, D16-150φ
K.B.5	180	D16-150φ
K.B.6	180	D16-125φ
K.B.7	200	D16-100φ



10 梁貫通孔その他の配筋



10.1 梁貫通孔その他の配筋

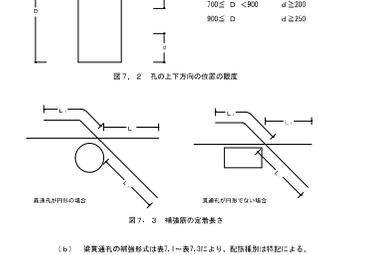
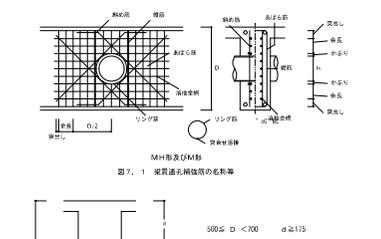
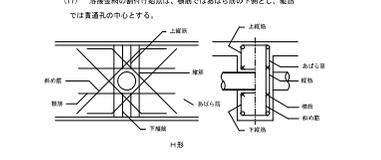


表7.1 M.H.階配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下層筋	配筋図
M.1	なし	なし	なし	なし	
M.2	なし	なし	なし	なし	
M.3	なし	なし	なし	なし	
M.4	なし	なし	なし	なし	
M.5	なし	なし	なし	なし	
M.6	なし	なし	なし	なし	
M.7	なし	なし	なし	なし	

表7.2 M.H.階配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下層筋	配筋図
M.1	なし	なし	なし	なし	
M.2	なし	なし	なし	なし	
M.3	なし	なし	なし	なし	
M.4	なし	なし	なし	なし	

10.2 コンクリートブロック構造との取合い

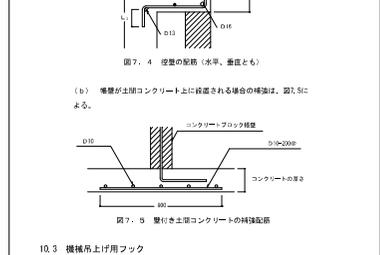
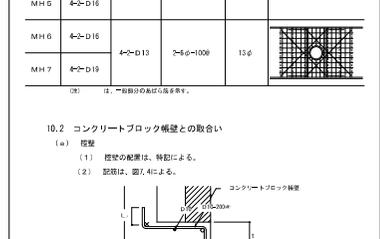
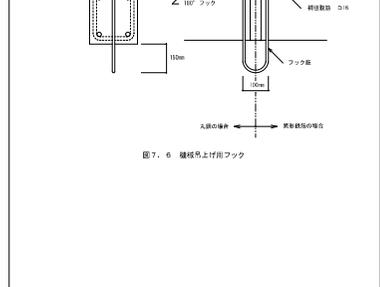


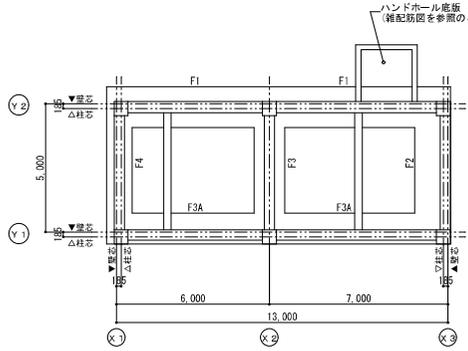
表7.3 M.H.階配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下層筋	配筋図
M.1	なし	なし	なし	なし	
M.2	なし	なし	なし	なし	
M.3	なし	なし	なし	なし	
M.4	なし	なし	なし	なし	
M.5	なし	なし	なし	なし	
M.6	なし	なし	なし	なし	
M.7	なし	なし	なし	なし	

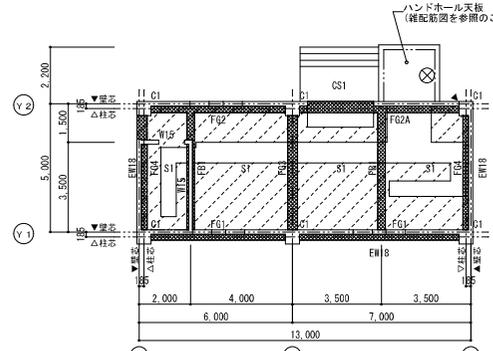


令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山電気室 伏図・軸組図	番号	CS-05
高速5号線			
広島高速道路公社			

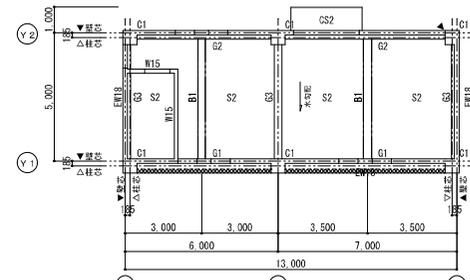
共通事項			
長期鉛直地耐力	qa=100kN/m ² (支持層: 砂質土層 N ₆₀ 20 GL+2.64m)	土間コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=18cm
鉄筋	D19未満 SD295A (重ね継手) D19以上 SD345 (圧接)	捨てコンクリート	普通コンクリート Fc=18N/mm ² S=15cm ・コンクリート厚 50mm
コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=18cm	砕石	・厚さ 100mm
基礎コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=15cm		
		備考	・打設時期にあった構造体強度補正を行うこと ・コンクリートの仕様は、「公共建築工事標準仕様書(建築工事)最新版」による ・基礎下の表層改良は、施工済である。なお、基礎荷重部は改良体の一部を掘削する必要がある。



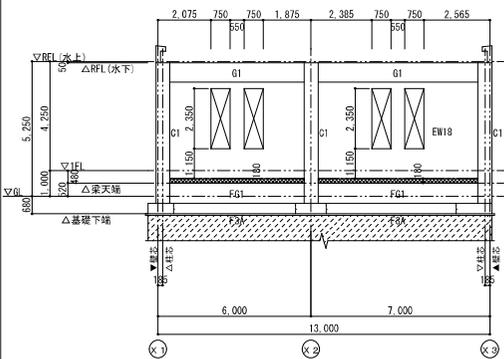
基礎伏図 (見下図) 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 基礎下端レベル: GL-680 (一部、GL-2,000※軸組図参照)



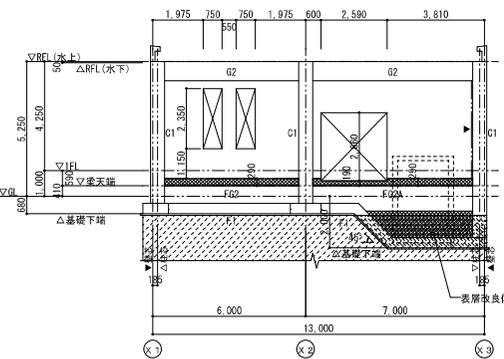
1階床伏図 (見下図) 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 基礎梁天端レベル: GL+520 (Y2通りのみ、GL+410)
2. 床レベル: GL+700
3. 壁はW18とする。
4. 床はS1とする。
5. ▼はスリットを示す。
6. [斜線]増打ち範囲を示す。
7. [点線]無筋コンクリートt=300増打ちを示す。



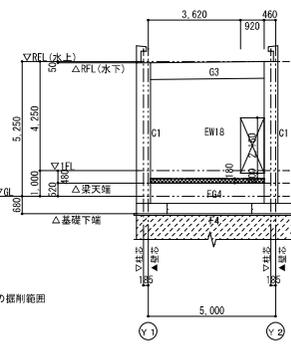
1階柱壁R階梁床伏図 (見上図) 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 梁天端レベル: RFL-50(Y1)~±0(Y2)
2. 床レベル: RFL-50(Y1)~±0(Y2)
3. 壁はW18とする。
4. 床はS2とする。
5. ▼はスリットを示す。



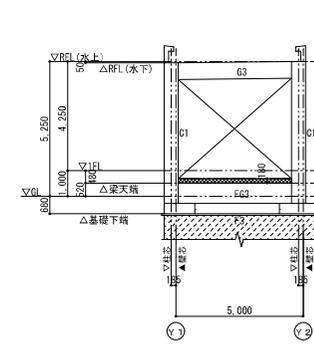
Y1通り軸組図 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]増打ち範囲を示す。
4. [点線]施工済の表層改良範囲を示す。



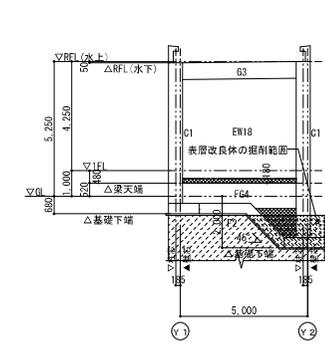
Y2通り軸組図 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]増打ち範囲を示す。
4. [点線]施工済の表層改良範囲を示す。



X1通り軸組図 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]増打ち範囲を示す。
4. [点線]施工済の表層改良範囲を示す。



X2通り軸組図 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]増打ち範囲を示す。
4. [点線]施工済の表層改良範囲を示す。



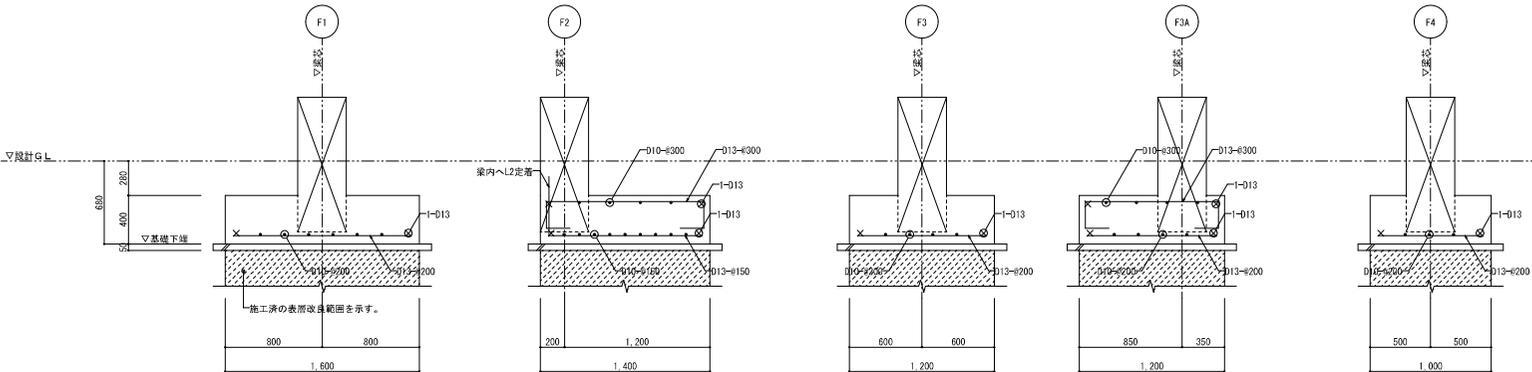
X3通り軸組図 1:100
記入なき限り、下記とする
1. 壁はW18とする。
2. ▼はスリットを示す。
3. [斜線]増打ち範囲を示す。
4. [点線]施工済の表層改良範囲を示す。

令和6年度		
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事	
図面番号	縮尺	1/20 (A1)
図名	中山電気室	番号 CS-06
	基礎リスト	
高速5号線		
広島高速道路公社		

基礎梁リスト 1:20

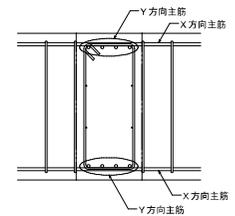
特記外 1. 巾止筋はD10-間1,000とする。

符号	FG1		FG2		FG2A			FG3	FG4	FB1	
	位置	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端 (X3通り側)	中央	内端 (X2通り側)	全断面	全断面	全断面
断面											
b x D	400 x 1100		450 x 990		450 x 990			400 x 1100	400 x 1100	300 x 700	
上筋筋	4-D19	4-D19	5-D19	5-D19	5-D19	7-D19	5-D19	6-D19	4-D19	3-D19	
下筋筋	4-D19	6-D19	5-D19	7-D19	5-D19	5-D19	7-D19	4-D19	4-D19	3-D19	
S T P	□ -D13-#200		□ -D13-#200		□ -D13-#200			□ -D13-#200	□ -D13-#200	□ -D13-#200	
腰筋	4-D10		4-D10		4-D10			4-D10	4-D10	2-D10	



基礎梁リスト 1:20

基礎梁主筋上下配筋要領図



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室	番号	CS-07
	柱・梁・壁・スラブリスト		
高速5号線			
広島高速道路公社			



柱リスト 1:20

特記外 1. 柱主筋は、全数フックとする。

符号	C1	
柱頭・柱脚仕口H O O P	□ -D10-@120	
1階		
B x D	550 x 550	
主筋	12-D19	
H O O P	x	□ -D10-@100
	y	□ -D10-@100
幅止め筋	—	

梁リスト 1:20

特記外 1. 巾止筋はD10-@1,000とする。

符号	G1		G2		G3	B1
	外端	中央・内端 (X2通り側)	外端	中央・内端 (X2通り側)	全断面	
R階						
b x D	300 x 750		350 x 750		300 x 650	300 x 600
上端筋	3-D19	5-D19	4-D19	7-D19	3-D19	3-D19
下端筋	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19
S T P	□ -D10-@200		□ -D10-@200		□ -D10-@200	□ -D10-@200
腰筋	2-D10		2-D10		2-D10	2-D10

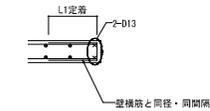
壁リスト 1:20

特記外 1. 巾止筋はD10-@1,000とする。

符号	W15	W18・EW18	開口部補強筋
断面			
縦筋	D10-@200 S	D10-@200 D	
横筋	D10-@200 S	D10-@200 D	
開口部補強筋	a	1-D13	4-D13
	b	1-D13	2-D13
	c	1-D13	—
端部補強筋	1-D13	2-D13	

スラブリスト

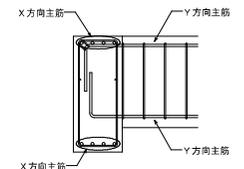
符号	床厚	位置	短辺方向(主筋方向)			長辺方向(配力筋)		
			端部	中央	梁辺部	端部	中央	周辺部
S1	180	上筋	D13-@100	←	←	D13-@100	←	←
		下筋	D13-@100	←	←	D13-@100	←	←
S2	150	上筋	D10-D13-@200	←	←	D10-D13-@200	←	←
		下筋	D10-D13-@200	←	←	D10-D13-@200	←	←
CS1	180	上筋	D13-@100	←	←	D10-@200	←	←
		下筋	D10-@100	←	←	D10-@200	←	←
CS2	150	上筋	D13-@200	←	←	D10-@200	←	←
		下筋	D10-@200	←	←	D10-@200	←	←



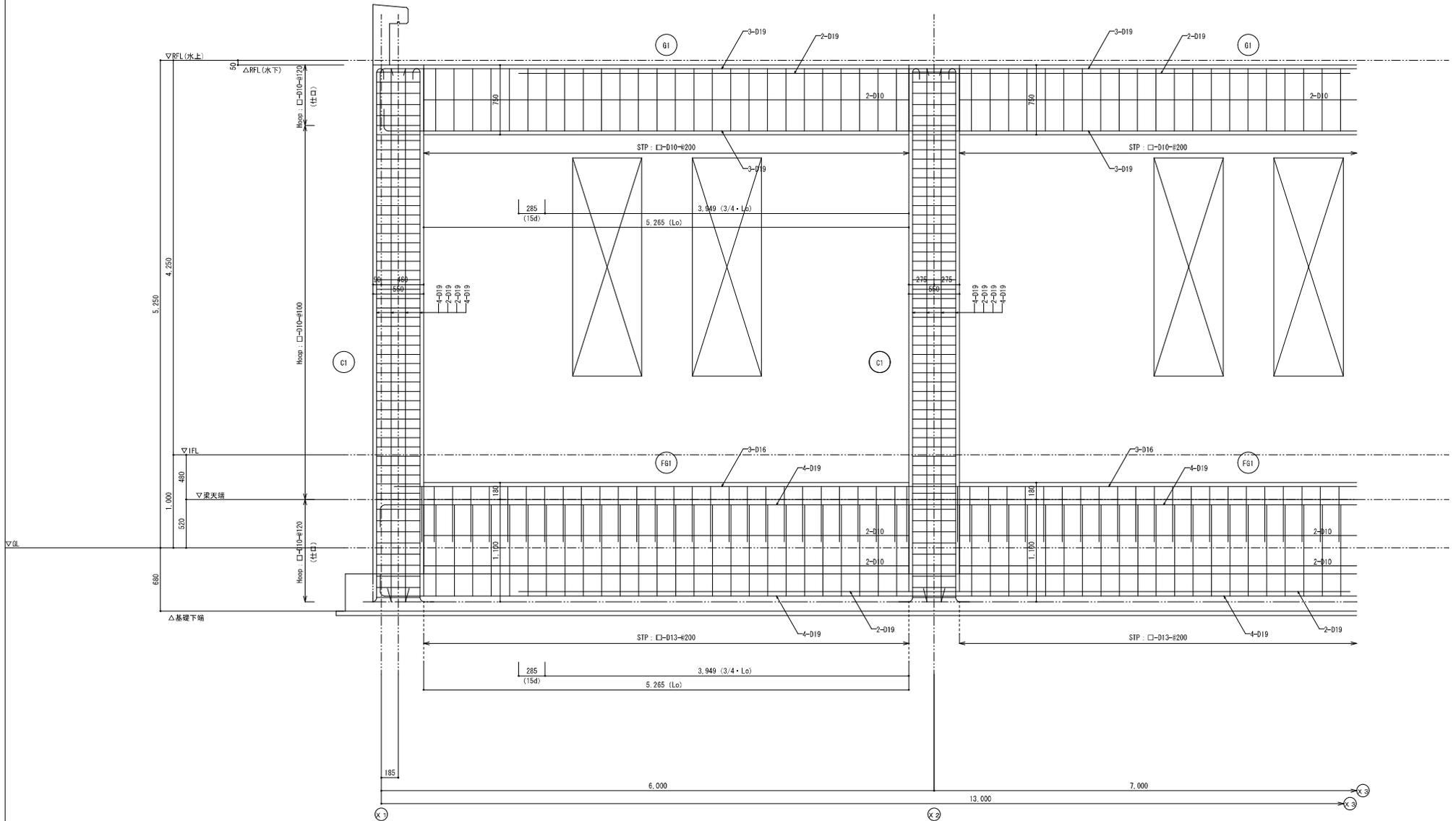
壁端部補強筋 1:20

特記外 1. EWの壁のみ適用すること。

梁主筋上下配筋要領図



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室 架橋配筋詳細図	番号	CS-08
高速5号線			
広島高速道路公社			

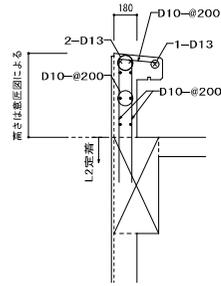


Y 1 通り配筋詳細図 1:20

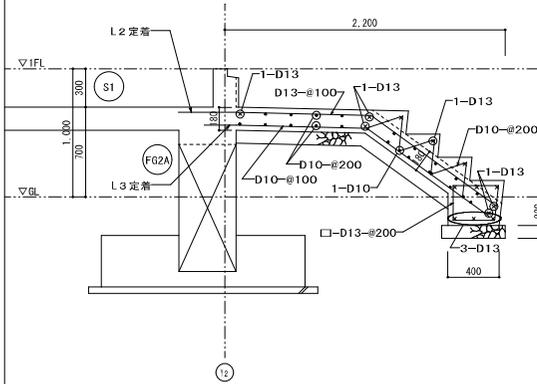
1. 柱主筋は、全数フック付とする。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山電気室 雑配筋詳細図	番号	CS-09
高速5号線			
広島高速道路公社			

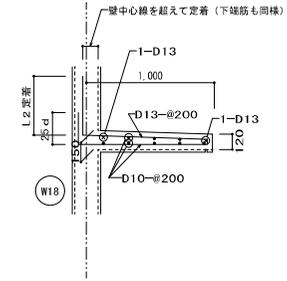
バラベットの配筋詳細図 1:20



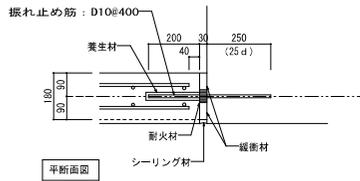
CS1配筋詳細図 1:20



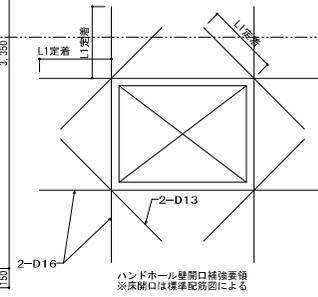
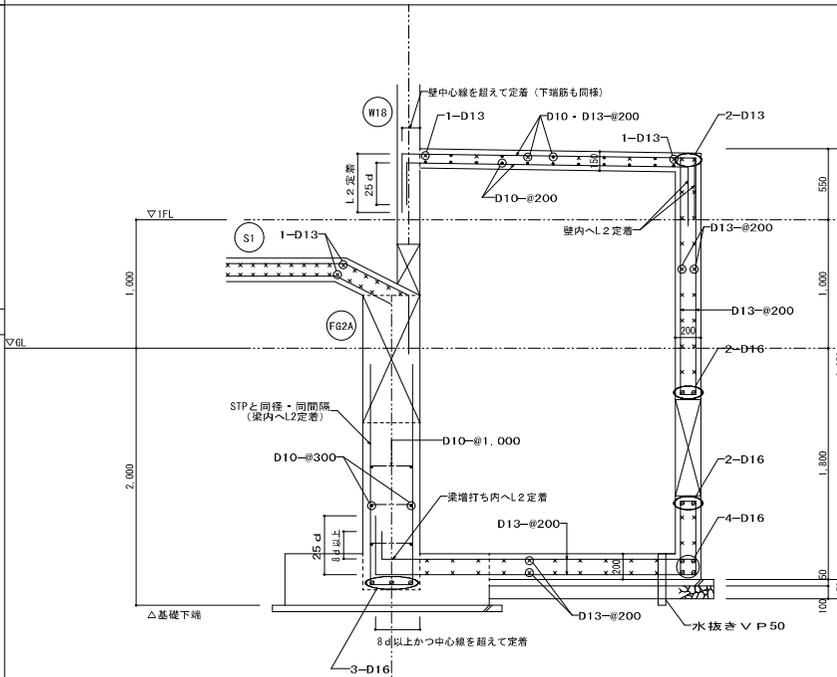
CS2配筋詳細図 1:20



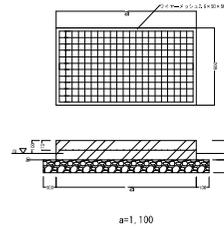
スリット断面詳細図 1:10



ハンドホール配筋詳細図 1:20



コンクリート基礎 1:5



鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

- (a) 構造設計書による
- (b) 適用規格は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
- (c) 地味検査結果の検査報告書には、検査の手法、検査方法及び検査の結果を記述する

(2) 工作一般

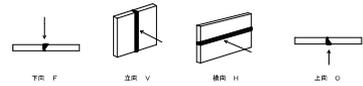
- (a) 検査結果及び施工に基いて「検査工事監理報告書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 検査材料の分岐継手等の接合部は、検査の手法、検査方法及び検査の結果を記述する
- (c) 高力ボルトの締め直しは、許容範囲とする

(3) 高力ボルト接合

- (a) 本図に示されるボルトと、図例のボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合

- (a) 溶接検査
 - 溶接検査者は所定事項に適合する「JIS Z 3801(非溶接)又は「JIS Z 3841(非自動溶接)」の溶接試験規定に適合し、合格し、許容範囲に適合している者とする
- (b) 溶接検査
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A～500A
 - (ロ) アークアークワジシグマ機(濃炭)
 - (ハ) ラグジャージアーク溶接機一式
 - (ニ) 高圧ガスアーク非自動溶接機
 - (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ヘ) 溶接機取巻機
- (c) 溶接方法
 - アーク非溶接(MC)
 - セルム(ノンガス)シールドアーク非自動溶接(MC)
 - ガスシールドアーク非自動溶接(MC)
 - アークアークワジシグマ(MC)
- (d) 溶接検査
 - ガスシールドアーク非自動溶接(MC)
 - アークアークワジシグマ(MC)

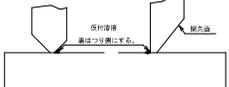


- (e) 組立て検査検査者は、事前に施工に準ずる者を行う

- (イ) 組立て検査
 - 組立て溶接は溶接の始、終結、隅角部など強炭上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

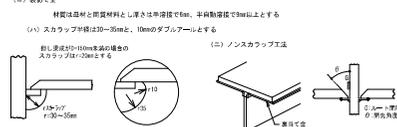


- (ロ) 完全溶込み溶接の板付溶接は必ず裏面に施工する



(1) 溶接工

- (イ) エンドスタブ
 - 1) 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両側面に鋼材と同等で円筒形状のエンドスタブを取り付ける
 - 2) エンドスタブの材質は、鋼材と同等とする
 - 注) エンドスタブの長さ、MC: 3.9mm以上
 - NGC、GC: 4.0mm以上とし、特別のない場合は、溶接終了後、材料より1.0mm程度短くして、3.9mm以上かつ3.0mm以上とする
 - グラインダー仕上げとする
 - 注) フレッシュカット、溶接工に用いる場合は、鋼材を出して検査者又は検査者の承認を得る
- (ロ) 巻いて金
 - 材質は鋼材と同等材料とし、深さは半径で1.5mm、半自動溶接で2.0mm以上とする
 - (イ) スカップ材は厚さ1.5mm以上、1.0mmダブルアークとする
 - (ニ) ノンスカップ工法



- (ハ) 裏はつり
 - 縁部側の溶接においてA/Gと記載のある部分は全て、溶接設備者の確認を行い、鋼材に裏はつりをつける
 - (イ) 縁部溶接の隅角部は、溶接に支障のない材料を使用する。又、隅角部をいためない様に、養生を行う

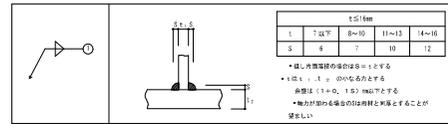
(5) 塗装

- コンクリートに埋込込まれる部分及びコンクリートの養生面、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規程

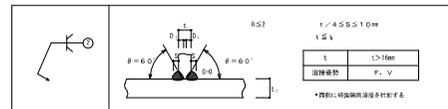
(注) 1: 変換 2: 単位換算 3: フォーム 4: 鋼材 (単位mm)

(1) 隅角溶接



- 板厚異なる場合は厚さtとする
- tは1.5t以上の値をとる
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(2) 部分溶込み溶接



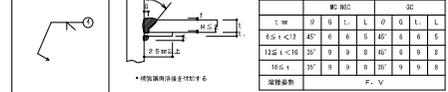
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(3) 完全溶込み溶接



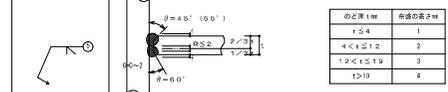
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(4) 部分溶込み溶接



- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(5) 完全溶込み溶接



- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(6) 部分溶込み溶接



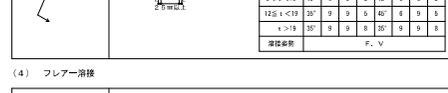
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(7) 完全溶込み溶接



- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(8) 部分溶込み溶接



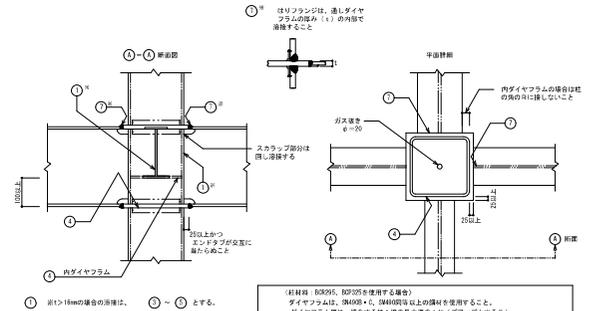
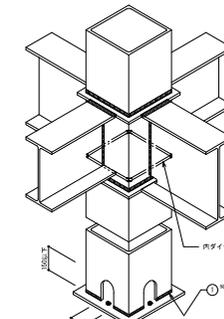
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

(9) フレアー溶接



- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする
- 単位は1.5t、1.5t以上とする

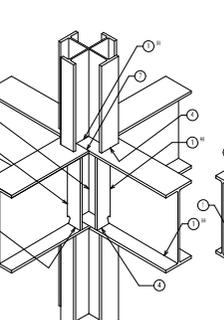
● B×X型 (通しダイヤフラムの場合)



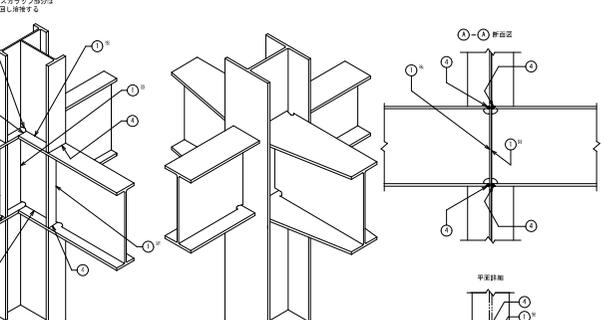
● 鋼材種別による溶接条件

鋼材の種別	溶接材料	入熱 量(kJ/mm)	入熱速度 (°C)
400N 級鋼	JIS Z 3811, 3812, 3814	300	1000
	YMA-11, 15	40以下	200以下
	YMA-16, 18	30以下	200以下
400N 級鋼	JIS Z 3811, 3814	40以下	200以下
	YMA-11, 15	30以下	200以下
	YMA-16, 18	300	1000

● H、I、H型

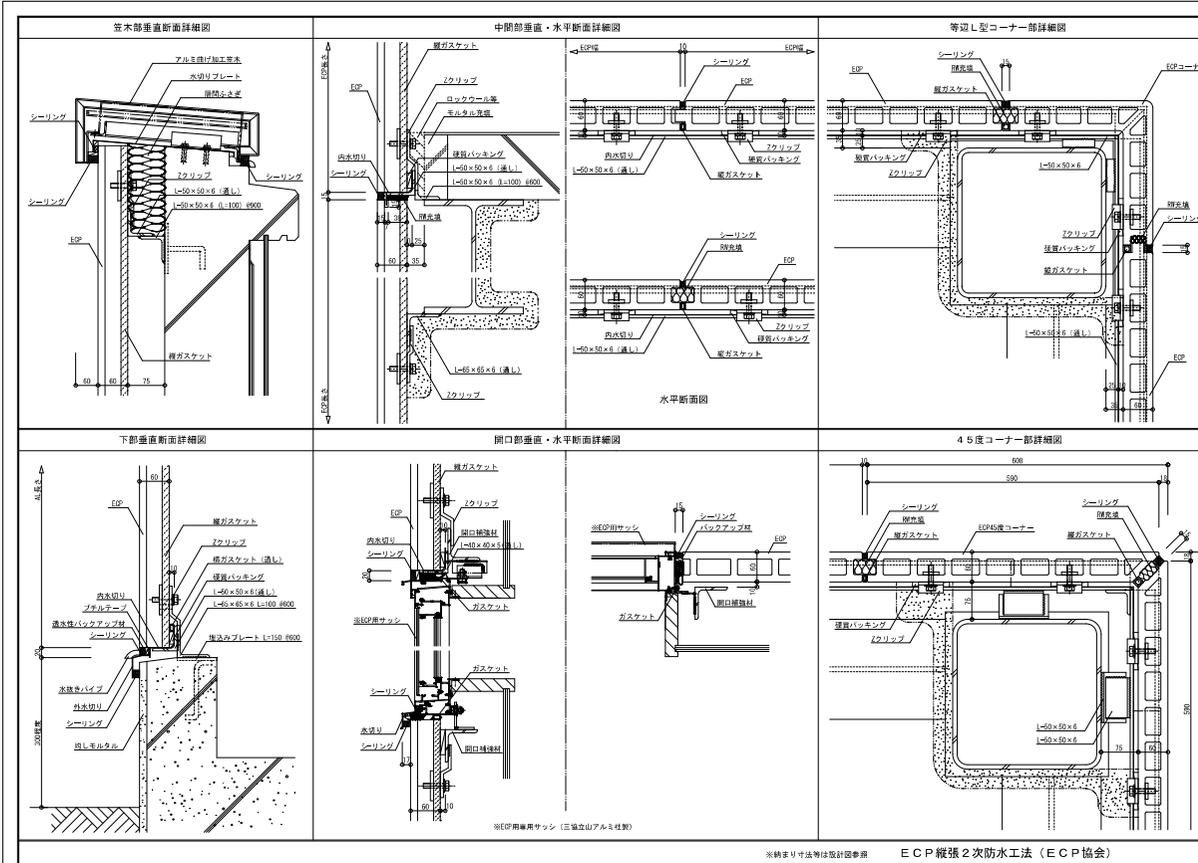


● B、H方式



● 単位は1.5t、1.5t以上とする

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	—	
図名	ECP縦張標準工法標準図	番号	CS-13
高速5号線			
広島高速道路公社			



開口部材の目安

(参考) 表4-8 縦張リ工法における開口部材の寸法目安

開口幅 (mm)	開口モジュール (mm)	縦張リ支持スパン $l = 900\text{cm}$ (900mm) の場合		
		1500	2000	2500
800	縦張リ	縦張リ	縦張リ	縦張リ
	材料	L-85x85x8	L-85x85x8	L-85x85x8
1,200	縦張リ	縦張リ	縦張リ	縦張リ
	材料	L-80x80x8	L-80x80x8	L-80x80x8
1,800	縦張リ	縦張リ	縦張リ	縦張リ
	材料	L-75x75x8	L-75x75x8	L-75x75x8
2,400	縦張リ	縦張リ	縦張リ	縦張リ
	材料	L-65x65x8	L-65x65x8	L-65x65x8

※上記の決定条件

$P = \frac{W}{2}$
 $\sigma = \frac{P}{A} \leq \sigma_h$
 $\sigma = \frac{P}{24EI} (3l^2 - 4e^2) \leq \frac{\sigma}{200}$
 $(\sigma_h = \frac{\sigma}{4})$

W : 風圧力 (N/m²)
 e : 風圧力によりパネルに作用する偏心距離 (N/m)
 l : パネルの支持スパン (cm)
 e : 風上・下のパネル高さ (cm)
 P : 風圧力によりパネルに作用する集中荷重 (N)
 A : 鋼材の断面積 (cm²)
 I : 鋼材の断面二次モーメント (cm⁴)
 E : 鋼材のヤング係数 (N/mm²)
 σ : 鋼材のたわみ量 (cm)

$\sigma = W \times \frac{l}{2} \times 10^{-4}$
 $\sigma = \frac{W}{6Z}$
 $\sigma = \frac{W}{24EI} \leq \frac{\sigma}{200}$

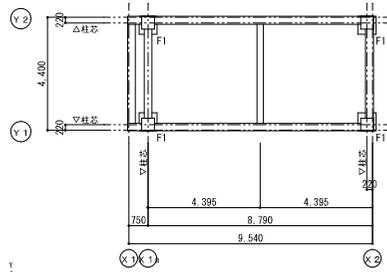
※ECP (押出成形セメント板) 協会 標準図より

※ECP (押出成形セメント板) 協会 ECP工法標準仕様書より

※ECP (押出成形セメント板) 協会 標準図より

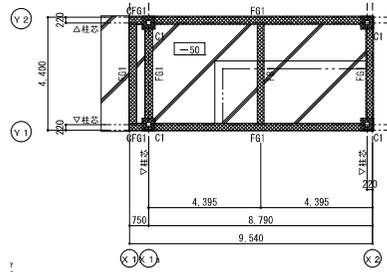
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	収受員待機室 伏図・軸組図	番号	CS-14
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項			
長期鉛直地耐力	qa=300kN/m ² (支持層: 花崗岩層 N ₂ 50 GL-0.70m)	土間コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=18cm
鉄筋	D19未満 SD295A (重ね継手) D19以上 SD345 (圧接)	捨てコンクリート	普通コンクリート Fc=18N/mm ² S=15cm ・コンクリート厚 50mm
コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=18cm	砕石	・厚さ 60mm (基礎・基礎下) ・厚さ 100mm (土間下)
基礎コンクリート	普通コンクリート Fc=24N/mm ² S=15cm		
		鋼材	角型鋼管 STKR400 H型鋼 SM400A, SM400B ゲイワール SM490C ペーシプレート SM490C 軽量型鋼 SSC400 高力ボルト S10T アサボルト ABR400
		備考	・打設時期にあった構造体強度補正を行うこと ・コンクリートの仕様は、「公共建築工事標準仕様書 (建築工事) 最新版」による



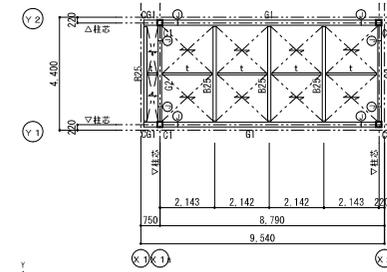
基礎伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎下端レベル GL-700



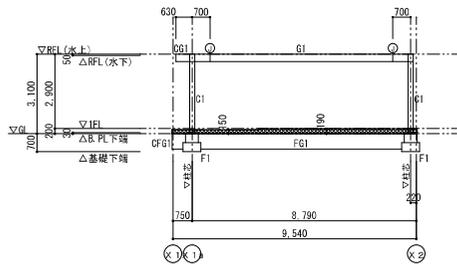
1階伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 基礎天端レベル GL±0
2. 土間天端レベル FL-10
3. ○○○はF1からの土間天端レベルを示す。
4. ■は増打ち範囲を示す。
5. ▨は土間コンクリート範囲を示す。



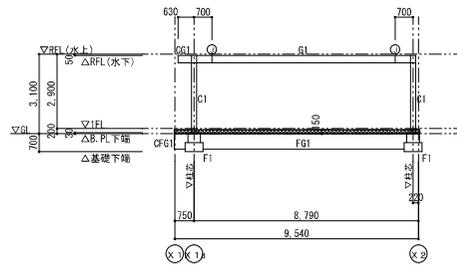
屋根伏図 (見上図) 1:100

記入なき限り、下記とする
1. 梁天端レベル GL+3100 (Y1)~GL-3050 (Y2)
2. ←印は北方向を示す。
3. ---印は基礎ゲージスH1を示す。
4. 天井受け材を配置すること。
5. ○は現場継手位置を示す。



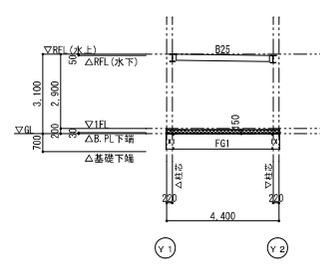
Y1 通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○は現場継手位置を示す。
2. ■は増打ち範囲を示す。



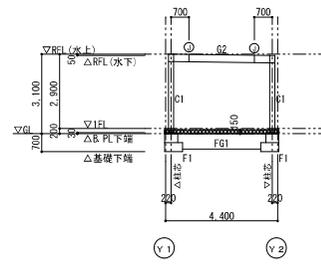
Y2 通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○は現場継手位置を示す。
2. ■は増打ち範囲を示す。



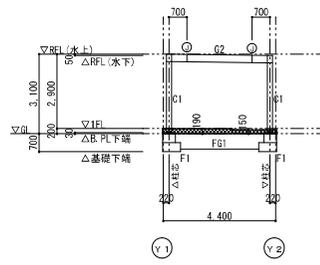
X1 通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○は現場継手位置を示す。
2. ■は増打ち範囲を示す。



X1a 通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○は現場継手位置を示す。
2. ■は増打ち範囲を示す。



X2 通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
1. ○は現場継手位置を示す。
2. ■は増打ち範囲を示す。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	収受員待機室 部材リスト	番号	CS-15
高速5号線			
広島高速道路公社			

柱リスト 1:20

特記外
1. アンカーボルトは定着版付・DN締メとする。
2. トップ/HOOPは□-D13 (ダブル) とする。

符号	G1
S柱 断面	
鉄骨	□-200x200x9 (S1KR400)
備考	
柱脚	
B. PL	PL-22x360x360 (SM490C)
A. BOLT	4-M16 (ABR400) L=400
R/C柱 断面	
主筋	8-D19 (四隅フック)
HOOP	□-D10@100

鉄骨梁リスト 1:20

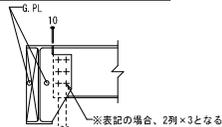
特記外
1. 使用鋼材は、SM400Bとする。

符号	G1	G2	G61
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
鉄骨	H-294x200x8x12	H-300x150x6.5x9	H-294x200x8x12
備考			

鉄骨部材リスト 1:20

特記外
1. 使用鋼材は、SM400Aとする。

符号	部材	仕口	備考
B25	H-250x125x6x9	G. PL-6 HTB 2-M20	ボルトは2行×1列配置
t	H-150x75x5x7	G. PL-6 HTB 2-M16	ボルトは1行×2列配置
HV1	I-M12 (9=12) 2M付	G. PL-6 HTB 1-M12	JIS製品、SS400
天井受け材	C-100x50x20x2.38910	G. PL-6 中ボルト 1-M12	SS400
屋根裏き材	ALC t=100		

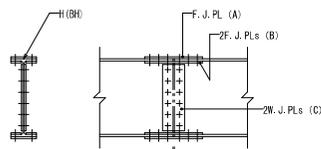


(鉄骨部材リスト：仕口凡例)

大梁継手表

特記外
1. 使用鋼材は、母材に同じとする。
2. 使用 H.T.B はS10Tとする。
3. 下敷の F.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1フランジに必要な本数とする。
4. 下敷の W.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁の1ウェブに必要な本数とする。

梁中央部材 (下段)SSS-H97 継手呼称	FLANGE			WEB		梁使用鋼材
	F. J. PL (A)	2F. J. PLs (B)	F. HTB	2W. J. PLs (C)	W. HTB	
H-294x200x8x12 4X-J-3020-0812-20	9x200x410	9x80x410	Σn=24 6-M20	9x200x170	Σn=6 3-M20	SM400B
H-300x150x6.5x9 4X-J-3015-0609-20	9x150x290	9x60x290	Σn=16 4-M20	6x200x170	Σn=4 2-M20	SM400B



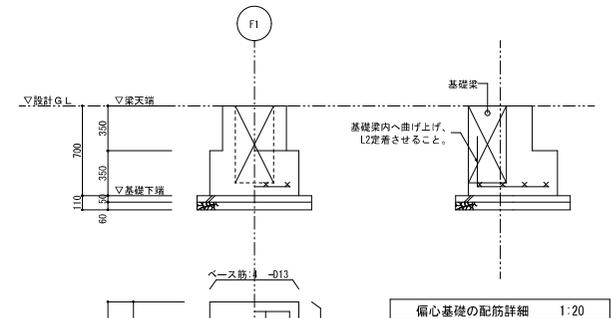
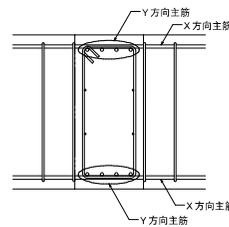
(大梁継手表：継手凡例)

基礎梁リスト 1:20

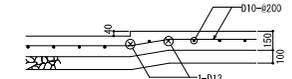
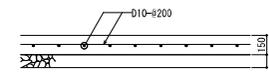
特記外
1. 幅止め筋はD10@1000以下とする。

符号	F01	F81
位置	全断面	全断面
断面		
b x D	300 x 600	250 x 500
上端筋	3-D19	2-D19
下端筋	3-D19	2-D19
S T P	□-D10@200	□-D10@200
腹筋	2-D10	-

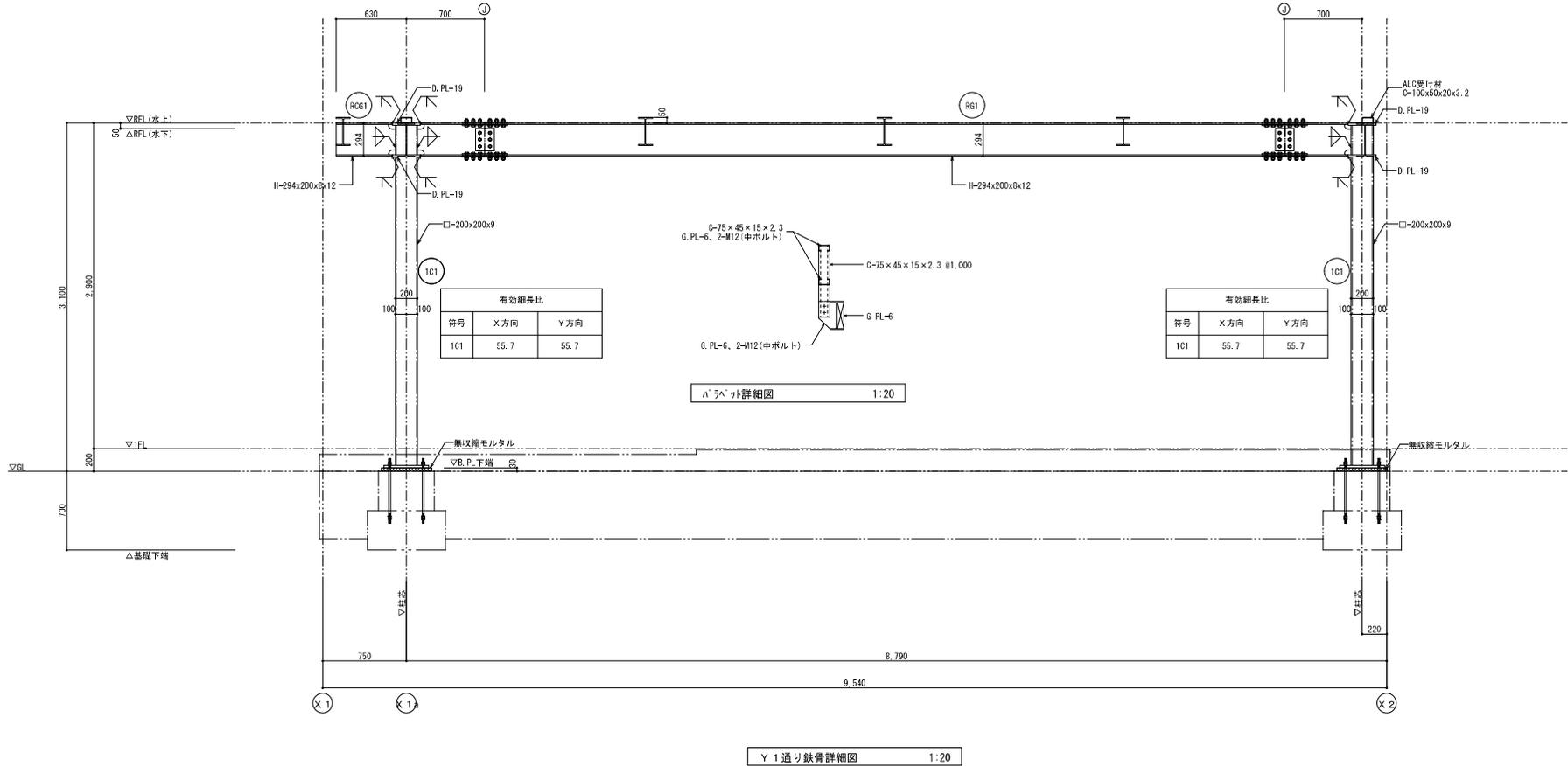
基礎梁主筋上下配筋要領図



基礎リスト 1:20



令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	収受員待機室 鉄骨詳細図	番号	CS-16
高速5号線			
広島高速道路公社			



壁式鉄筋基準図(1)

1. 鉄筋の表示

鉄筋の表示は下表による。

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22
記号	○	×	◇	●	○

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げ形状・寸法

曲げ角度	折り曲げ図	鉄筋の折り曲げ内径寸法(D)	鉄筋の表長	備考
180°		D16以下 3d以上	4d以上	
135°		S D 3 4 5 (D19~D29) 4d以上	6d以上	
90°		S D 3 9 0 (D29以上) 5d以上	8d以上	スラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同等に打込む、L形部りのキャップタイにのみ用いる。 キャップタイ

d: 呼び名に用いた数値

(注) 片持スラブの上層の先端、壁の自由端に用いるフックを付ける場合の余長は4d以上とする。

(2) 鉄筋中間部の折り曲げの形状、鉄筋の折り曲げ角度90°以下

曲げ角度	折り曲げ図	使用箇所	鉄筋の径による区分(D)	鉄筋の折り曲げ内径寸法(D)
90°以下		あばら筋	D16以下	3d以上
			D19以上	4d以上
		上記以外の鉄筋	D16以下	4d以上
			D19~D25	6d以上
		D29~D38	8d以上	

(3) 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着および重ね継手長さ(L1)
		一般(L2)	スラブ	
S D 2 9 5 A	18	40または30ダツク付		45または35ダツク付
S D 2 9 5 A S D 3 4 5	21~27	35または25ダツク付	25または15ダツク付	40または30ダツク付
	30以上	30または20ダツク付		35または25ダツク付

- 末端のフックは定着長さに含まない。
- 梁および小梁の定着のための中間折り曲げにあっては、表中の定着長さに関わらず、柱および梁の中心を超えてから折り曲げる。
- 耐圧スラブの下層筋の定着長さは、一般定着(L2)とする。
- 径の異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い方のdによる。
- 耐圧スラブを受ける小梁の下層筋(L2)とする。

a. (ガス圧接形状)

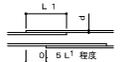


b. (ガス圧接)

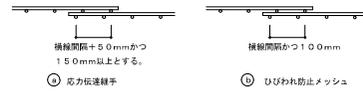


c. (重ね継手)

(下図のいずれかとする)



(4) 浴後金網の継手

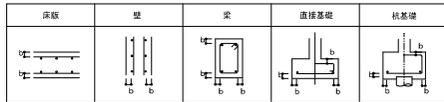


(5) 設計かぶり厚さ

a. 使用区分 (単位: mm)

使用区分	設計かぶり厚さ(b)	備考
土に接しない部分	耐力壁以外の壁	30
	梁・耐力壁	40
	擁壁	50
土に接する部分	梁・床版・壁	50
煙突など重熱を受ける部分	基礎・擁壁・耐圧版	70
		70

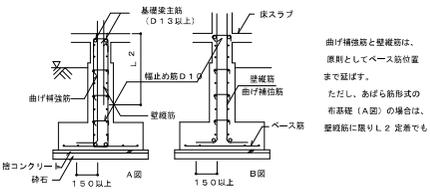
b. 各部分のかぶり厚さ



(注) bには、増しコンクリート厚さは含まない。

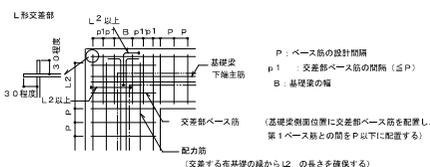
3. 基礎

(1) 壁基礎

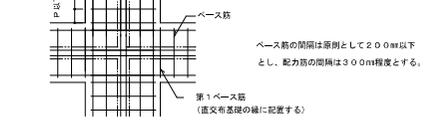


曲げ補強筋と壁筋は、原則としてベース筋位置まで延ばす。ただし、あばら筋形式の布基礎(A図)の場合は、壁筋に限りL2定着でも

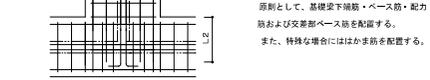
布基礎交差部の配筋(平面)



X部交差部

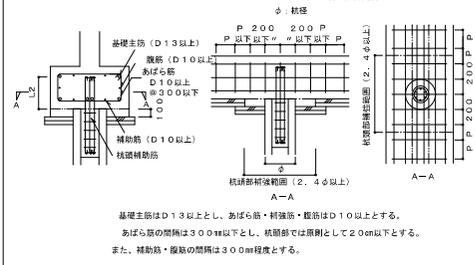


T部交差部



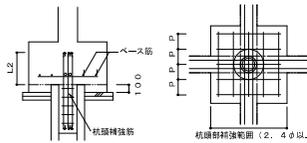
原則として、基礎受下補筋・ベース筋・配筋および交差部ベース筋を配置する。また、特殊な場合にはほかの筋を配置する。

(2) 杭基礎

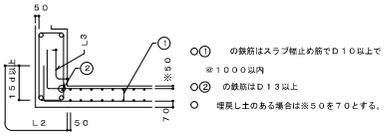


基礎主筋はD13以上とし、あばら筋・補強筋・壁筋はD10以上とする。あばら筋の間隔は300mm以下とし、杭頭部では原則として20mm以下とする。また、補強筋・壁筋の間隔は300mm程度とする。

P: ベース筋の設計間隔(200以下)

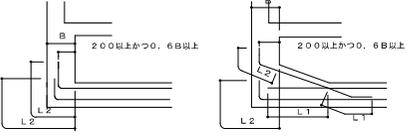


(3) ベタ基礎

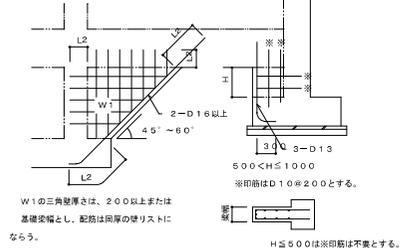


- 1 の鉄筋はスラブ止め筋でD10以上でφ100以内
- 2 の鉄筋はD13以上
- 増ししたる場合はφ50を7φとする。

(4) 耐圧版(定着および継手)

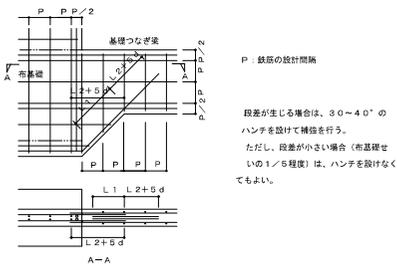


(5) 基礎接合部の補強



W1の三角製厚さは、200以上または基礎受幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう。

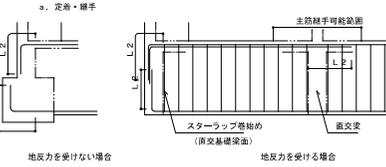
(6) 布基礎と基礎つなぎ梁



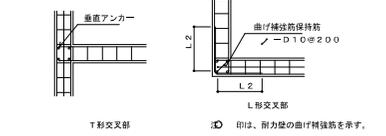
段差が生じる場合は、30~40°のハンチを設けて補強を行う。ただし、段差が小さい場合(布基礎せいの1/5程度)は、ハンチを設けなくてもよい。

4. 基礎梁

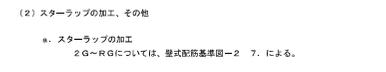
(1) 基礎梁の配筋



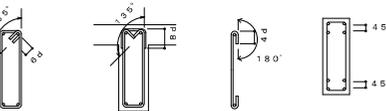
a. 定着・継手



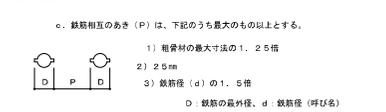
b. 主筋定着要項



(2) スターラップの加工、その他



a. スターラップの加工



(3) 幅止め筋の本数、加工

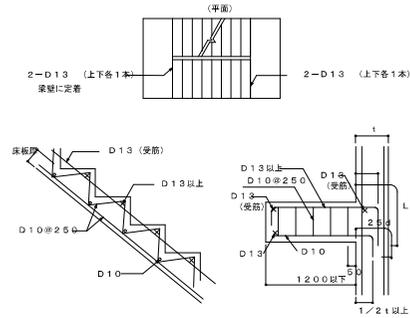


○ 腹筋は柱面より30mm以上定着すること。

壁式配筋基準図(3)

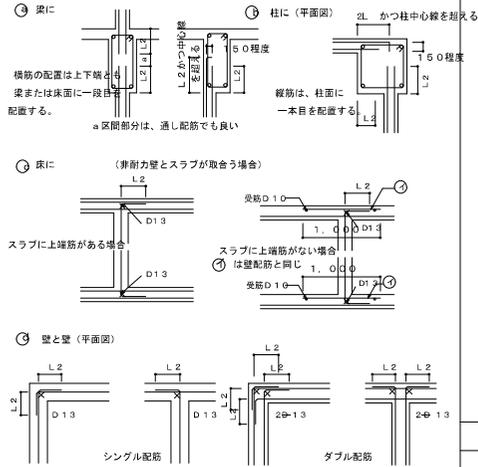
8. 階段

(1) 片階段

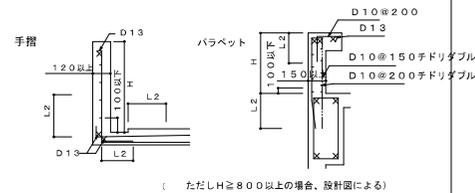


9. 壁

(1) 定着

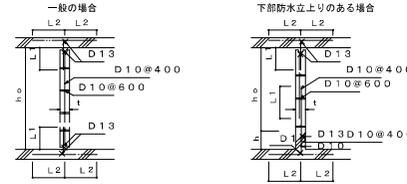


(2) 手摺、パラベット



(ただしH≧800以上の場合、設計図による)

(3) コンクリートブロック構壁

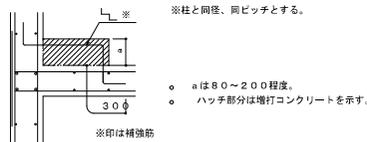


- $H \leq 2.5t$ かつ 500 以下とする。ただし直交方向 t 以内に壁、または柱がある場合は除く。
- h はコンクリートブロック段数節寸法とする。ただし $2.5t \leq h \leq 400$
- 継手部は必ずモルタルを充填すること。

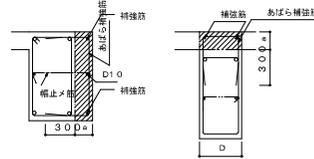
10. 増打コンクリート補強

(増打するときは事前に設計者および工事監督者と打合せのこと)

(1) 壁



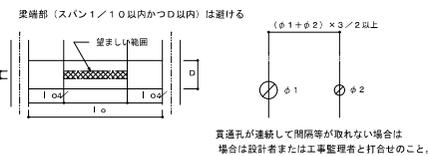
(2) 梁



- 補強筋は、梁主筋の1段落し径 (D13以上) とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腰筋D10ピッチは、梁の腹筋と合わせる。
- $D \geq 400$ の場合は補強筋を3本とする。
- a は $80 \sim 200$ 程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

11. 梁貫通孔補強

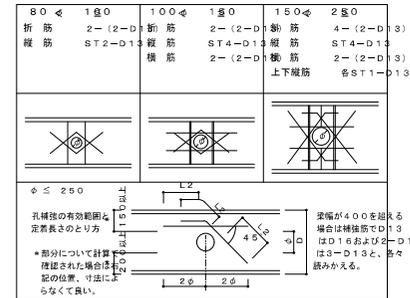
(1) 設置可能範囲



貫通孔が連続して間隔等が取れない場合は橋合は設計者または工事監督者と打合せのこと。

(2) 鉄筋標準配筋

ただし $\leq D/4$ とする



(3) 既製品

(使用するときには、監理者の承諾を得ること)

- リング型
- バイブ型
- 金網型
- プレート型

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所(ON)部材リスト	番号	CS-21
高速5号線			
広島高速道路公社			

柱リスト 1:20

特記外
1. フォーグはDN種とする。
2. フォーグの埋込まで施工済みである。

符号	G1
S柱断面	
鉄骨	○-355.6x7.9 (S1KM008)
備考	
柱脚	
B. PL	PL-28x420x420 (SM490C)
A. BOLT	4-M20 (施工済み)
R/C柱断面	
※施工済み	
主筋	12-D22
HOOP	□-D13@100

鉄骨梁リスト 1:20

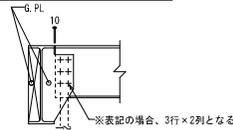
特記外
1. 使用鋼材は、SM400Bとする。

符号	G1	GG1	
位置	全断面	全断面	
断面			
鉄骨	H-350x175x7x11	H-350x175x7x11	
備考			

鉄骨部材リスト 1:20

特記外
1. 使用鋼材は、SM400Aとする。

符号	部材	仕口	備考
B25	H-250x125x6x9	G. PL-6 HTB 3-M20	ボルトは3行×1列配置
B20	H-200x100x5.5x8	G. PL-6 HTB 4-M16	ボルトは2行×2列配置
HV1	I-M12 (9ヶ所×2ヶ所)	G. PL-9 HTB I-M16	JIS製品、SS400
屋根裏き材	折板 t=0.8 (山高85以上)		

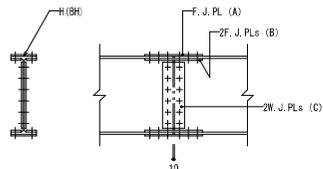


(鉄骨部材リスト：仕口凡例)

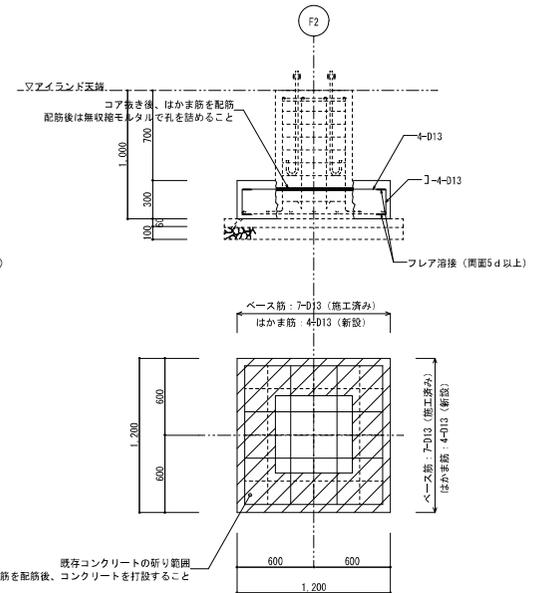
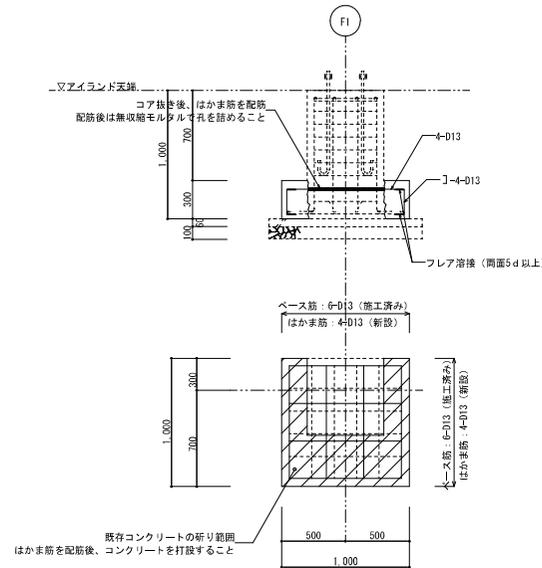
大梁継手表

特記外
1. 使用鋼材は、母材に同じとする。
2. 使用 H.T.B はF8Tとする。
3. 下敷の F.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁のフランジに必要な本数とする。
4. 下敷の W.H.T.B の本数は、JOINTする片側の梁のウェブに必要な本数とする。
5. 継手の仕様は、「建築鉄骨設計基準及び同解説(平成10年版)」による。

梁中央部材	FLANGE			WEB		梁使用鋼材
	F. J. PLs (A)	2F. J. PLs (B)	F. HTB	2W. J. PLs (C)	W. HTB	
H-350x175x7x11	9x175x290	9x70x290	Σn=16 4-M20	6x260x170	Σn=6 3-M20	SM400B



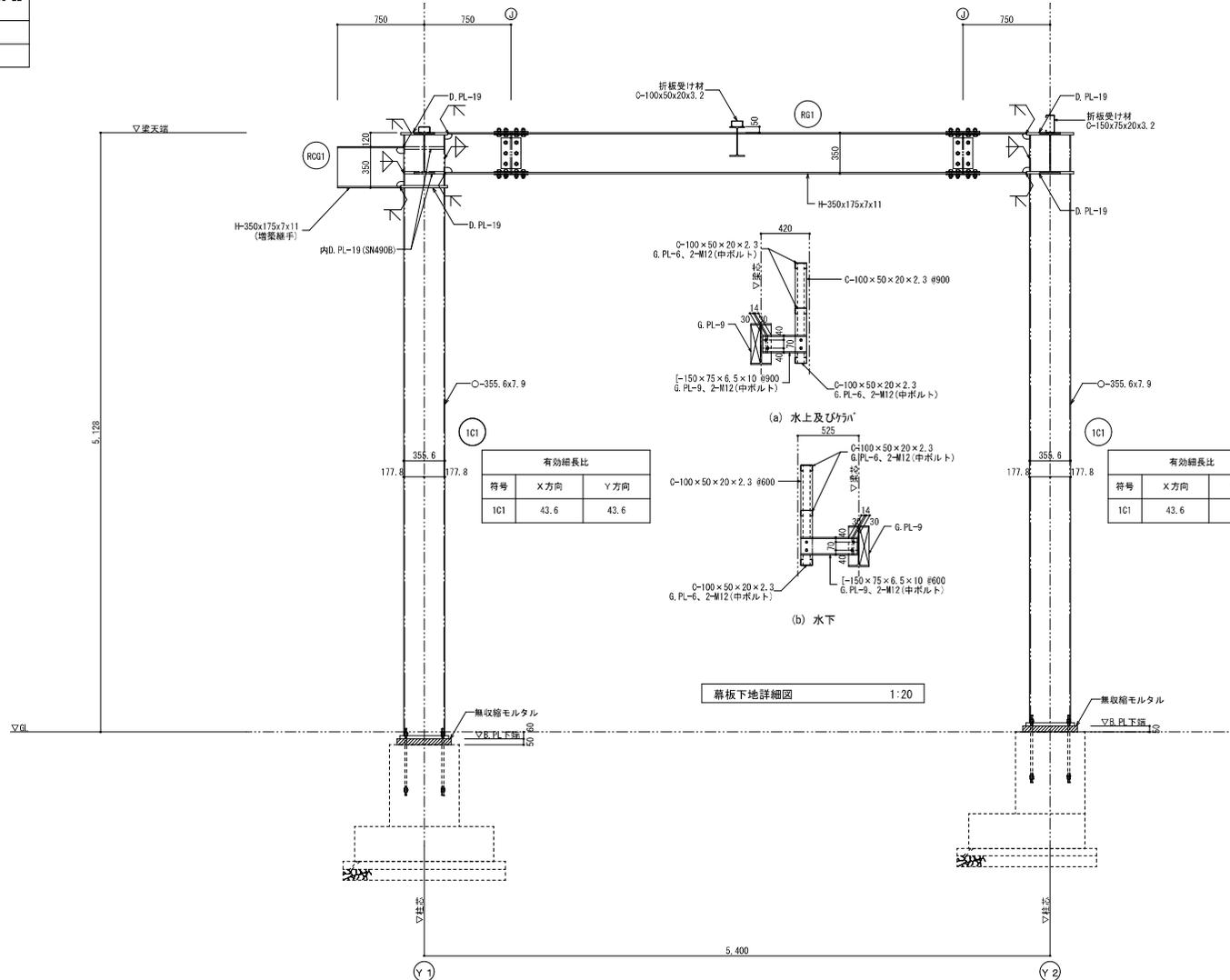
(大梁継手表：継手凡例)



基礎リスト 1:20

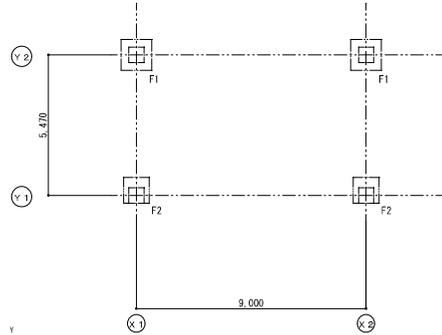
<材料特記>
・無収縮モルタル Fm=30N/mm2
・コンクリート Fc=21N/mm2 S=15mm
・鉄筋 SD295A

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (ON) 鉄骨詳細図	番号	CS-22
高速5号線			
広島高速道路公社			



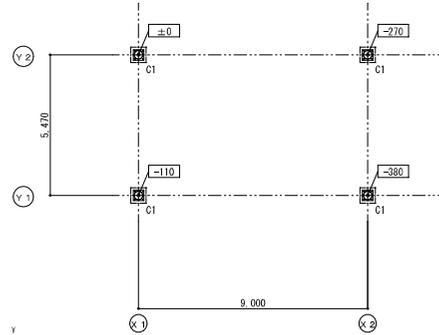
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/100 (A1)	
図名	中山料金所 (OFF) 伏図・軸組図	番号	CS-23
高速5号線			
広島高速道路公社			

共通事項		
鋼材	円型鋼管	STKM400B
	H型鋼	SM400A, SM400B
	パイプ鋼	SM490C
	ベースプレート	SM490C
	軽量型鋼	SSC400
	高力ボルト	F8T
備考	・鋼材の仕上げは、溶融亜鉛メッキとすること	



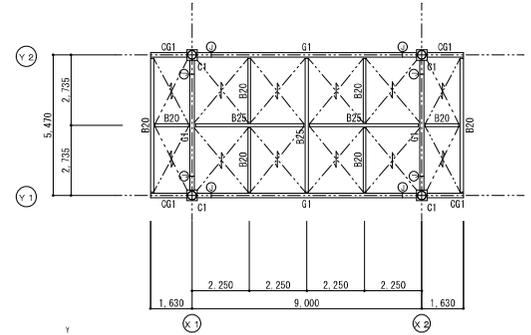
基礎伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. 基礎下端レベル GL-1000~1380
 2. 基礎は施工済みである。



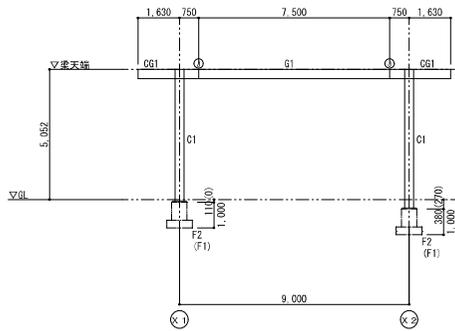
1階伏図 (見下図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. [O]はGLからのアイランド天端レベルを示す。
 2. 7か所の埋込まで施工済みである。



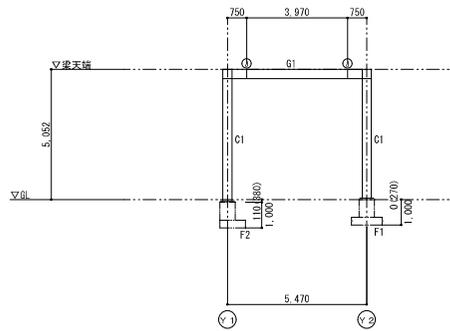
屋根伏図 (見上図) 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. 梁天端レベル GL+5052
 2. 一印は折板方向を示す。
 3. 一印は屋根ブレース#1を示す。
 4. ①は現場継手位置を示す。



Y1・Y2通り軸組図 1:100

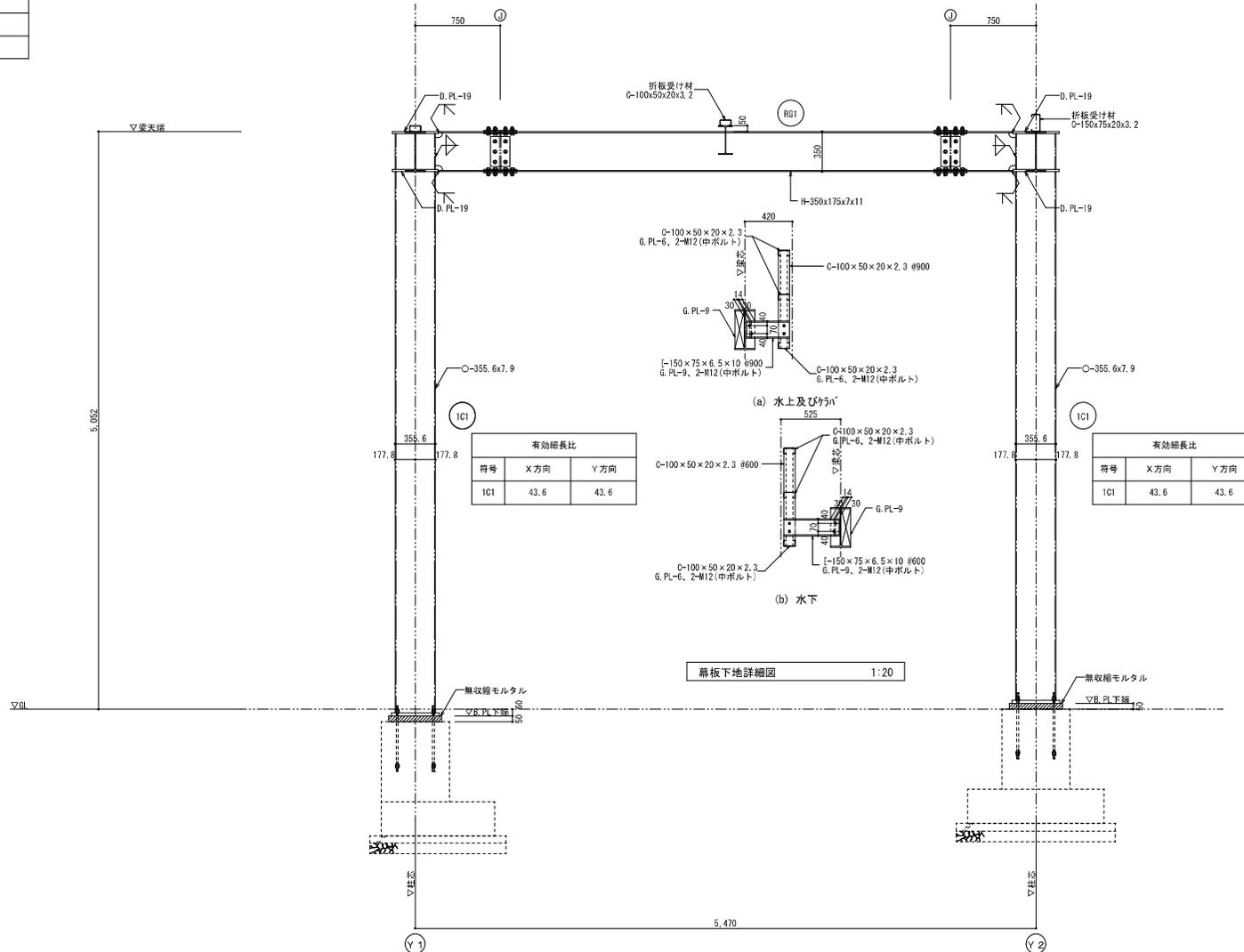
記入なき限り、下記とする
 1. ①は現場継手位置を示す。
 2. ()はY2通りのレベル及び符号を示す。



X1・X2通り軸組図 1:100

記入なき限り、下記とする
 1. ①は現場継手位置を示す。
 2. ()はX2通りのレベル及び符号を示す。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1/20 (A1)	
図名	中山料金所 (OFF) 鉄骨詳細図	番号	CS-25
高速5号線			
広島高速道路公社			

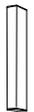


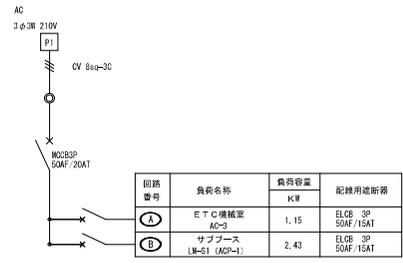
×1通り鉄骨詳細図 1:20

特記なき材料種別は、共通事項に記載のある通りとする。

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 分電盤結線図・照明姿図 (収容員待機室)	番号	E-02
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

分電盤名称	LM-M1 (N)	
	キャビネット形式 T	
電気方式	種別	非常用回路 常用回路
	相線	1φ3W 3φ3W
負荷容量	電圧	210V/105V 210V
	V/A	2.0/2.1 2.8/3.0
主幹機具	定格電流	100A
	定格遮断電流	2.5kA

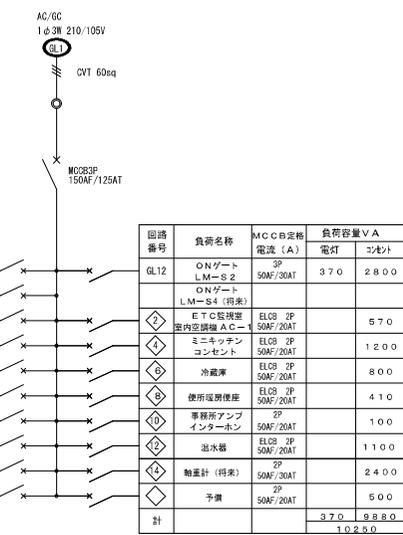
照明器具姿図		F		LBF3MP/RP-2-13																																									
A 1	LSS9-4-48																																												
A 2	LSS9-4-65																																												
A 3	LSS9MP/RP-2-14																																												
A 4	LSS9MP/RP-4-64																																												
																																													
B 1	LRS6-4-48	G		K1-LRS11-1 非常灯 埋込																																									
B 2	LRS6-4-65	非常灯評定番号: LAL-E-004																																											
																																													
<table border="1"> <tr> <td>設置取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> <td>3.2m</td> <td>3.4m</td> <td>3.6m</td> <td>3.8m</td> <td>4.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配線</td> <td>A 1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>直線配線</td> <td>A 2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>両角配線</td> <td>A 4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>8.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						設置取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.2m	3.4m	3.6m	3.8m	4.0m	単体配線	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8	-	-	-	-	直線配線	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1	-	-	-	-	両角配線	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9	-	-	-	-
設置取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	3.2m	3.4m	3.6m	3.8m	4.0m																																				
単体配線	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8	-	-	-	-																																				
直線配線	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1	-	-	-	-																																				
両角配線	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9	-	-	-	-																																				
C 1	LSS1-4-48	H		K1-LSS11-1 非常灯 直付																																									
C 2	LSS1-4-65	非常灯評定番号: LAL-E-007																																											
																																													
<table border="1"> <tr> <td>設置取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> <td>4.0m</td> <td>5.0m</td> <td>6.0m</td> <td>7.0m</td> <td>8.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配線</td> <td>A 1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>直線配線</td> <td>A 2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>両角配線</td> <td>A 4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>8.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>						設置取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m	単体配線	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8	-	-	-	-	直線配線	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1	-	-	-	-	両角配線	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9	-	-	-	-
設置取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	8.0m																																				
単体配線	A 1	3.8	4.0	4.0	2.8	-	-	-	-																																				
直線配線	A 2	8.5	9.4	9.9	10.1	-	-	-	-																																				
両角配線	A 4	6.9	7.6	8.1	8.9	-	-	-	-																																				
D	LRS1-08																																												
																																													
E 1	LEDブラケット (FL20形)																																												
E 2	LEDブラケット (HF32形)																																												
																																													
昼白色 (5000K)・Ra83 電圧100V 試験タイプ、実非露付型・露出付型 カバープラスチック (乳白) 両面化粧タイプ																																													



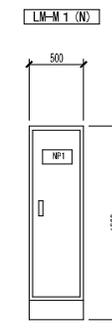
注記

- 分岐用配線遮断器は2P (節約計IPサイズ) とする。
- 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
- 図中記入なきものは下記による。

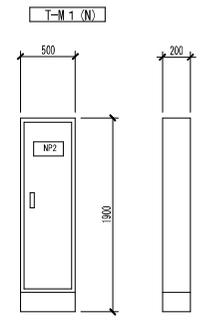
 単相100V回路 (2P1E)
 単相200V回路 (2P2E)



負荷容量V/A	MCCB定格電流(A)	負荷名称	回路番号	回路番号	負荷名称	MCCB定格電流(A)	負荷容量V/A
2755	470	サブブラス (OFF) LM-S1	GL11	GL12	ONゾート LM-S2	30	370
1300	130	増幅室 LM-M2	GL13		ONゾート LM-S4 (将来)		
		サブブラス (OFF) LM-S3 (将来)			ETC監視室 室内空調機A-C-1	50A/20AT	570
670		収容員控室			ミニキッチンコンセント	50A/20AT	1200
	320	収容員控室 電灯			冷蔵庫	50A/20AT	800
120		全熱交換機			便所洗面機	50A/20AT	410
300		休業準備室 コンセント			事務所アンブインターホン	2P 50A/20AT	100
410		便所給湯機			浴水器	50A/20AT	1100
400		事務所モニター			物置計 (将来)	2P 50A/30AT	2400
2400		物置計 (将来)			予備	2P 50A/20AT	500
1000		通信機器収容室					
9255	926						370
10181							10280



分電盤姿図



端子盤姿図

分電盤・端子盤仕様

扉板	鋼板 1.6t 以上
扉板	鋼板 1.6t 以上
把手	平面フラットハンドルNo.200
塗装	メラミン焼付

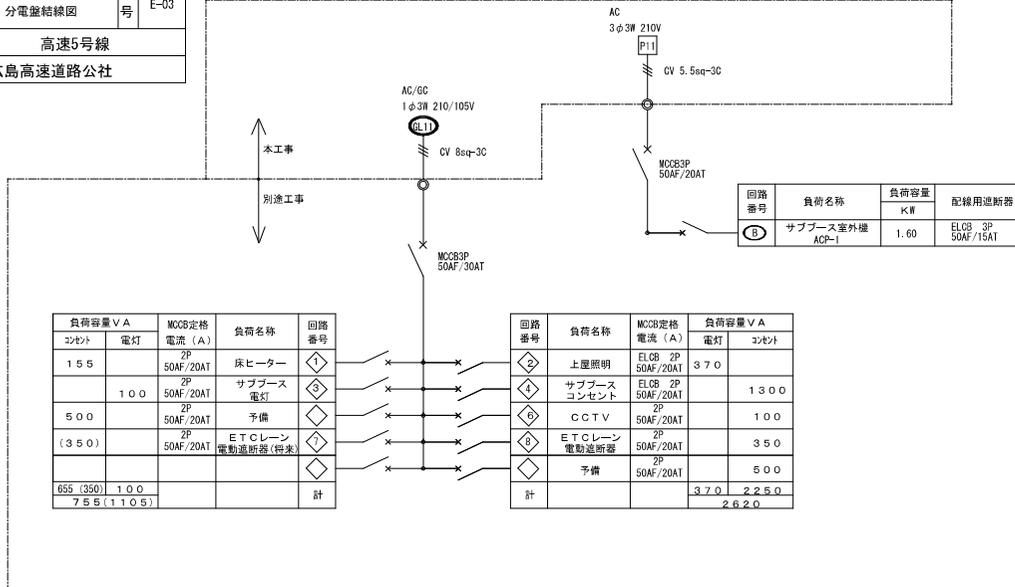
盤名称

NP1	LM-M1 (N)
NP2	通電端子盤

(注記)
 1. 図中、寸法は参考とする。
 2. 端子盤内は、木製基板 (15mm) 付とする。

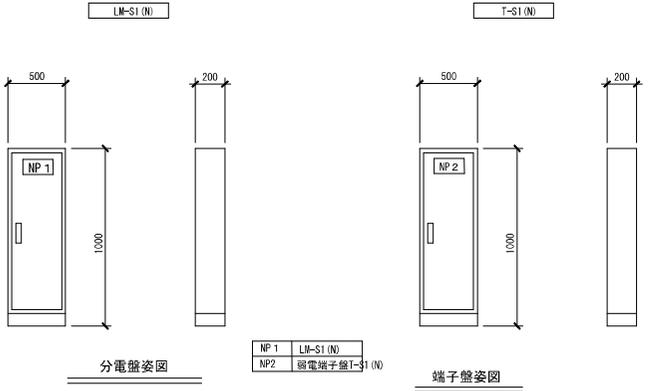
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 (ON) (OFF) 分電盤結線図	番号	E-03
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

分電盤名称	LM-S1(N) (OFFゲート)	
キャビネット形式	T	
電気方式	種別	非常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	210/105V
負荷容量	V A	3225
	電灯	1.60kW
主幹器具	定格電流	50A
	定格遮断電流	2.5kA



分電盤仕様
図板 鋼板 1.6 t 以上
扉板 鋼板 1.6 t 以上
把手 平面フラットハンドル N o. 200
塗装 メラミン焼付

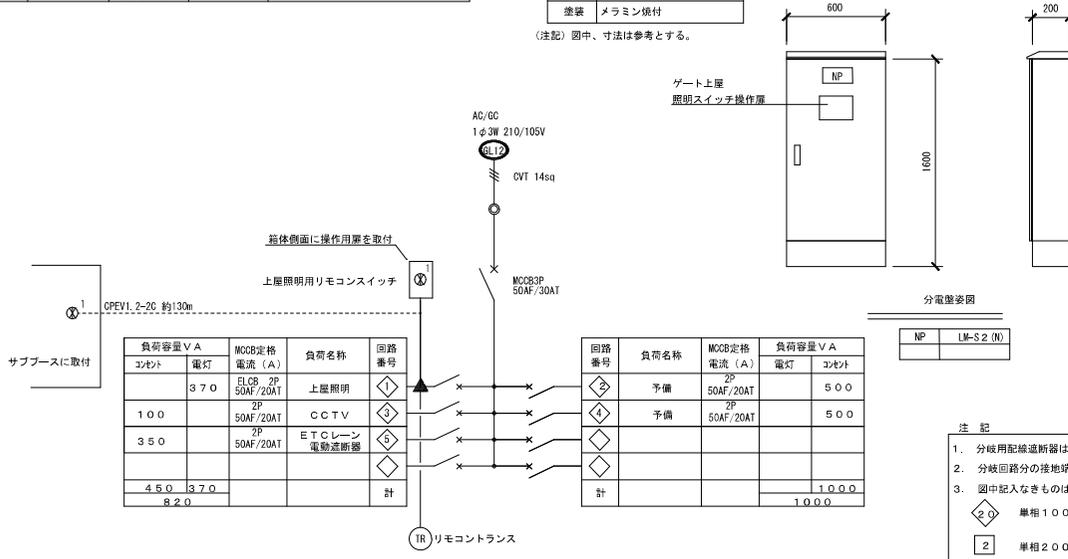
- 注記
- 分岐用配線遮断器は2P (協約計1Pサイズ) とする。
 - 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
 - 図中記入なきものは下記による。
- ① 単相100V回路 (2P1E)
② 単相200V回路 (2P2E)



分電盤名称	LM-S2(N) (ONゲート)	
キャビネット形式	T	
電気方式	種別	非常用回路
	相線	1φ3W
	電圧	210/105V
負荷容量	V A	3170
	電灯	500
主幹器具	定格電流	50A
	定格遮断電流	2.5kA

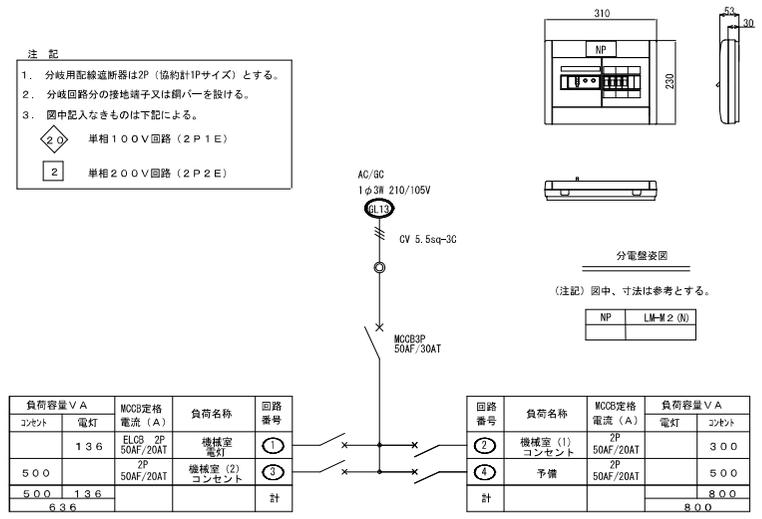
分電盤仕様 (屋外)
図板 SUS304 1.2 t 以上
扉板 SUS304 1.2 t 以上
把手 平面フラットハンドル N o. 200
塗装 メラミン焼付

(注記) 図中、寸法は参考とする。



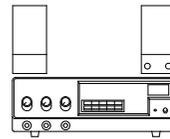
分電盤名称	LM-M2(N)		待機室
キャビネット形式	T		屋内壁掛型 (樹脂製)
電気方式	種別	非常用回路	
	相線	1φ3W	
	電圧	210/105V	
負荷容量	V A	1436	
	電灯		
主幹器具	定格電流	2P	
	定格遮断電流	50A	

- 注記
- 分岐用配線遮断器は2P (協約計1Pサイズ) とする。
 - 分岐回路分の接地端子又は銅バーを設ける。
 - 図中記入なきものは下記による。
- ① 単相100V回路 (2P1E)
② 単相200V回路 (2P2E)

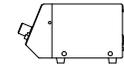


令和6年度	
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事
図面番号	縮尺 1:50
図名	中山料金所 収受員待機室 動力・電灯・コンセント 弱電設備 1階平面図
路線名	高速5号線
広島高速道路公社	

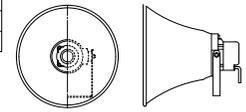
放送用アンプ仕様	
電源	AC100V 60Hz
定格出力	30W
周波数特性	50Hz~20kHz
スピーカースイッチ	5高1一斉
入力回路	マイク入力 2以上
出力回路	平均: 300Ω (100W) +4Ω



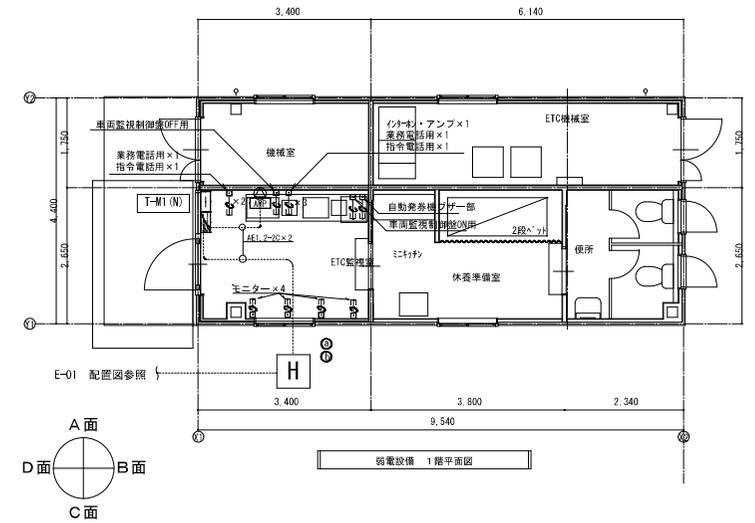
マルチメディアスピーカー
5W (参考M-SPL2163)



ホーンスピーカ仕様 (2台)	
入力インピーダンス	670Ω (15W)
定格入力	15W
出力音圧レベル	99dB (1m/1W)
周波数特性	150Hz~15kHz



凡例		
記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
□	LED照明	参考図 参照
○	LED照明	参考図 参照
●	非常用照明	電池内蔵型
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 確認表示灯付
●	タンブラスイッチ	3W15A×1
①	コンセント	2P15A×1
②	コンセント	2P15A×2
③	コンセント	2P15A×1 接地極付
④	コンセント	2P15A×1 接地端子付
⑤	コンセント	2P15A×2 接地端子付
⑥	防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
⑦	コンセント	3P15A×1 3相200V用
□	アウトレットボックス	
■	温度スイッチ	本工事等機械設備支給品 (取付、本工事付帯電気工事)
■	空調リモコンスイッチ	本工事等機械設備支給品 (取付、本工事付帯電気工事)
■	全熱交換機スイッチ	本工事等機械設備支給品 (取付、本工事付帯電気工事)
□	端子盤	
LMF	アンプ	④ モニタースピーカー付
Ⓢ	ダイナミックマイクロホン	



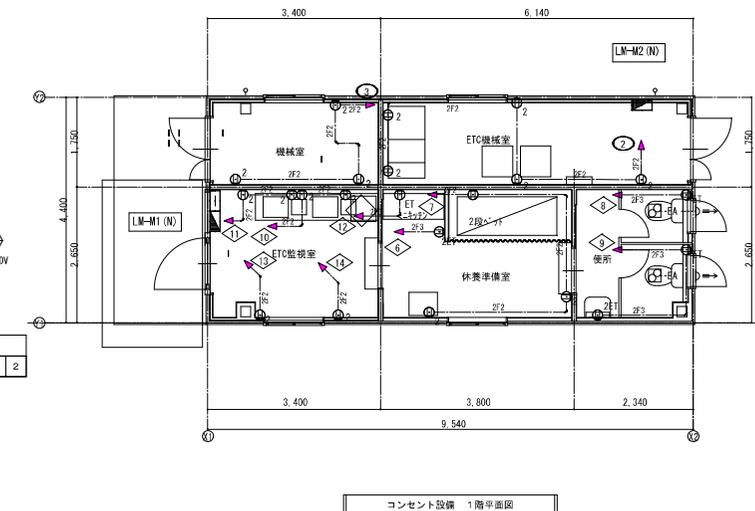
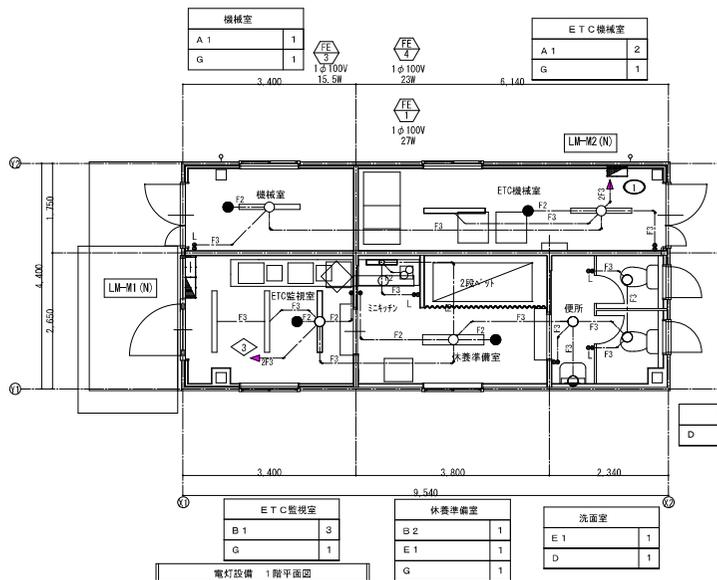
(注記)

1. 図中特記なき配管線は下記とする。

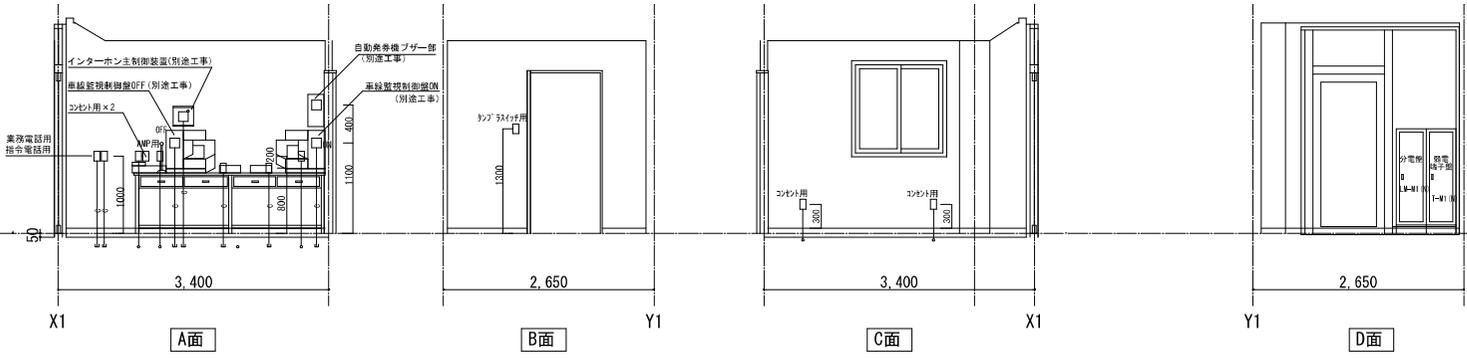
———	天井隠べい
-----	床下隠べい
-----	露出

電灯・コンセント設備 (床隠べいの例)

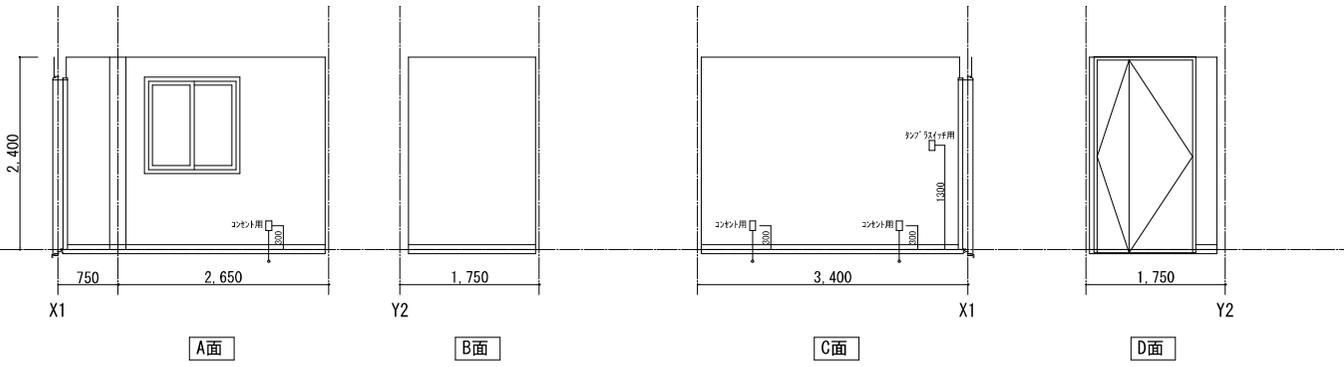
F2	WF1.6-2C	(立上りPF16)
F3	WF1.6-3C	(立上りPF16)
F4	WF1.6-2C×2	(立上りPF22)
2F2	WF2.0-2C	(立上りPF16)
2F3	WF2.0-3C	(立上りPF22)
2F4	WF2.0-2C×2	(立上りPF22)
////	IV2.0×2	(PF16)
-----	空配管	(PF22)
////	GVV1.25-2C	
-----	AE1.2-2C×2	



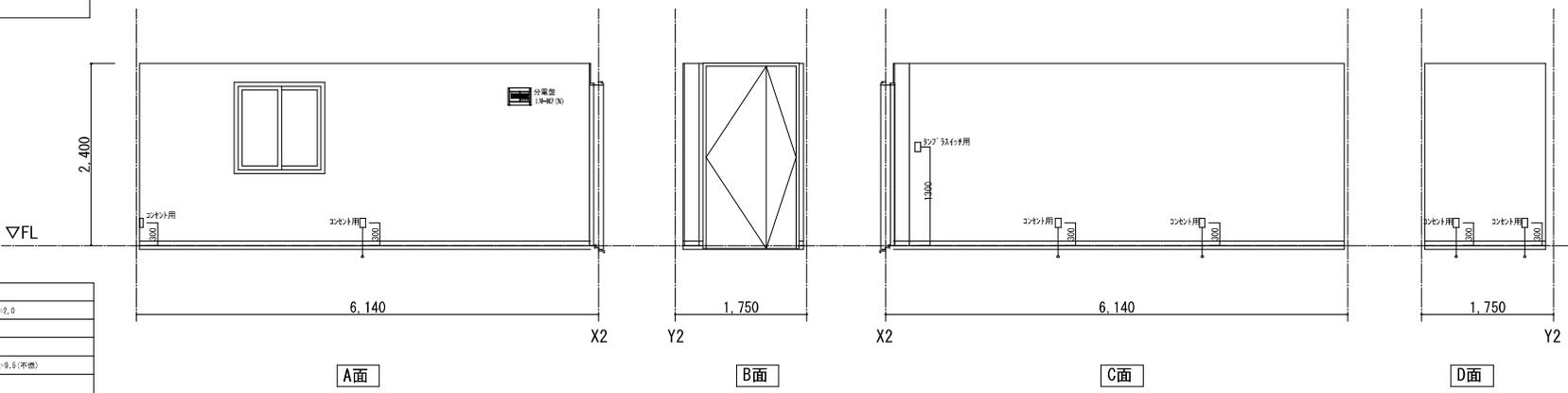
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:30	
図名	中山料金所 収容員待機室 電気設備 展開図	番号	E-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



室名	ETC監視室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=0.5(不燃)
備考	机、フラインド、フラインドボックス

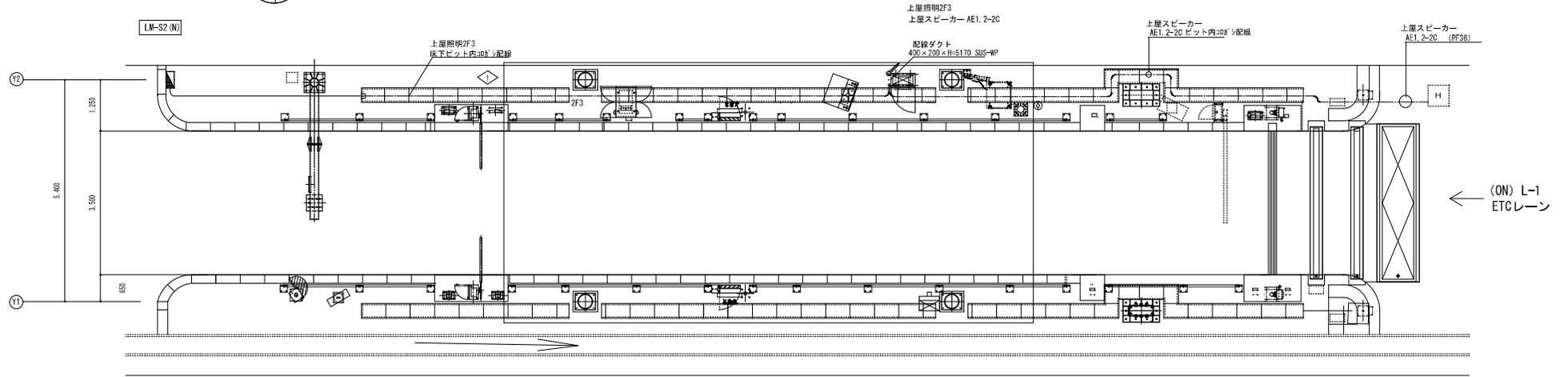


室名	機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=0.5(不燃)
備考	



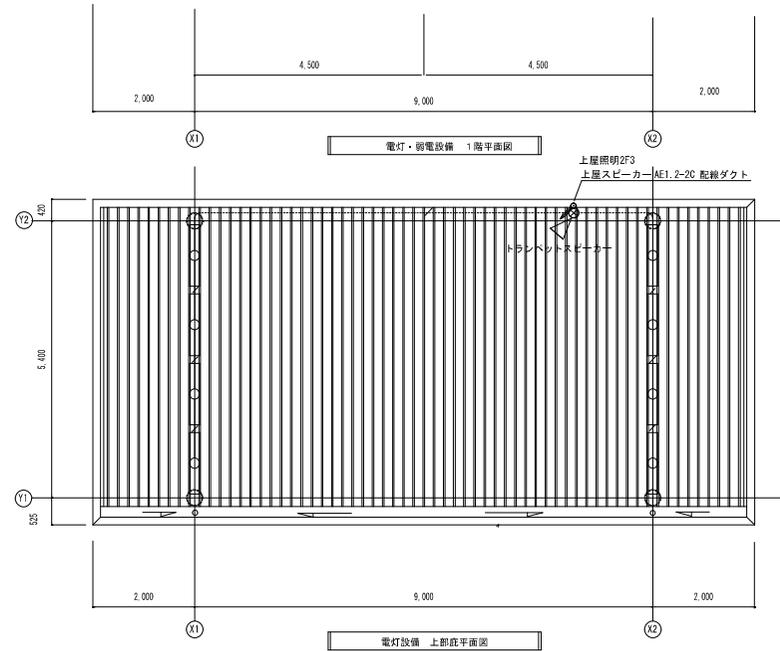
室名	ETC機械室
床	ビニル床シート t=2.0
巾木	ビニル巾木 H=60
壁	ビニルクロス貼
天井	化粧石膏ボード t=0.5(不燃)
備考	

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料倉新築等工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料倉所 (ON) 電灯設備 1階・屋根 平面図	番号	E-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



凡例	記号	名称	備考
	☑	電灯動力盤	
	□	LED照明	参考図 参照
	○	LED照明	参考図 参照
	●	非常用照明	電池内蔵型
	●	タンブラスイッチ	1P15A×1
	●	タンブラスイッチ	1P15A×1 確認表示灯付
	●	タンブラスイッチ	3W15A×1
	Ⓛ	コンセント	2P15A×1
	Ⓜ	コンセント	2P15A×2
	ⓁE	コンセント	2P15A×1 接地極付
	ⓁE1	コンセント	2P15A×1 接地端子付
	ⓁE2	コンセント	2P15A×2 接地端子付
	ⓁEETMP	防水コンセント	2P15A×2 接地線接地端子付
	□	アウトレットボックス	
	⊗	換気扇・ハイブファン	本工事付帯機械設備工事
	⋮	温度スイッチ	本工事付帯機械設備実用品 (取付: 本工事付帯電気工事)
	⋮	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
	⋮	全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備実用品 (取付: 本工事付帯電気工事)
	≡	端子盤	
	AMP	アンプ	
	Ⓛ	ダイナミックマイクロホン	
	▷	トランペットスピーカー	15W

○Nゲート 上部底	
A 4	8



(注記)
1. 箇中特記なき配管配線は下記とする。

電灯・コンセント設備

2F3	WF2.0-20	(立上りPF22)
WF1.6×2E1.6	(B16露出)	
WF1.6×3	(B16露出)	
WF1.6×4	(B22露出)	
WF1.6×5	(B22露出)	
WF2.0×2E2.0	(B16露出)	

配線ダクト S:NON
SUS304-HP

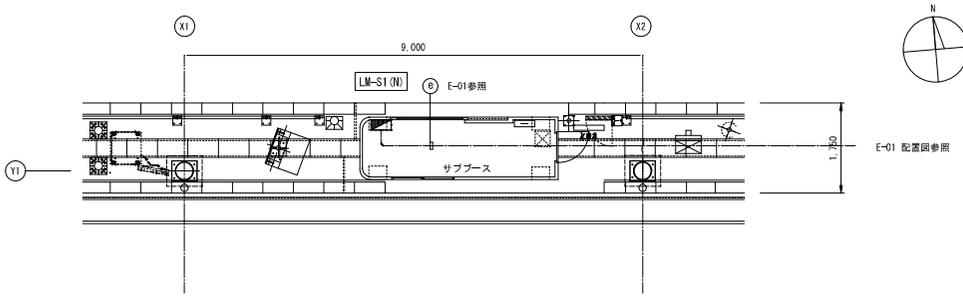
(注記)
1. 箇中特記なき配管配線は下記とする。

電灯・コンセント設備

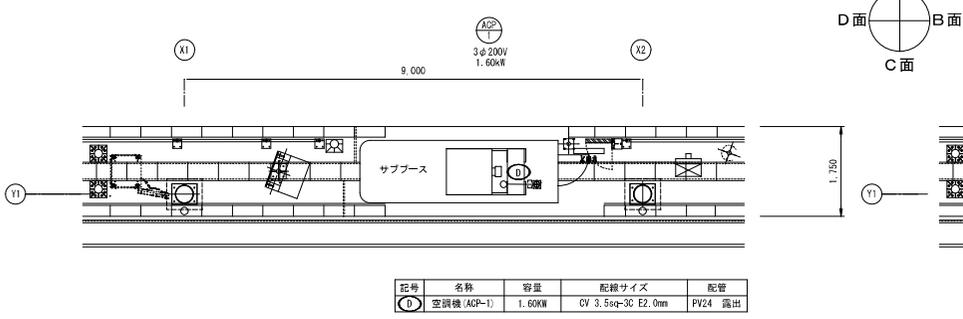
WF1.6-20	(立上りPF16)
WF1.6-30	(立上りPF16)
WF1.6-20×2	(立上りPF22)
WF2.0-20	(立上りPF16)
WF2.0-20×2	(立上りPF22)
OV3-Star-SKE2.0	(立上りPF22)
WF2.0×2	(PF16)
配管	(PF22)
AE1.2-20×2	(PF22)

1. 本体は2分割、蓋は4分割とする
2. 内部にケーブル支持バーを取り付けること

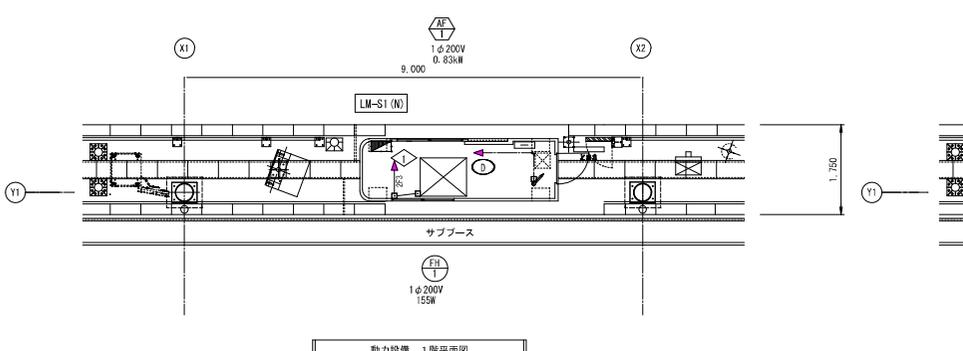
令和6年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺 1:50		
図名	中山料金所 (OFF) 動力・電灯・コンセント・弱電設備 1階・屋根 平面図	番号	E-07
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



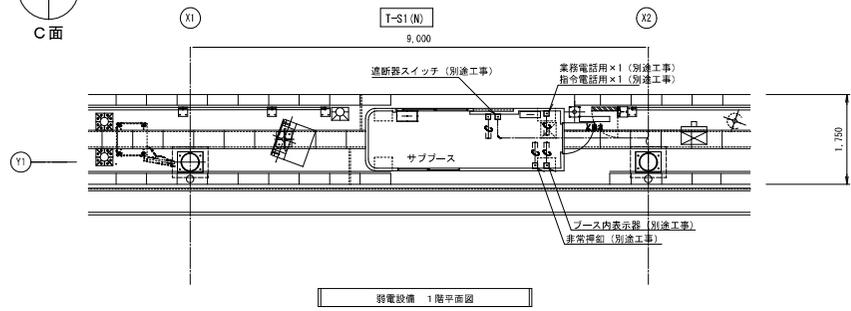
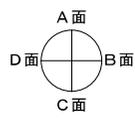
幹線設備 1階平面図



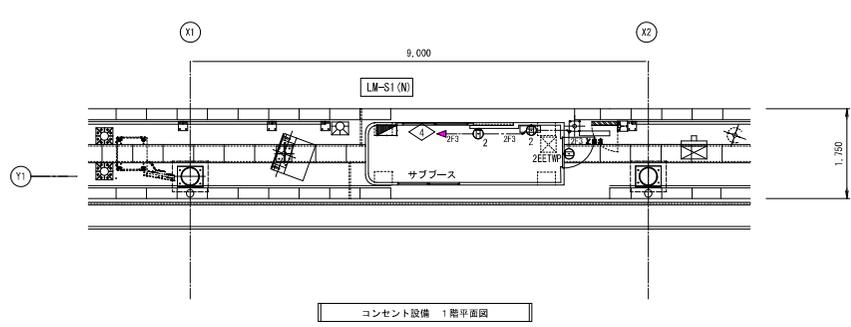
動力設備 屋根伏図



動力設備 1階平面図



弱電設備 1階平面図



コンセント設備 1階平面図

(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

----- 天井隠ぺい
----- 床下隠ぺい
----- 露出

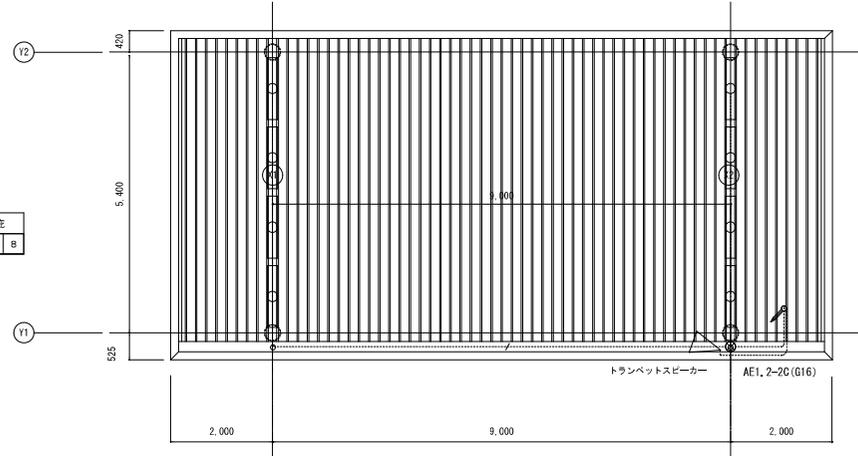
電灯・コンセント設備 (床隠ぺいの例)

----- WF1. 6-2C (立上りPF16)
----- F3 WF1. 6-3C (立上りPF16)
----- F4 WF1. 6-2C×2 (立上りPF22)
----- 2F2 WF2. 0-2C (立上りPF16)
----- 2F3 WF2. 0-3C (立上りPF22)
----- 2F4 WF2. 0-2C×2 (立上りPF22)
----- IV2. 0×2 (PF16)
----- 空配管 (PF22)
----- CW1. 25-2C
----- AE1. 2-2C×2

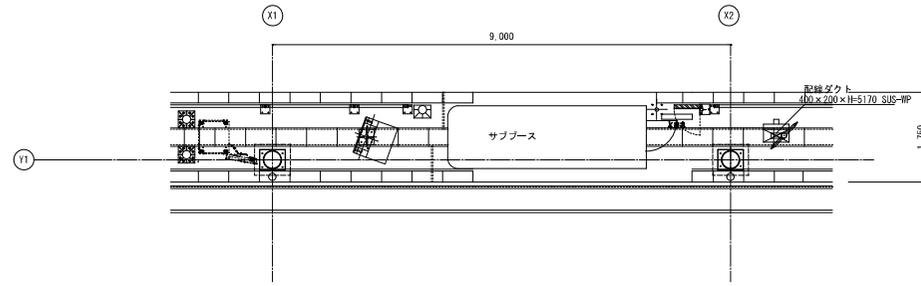
凡例		
記号	名称	備考
☑	電灯動力盤	
□	LED照明	参考図 参照
○	LED照明	参考図 参照
●	非常用照明	電池内蔵型
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●	タンブラスイッチ	1P15A×1 確認表示灯付
●	タンブラスイッチ	3W15A×1
○	コンセント	2P15A×1
○	コンセント	2P15A×2
○	コンセント	2P15A×1 接地端子付
○	コンセント	2P15A×1 接地端子付
○	コンセント	2P15A×2 接地端子付
○	コンセント	2P15A×2 接地端子付
○	防水コンセント	2P15A×2 接地端子付
□	アウトレットボックス	
○	換気扇・パイプファン	本工事付帯機械設備工事
⊞	温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付：本工事付帯電気工事)
⊞	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
⊞	金融交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付：本工事付帯電気工事)
⊞	端子盤	
AMP	アンプ	
Ⓜ	ダイナミックマイク ロホン	

令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所(OFF) 電灯・弱電設備 1階・屋根平面図	番号	E-08
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

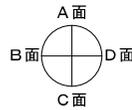
ゲート 上部座	
A 4	B



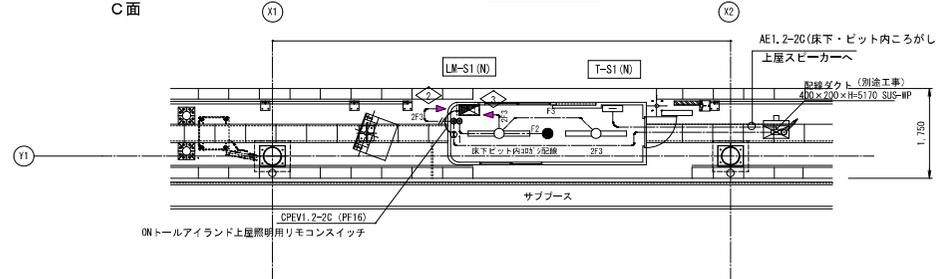
電灯・弱電設備 上部座平面図



電灯・弱電設備 屋根伏図



サブブース	
B-1	4,750? 2



電灯・弱電設備 1階平面図

凡例

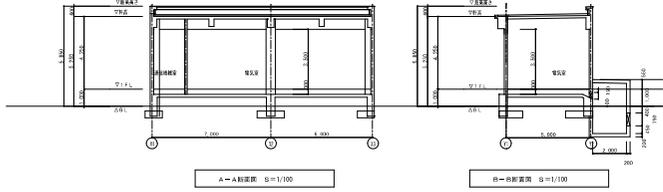
記号	名称	備考
☑	電灯動力盤	
□	LED照明	参考図面 参照
○	LED照明	参考図面 参照
●	非常用照明	電池内蔵型
●	タンブラスイッチ	1P15A×1
●L	タンブラスイッチ	1P15A×1確認表示灯付
●3	タンブラスイッチ	3P15A×1
Ⓜ	コンセント	2P15A×1
Ⓜ2	コンセント	2P15A×2
ⓂE	コンセント	2P15A×1 接地極付
ⓂET	コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓜ2ET	コンセント	2P15A×2 接地端子付
Ⓜ2EETWP	防水コンセント	2P15A×2 接地極接地端子付
□	アウトレットボックス	
Ⓜ	リモコンスイッチ1回路	(リモコンはLM-S2 (N)に設置)
Ⓜ	換気扇・パイプファン	本工事付帯機械設備工事
Ⓜ	温度スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付本工事付帯電気工事)
Ⓜ	空調リモコンスイッチ	本工事付帯機械設備工事
Ⓜ	全熱交換機スイッチ	本工事付帯機械設備支給品 (取付本工事付帯電気工事)
△	トランベツスピーカー	15W
□	端子盤	
Ⓜ	アンプ	
Ⓜ	ダイナミックマイクロホン	

(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。	
—— 天井隠ぺい	
----- 床下隠ぺい	
..... 露出	
電灯・コンセント設備 (床隠ぺいの例)	
----- WF1, 6-2C	(立上りPF16)
----- F3	WF1, 6-3C (立上りPF16)
----- F4	WF1, 6-2C×2 (立上りPF22)
----- F2	WF2, 0-2C (立上りPF16)
----- F3	WF2, 0-3C (立上りPF22)
----- F4	WF2, 0-2C×2 (立上りPF22)
-----	IV2, 0×2 (PF16)
-----	空配管 (PF22)
-----	GVV1, 25-2C
-----	AE1, 2-2C×2
-----	IV1, 6×2 E1, 6 (PF16)

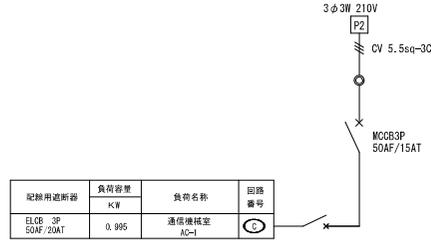
令和6年度			
工事名	広島高速5号線 料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 電気室 分電盤結線図	番号	E-10
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

分電盤名称	LM-E1 (N)		
キャビネット形式	T		屋内壁掛型 (掛板型) 指定色塗装
電気方式	種別	非常用回路	常用回路
	相線	1φ3W	3φ3W
	電圧	10/100V	200V
換算容量 VA	2726	0.995kW	
主幹器具	定格電流	50A	
	定格遮断電流	2.5kA	

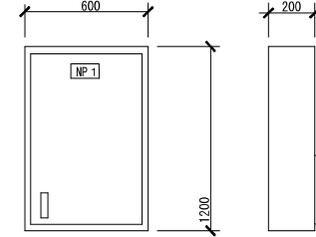


分電盤姿図

NP 1	LM-E1 (N)
------	-----------



配線用遮断器	換算容量	換算容量	回路番号
	KW		
ELCB 3P 50AF/20AT	0.995	通信機械室 AC-1	C

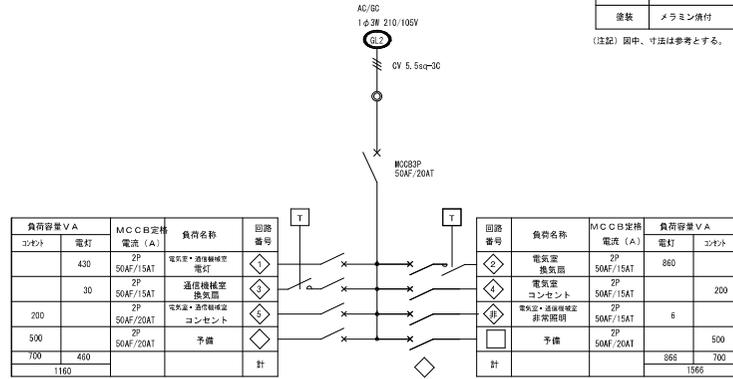
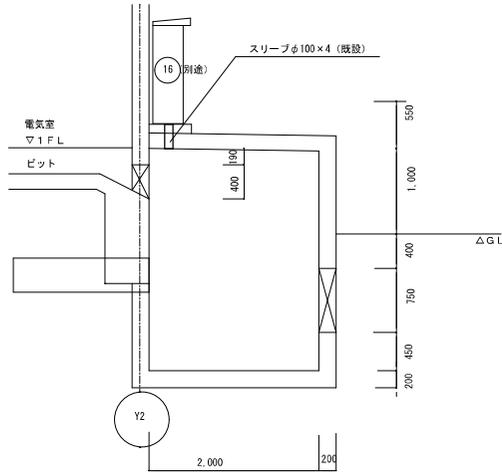


分電盤・端子台仕様

扉板	鋼板 1.6t以上
扉板	鋼板 1.6t以上
把手	平面フラットハンドルNφ.200
塗装	メラミン焼付

(注) 図中、寸法は参考とする。

保守接続盤(用)スリーブ図



換算容量 VA	MCCB 設定種	換算容量 VA	回路番号	回路番号	換算容量 VA	
コンセント	電灯	電灯	電灯	電気室	電灯	
430	2P 50AF/15AT	電気室・通信機械室 電灯	◇	電気室 換気扇	2P 50AF/15AT	860
30	2P 50AF/15AT	通信機械室 換気扇	◇	電気室 コンセント	2P 50AF/15AT	200
200	2P 50AF/20AT	電気室・通信機械室 コンセント	◇	非常照明	2P 50AF/15AT	6
500	2P 50AF/20AT	予備	◇	予備	2P 50AF/20AT	500
700	460					566
1160						1566

- 注 記
- 分岐用配線用遮断器は2P (協約計1Pサイズ) とする。
 - 分岐回路分の接続端子又は前/後を付ける。
 - 図中記入なきものは下記による。
- ◇ 単相 100V 回路 (2P1E)
 - 単相 200V 回路 (2P2E)

照明器具姿図

C 1	LSS1-4-48
C 2	LSS1-4-65
H	K1-LSS11-1
F	LBF3MP/RR-2-13

令和6年度			
工事名	広島高速5号線	料金所新築その他工事	
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 高圧引込・幹線 動力・電灯設備	番号	E-11
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

注記

1. スラブ内の配管・ボックスを施工済である。
2. 屋外側に取り付け有る既設のアウトレットボックスには水が浸入しないようカバープレートが取り付け有る。

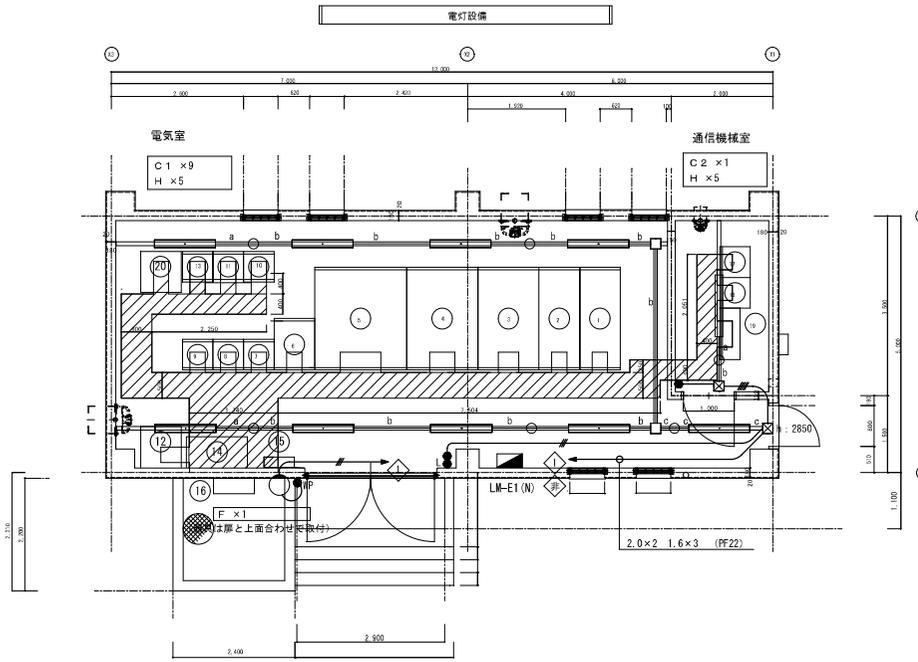
凡例		
記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
□	直付照明器具	要図参照
○	非常用照明 電池内蔵型	〃
○	ブラケット	〃 0B102×44 (既設)
●	タンブラスイッチ	IP15A×1 〃
●L	タンブラスイッチ	IP15A×1オフピカ付 〃
●WP	防水タンブラスイッチ	IP15A×1 (防水) 〃
□	エアコン電源引出口	PEWP200角×200SUS 要0B119×54 (既設)
□	ワイヤードリモコン	0B102×44 (既設)
□	汎用ケーブル引出口	〃
□	故障情報ケーブル引出口	〃
☒	プルボックス	PB200角×200 要0B119×54 (既設)

(注記)

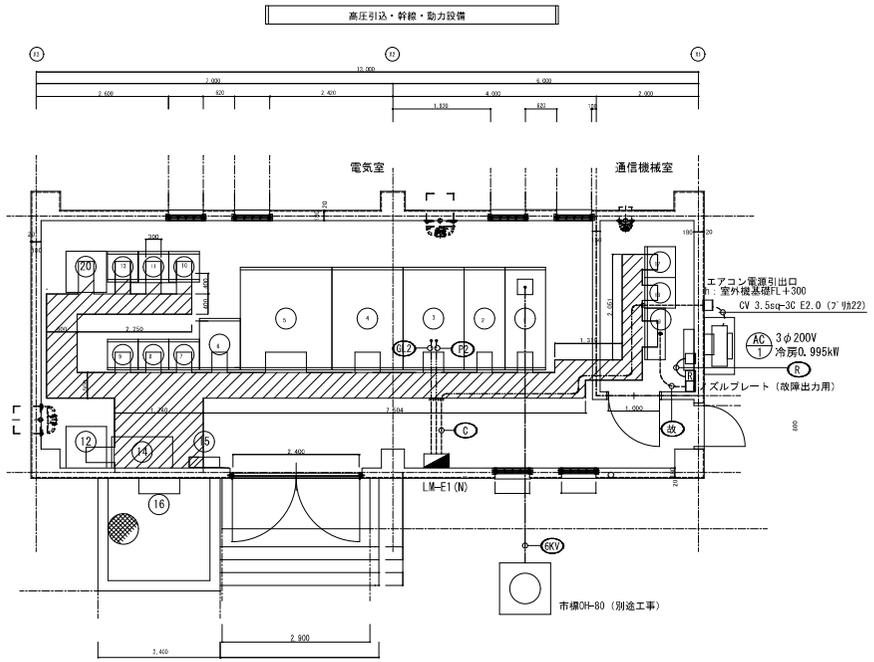
1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

———	スラブ内いんべい配線
-----	床スラブ内いんべい配線
.....	ピット内ころがし配線
=====	レースウェイ内配線
-----	地中埋設配線

機器リスト (別途工事)		
番号	名称	備考
1	受電盤	別途工事
2	変圧器一次盤	〃
3	所内変圧器盤 20kVA	〃
4	照明変圧器盤 100kVA 将来:150kVA	〃
5	動力変圧器盤 300kVA	〃
6	直流電源装置	〃
7	照明制御盤	〃
8	照明コントロールセンタ (1)	〃
9	照明コントロールセンタ (2)	〃
10	排煙用換気制御盤	〃
11	換気コントロールセンタ (1)	〃
12	保守用変圧器盤	〃
13	UPS 3kVA	〃
14	保守切替盤	〃
15	接地端子盤	〃
16	保守接続盤 (壁外防水SUS仕様)	〃
17	IP-10子局	〃
18	通信機器収容箱	〃
19	MDF	〃
20	保守用変圧器盤	〃



記号	配線サイズ	備考
———	1.6×2 (PF16)	配管のみ既設
-----	1.6×3 (PF16)	〃
.....	1.6×5 (PF22)	〃
=====	1.6×3 (レースウェイ40×30)	〃
-----	1.6×5 (レースウェイ40×30)	〃
-----	1.6×6 (レースウェイ40×30)	〃



記号	名称	電圧	配線サイズ	備考
(KV)	高圧引込	6.6kV	6.6KVCV138sq FEP80×2, FEP50×1	配管のみ既設 (配線は別途工事)
(L)	LM-E1 (N)	1φ3W	CV 5.5sq-3C E2.0mm PF28×3 (ピット内300'シ)	配管のみ既設
(P)		3φ3W	CV 5.5sq-3C PF28×2 (ピット内300'シ)	〃
(C)	空調機 (AC-1)	1.12kW	CV 3.5sq-3C E2.0mm PF22 (ピット内300'シ)	〃
(故)	空調機故障情報	CV 1.25sq-2C	PF16 (ピット内300'シ)	〃
(R)	ワイヤードリモコン	VCTF 0.3sq-2C	PF16	〃

令和6年度			
工事名	広島高速5号線	料金所新築その他工事	
図面番号		縮尺	1:50
図名	中山電気室 換気・コンセント 業務電話設備	番号	E-12
路線名	広島高速5号線		
	広島高速道路公社		

注記 1. スラブ内の配管・ボックスを施工済である。

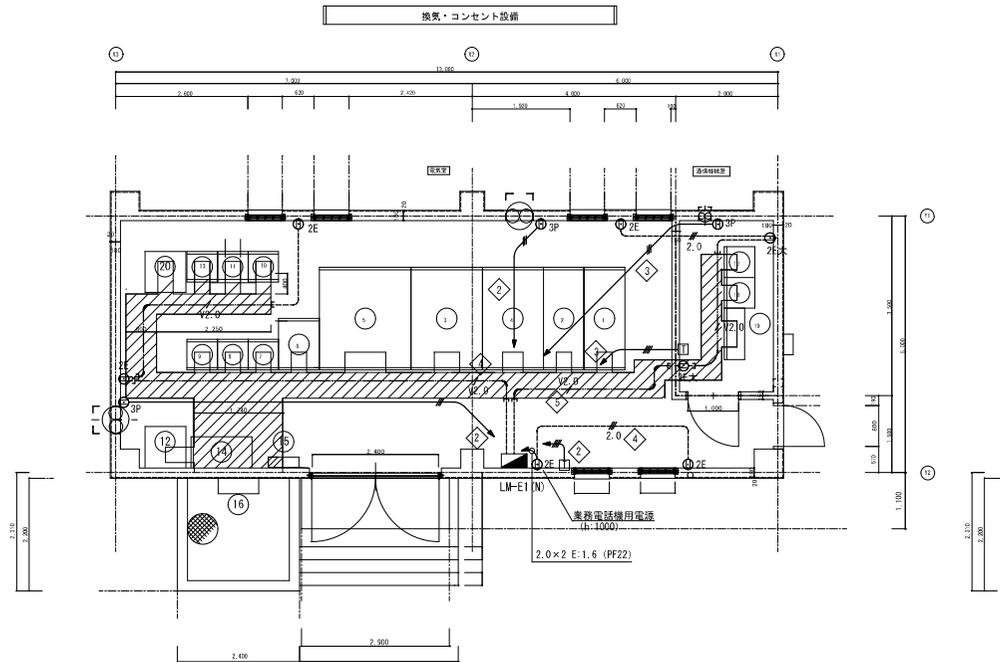
凡例

記号	名称	備考
■	電灯動力盤	
○	有圧換気扇	
①2E	コンセント	2P15A×2端子付 0B102×44 (既設)
大①2E	コンセント	2P15A×2端子付 0B119×54 (既設)
①3P	換気扇用コンセント	3P引掛15Aキャップ付
□	サーモスタット	(木工事付帯機械設備工事支給品) 0B102×54 (既設)
①	電話用モジュラージャック	0B102×44 (既設)

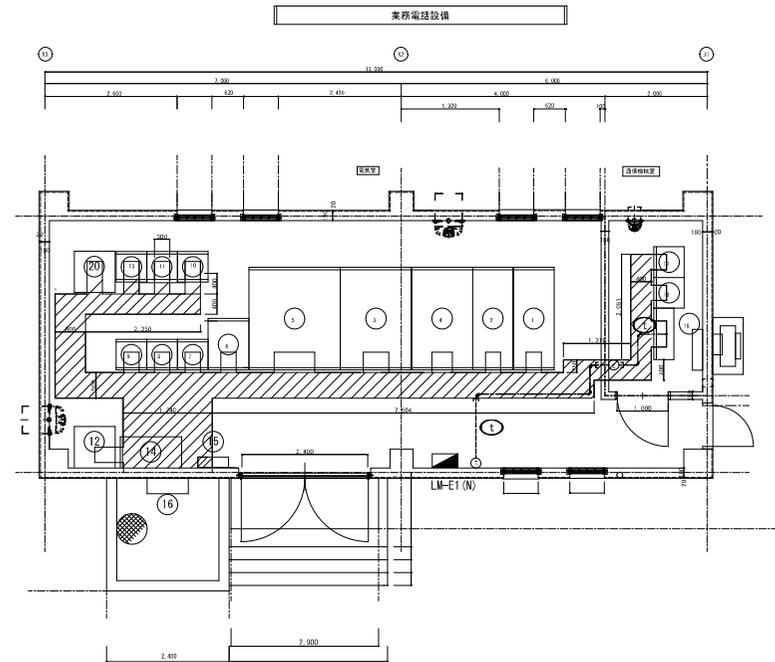
(注記)

1. 図中特記なき配管配線は下記とする。

- スラブ内いんべい配線
- 床スラブ内いんべい配線
- ビット内ころがし配線



記号	配線サイズ	配管のみ施工
—●—	2.0×2 E:1.6 (PF16)	〃
—●—	1.6×2 E:1.6 (PF16)	〃
—●—	VVF2.0-3C (PF22)	(ビット内30φ)
—●—	1.6×4 (PF16)	〃



記号	名称	配線サイズ	配管のみ施工
○	業務電話回線	AE1.2-2C PF16 (ビット内30φ)	〃

令和 6 年度			
工事名	広島高速 5 号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 設備凡例	番号	M-01
路線名	高速 5 号線		
広島高速道路公社			

設備凡例 S=NON

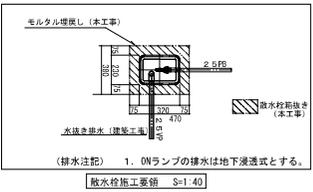
凡例

記号	名称	配管材料及びその他使用材料	備考
—R—	冷媒管	一般：冷媒用被覆銅管（室内外機渡り配線は本工事） JCDA 0009	※屋外露出部は樹脂製化粧カバーにて保護（メーカー仕様）
—D—	ドレン管	一般：硬質塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	※隠ぺい部は保温チューブ巻きを行うこと。屋内露出部は保温チューブ+配管化粧カバー巻きを行うこと。
—SA—	給気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	※屋内隠ぺい部は保温を行うこと、種別はI・（ロ）・XI とする。
—RA—	還気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—OA—	外気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—EA—	排気ダクト	一般：スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—D—	ベントキャップ	SUS製深型（指定色焼付塗装）	
+	ドアガラリ		※建築工事
□	サーモスタッド		
— — —	給水管	水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管（SGP-PB） JWWA K 132	屋内配管（屋外露出・桁内） 保温防露施工 屋外露出はe ₂ ・（ハ）・Ⅶ、天井内・PS内はc・（ハ）・Ⅶ、床下・ピット内はd・（ハ）・Ⅶとする。
		水道用ポリエチレン紛体ライニング鋼管（SGP-PD） JWWA K 132	土間配管
		水道用ポリエチレン管 1種2層管 JIS K 6762	屋外埋設（道路、歩道下）
— — —	排水管	硬質塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	屋内配管（桁内）、埋設配管（100φ以下）
		硬質塩化ビニル管（VU） JIS K 6741	埋設配管（150φ以上）
		排水用塩ビライニング鋼管 WSP 042	屋外立管（屋外露出）、MD継手
.....	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741	

- (注記) 1. 本工事に使用する材料は下記仕様書による。
 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）国土交通省監修
 上記に該当しない場合は承諾を得るものとする。
 2. 本工事に使用するコンクリートアンカーについて特記なき場合は金属拡張おねじアンカーとする。
 3. 本工事に使用する金属製弁類、継手類について特記なき場合は管端防食を行うこと。
 4. 本工事に使用する電線類（電源線、操作線、接地線等）について特記なき場合はJCS規格による。
 5. 床下、ピット内配管は、レベルバンド支持とする。
 6. 給水設備は全て広島市水道局の指定品、指定工法とする。

令和 6 年度	
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事
図面番号	縮尺 1:200
図名	中山料金所 給排水設備 配置図
路線名	高速5号線
	広島高速道路公社

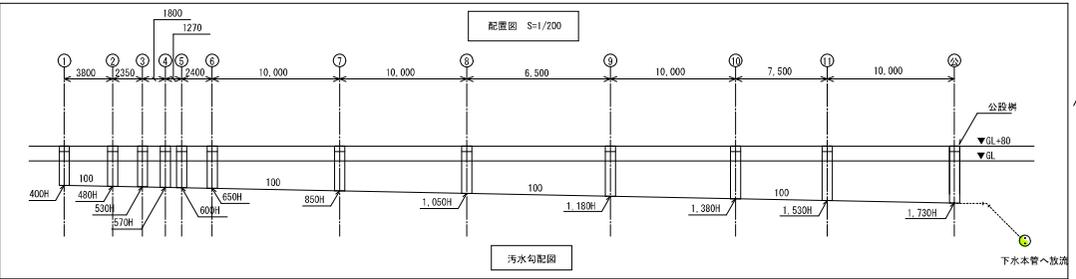
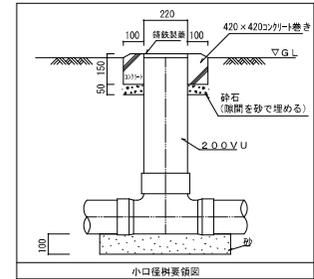
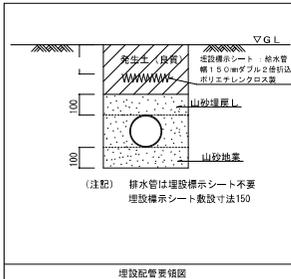
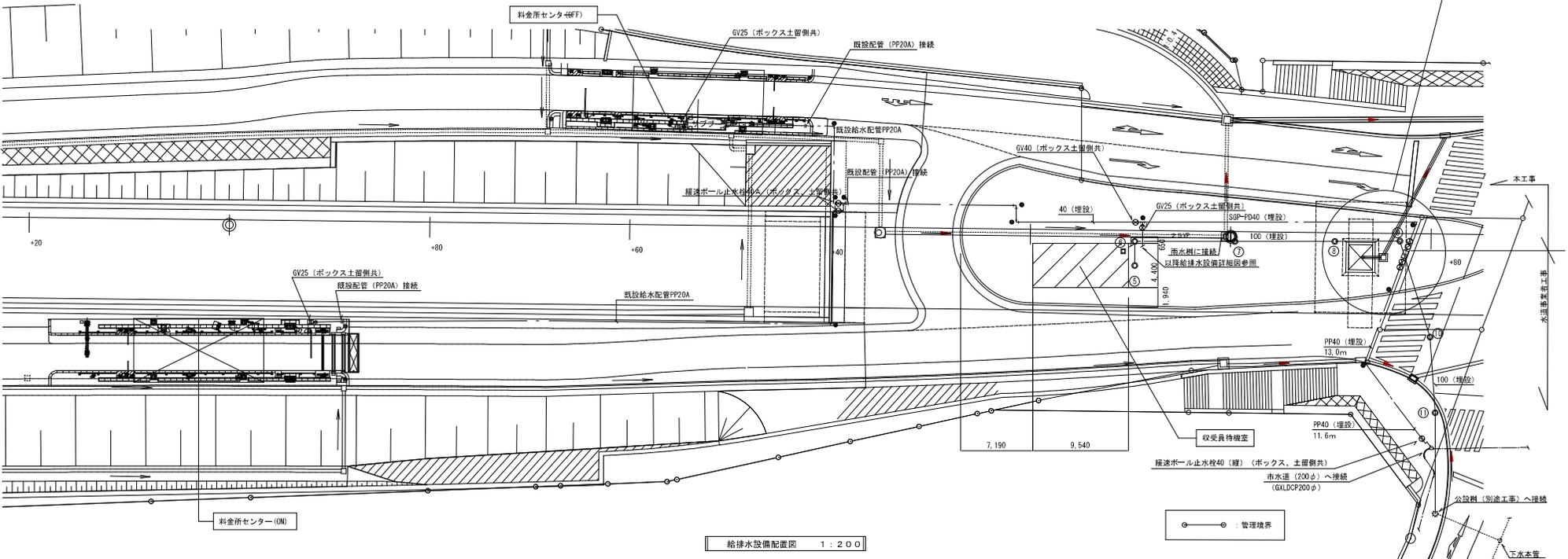
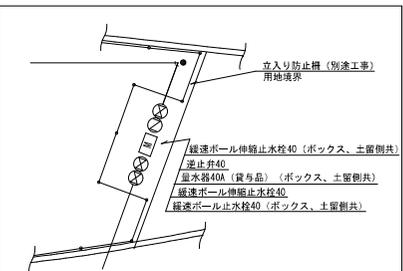
器具表			
器具名	広島市機械設備工事概算仕様表記号	数量	備考
散水栓	13-HF1	2	
散水栓ボックス	B-3	2	屋外
仕切弁	GV-25 10k	2	
仕切弁	GV-40 10k	2	



排水機リスト

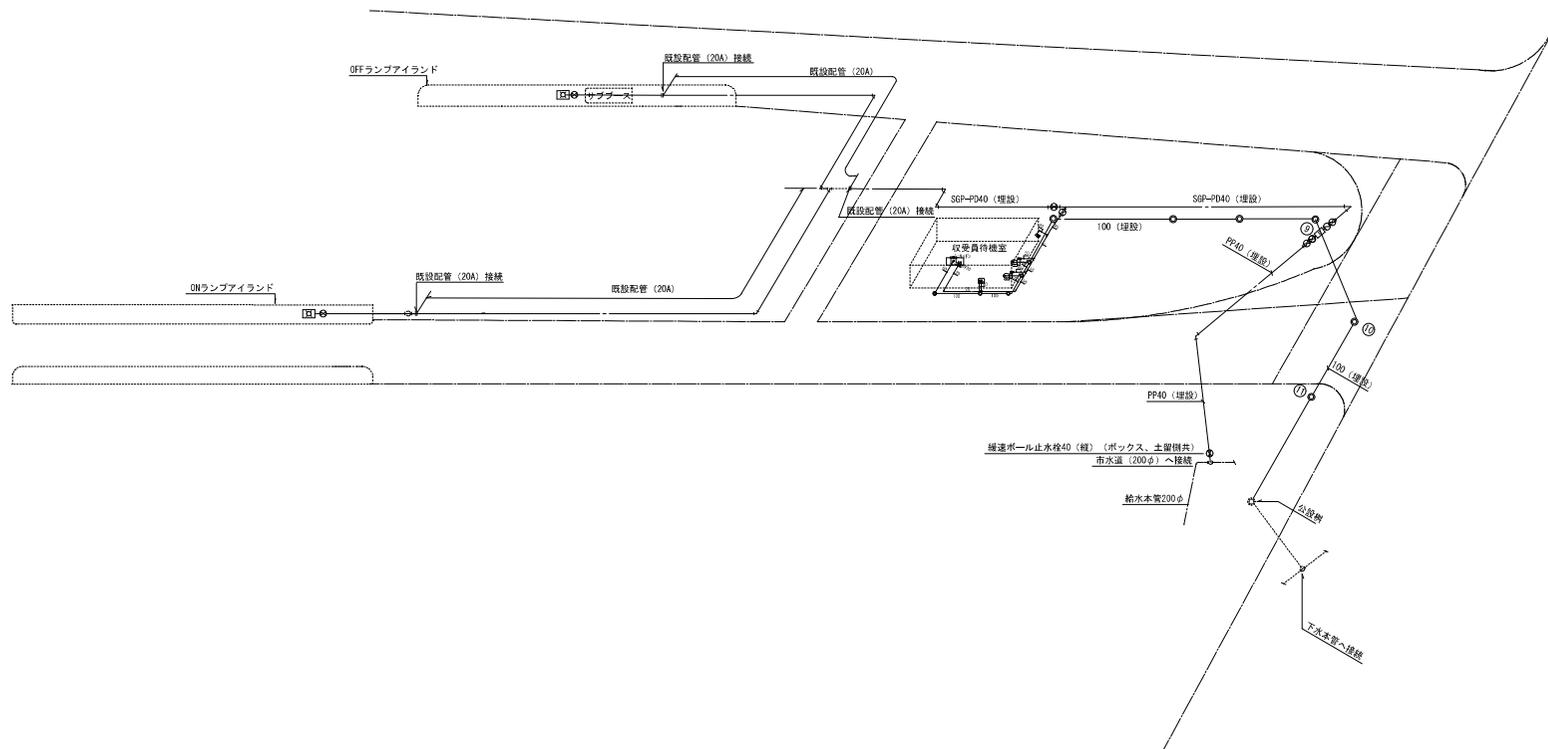
番号	名称	種類	仕様	GL±0からの管径H (mm)	計画GLからの管径H (mm)	地盤高 (計値GL)	マンホール	備考
①	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+140	+220	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
②	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+230	+310	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
③	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+280	+360	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
④	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+320	+400	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
⑤	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 Y	+520	+600	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
⑥	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - 90 L	+570	+650	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
⑦	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - ST	+770	+850	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
⑧	インバート樹	小口径樹	200 - 100 - ST	+970	+1,050	+80	鉄製製防護蓋 (T-8)	
⑨	インバート樹	RC樹	900 - 100 - 90 L	+1,100	+1,180	+80	MPH-600	SC-4
⑩	インバート樹	RC樹	900 - 100 - ST	+1,300	+1,380	+80	MPH-600	SC-4
⑪	インバート樹	RC樹	900 - 100 - ST	+1,450	+1,530	+80	MPH-600	SC-4

(排水機注記) 1 排水管の勾配は原則1/50以上とする。
 2 地盤高、余所深さは参考値とし、現場にて調整する。
 3 インバート樹施工については、本図及び公共建築設備工事標準図 (機構設備工事編) を参考とする。



令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	NON	
図名	中山料金所 給水・排水管 系統図	番号	M-03
路線名	高速5号線 広島高速道路公社		

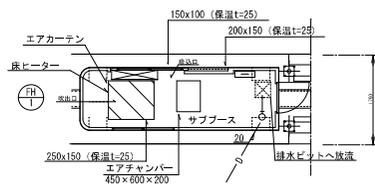
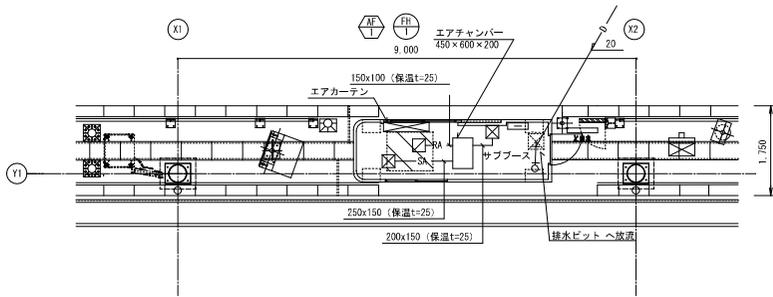
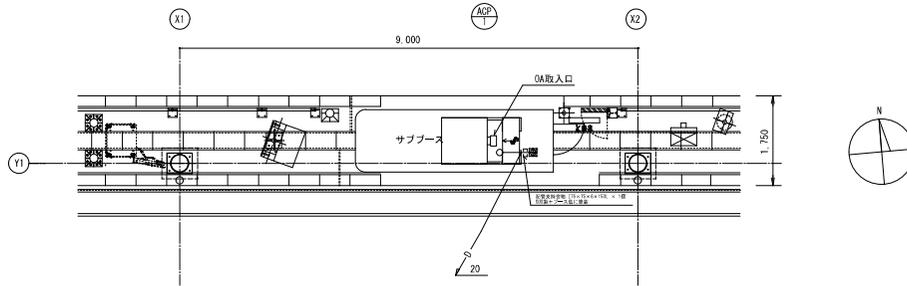
給水・排水管 系統図



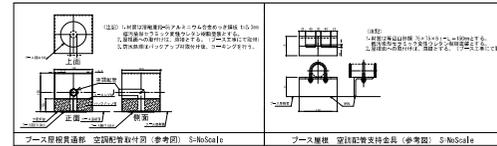
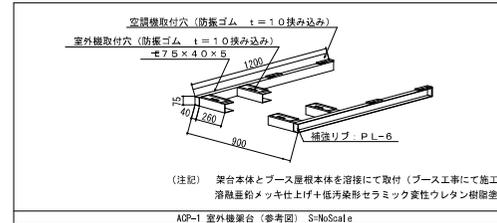
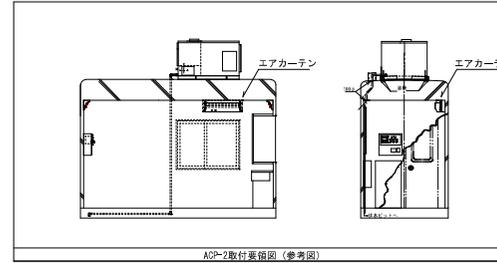
令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1 : 5 0	
図名	中山料金所 (サブブース) 空調換気設備詳細図・機器表	番号	M-04
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			

凡例

記号	名称	配管材料及びその他使用材料	備考
—D—	ドレン管	一般: 硬質塩化ビニル管 (VP)	JIS K 6741
—SA—	給気ダクト	一般: スパイラルダクト、亜鉛鉄板	
—RA—	送気ダクト	一般: スパイラルダクト、亜鉛鉄板	



サブブース内観図 S=1/30



空調換気機器表

記号	名称	仕様	電圧	台数	設置場所	備考
ACP T	空冷式パッケージエアコン	型式: 空冷IP方式 (ブース屋根上設置ダクト式) 冷房能力: 4.5kW (1.6~5.0kW) 暖房能力: 5.0kW (2.0~6.3kW) トナ以外 補助ヒート: 2.0kW 圧縮機: 1.1kW (インバータ式) 付属品: 加圧・吸気ファン、補助ヒーター制御盤 防振J.M、空調機架台、吸気管及び支持金物 コントロールボックス (7台ドレパン、9台ドレパン)	3φ200V 冷房: 24kW 暖房: 60kW エアカーテン: 0.83kW	1	1階 収受室	OA: 5.0m³/min以上 (3000M³) 以上 循環: 7.0m³/min (4200M³) エアカーテン機込 (記号: AF1) 型式: 金属製貫流扇 能力: 240m³/h以上 風速: 3~6m/sec ヒーター: 800W
FH T	床ヒーター	型式: 床置き式 (売床上) 直貼りフローリング用 ヒーター: 155W、寸法: 750×900×12 付属品: 制御盤、サーミスタ	1φ200V 155W	1	1階 収受室	制御盤は電気工事で取付

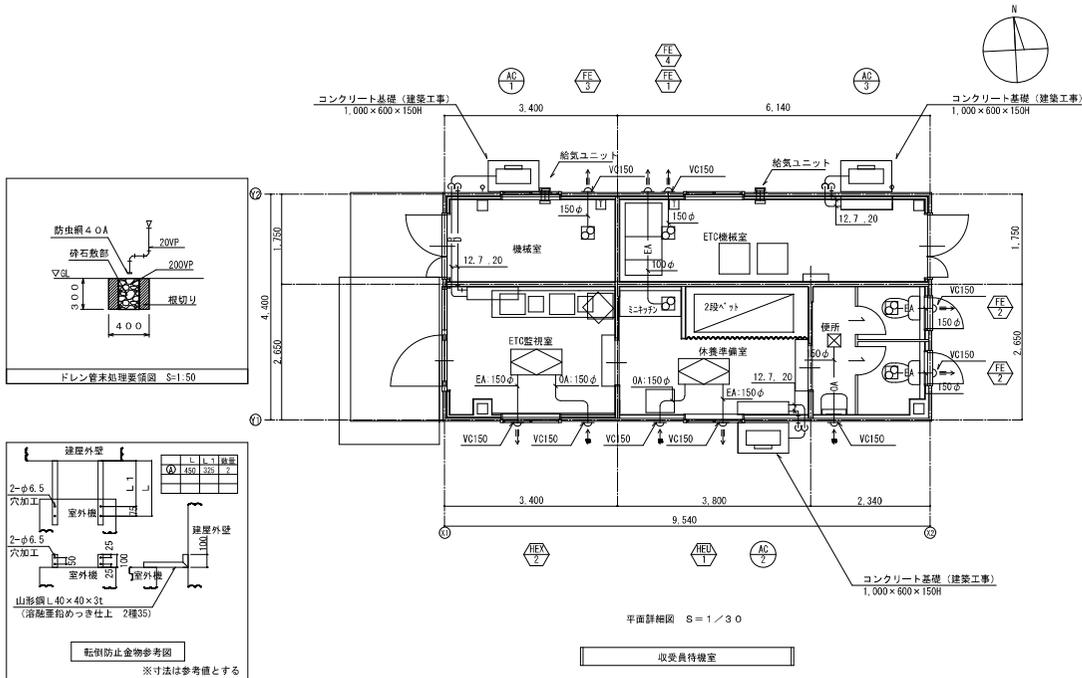
特記仕様
1. 機器は製造者の標準仕様とする。
2. 予備フィルターは100%とする。
3. 電気容量は参考値とする。

制気口リスト

業名	系統	制気口						備	備考
		寸法		ボックス		ボックス内径			
		L	W	L	W	H	無	備	
1階 サブブース	空調給気	VHS	200	200	-	-	-	1	
1階 サブブース	空調給気	VHS	100	300	-	-	-	1	
1階 サブブース	空調送気	GHS	150	250	-	-	-	1	

- (注記) 1. エアコン室内外機の連絡配管は本工事とし共巻きとする。
2. 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。
3. ペントキャップは深型ステンレス製とし焼付指定色仕上げとする。
4. 外気取入れダクトは防露 (GW25mm) 施工のこと。
5. 排気ダクトは外壁より1mまで防露 (GW25mm) 施工のこと。
6. 排気ダクト スパイラルダクト: 屋内隠蔽・機械室内はN・(ロ)・XI とする。
7. 排気仕様 長方形ダクト・チャンバー: 屋内隠蔽はI・(ロ)・XI とする。
8. 屋内ドレン配管は化粧カバー内とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 収受員待機室 空調換気設備 詳細図・機器表	番号	M-05
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



空調換気機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
AC1	壁掛エアコン	型式: 空冷IP式 壁掛形H-L17コ 冷房能力: 2.2kW 暖房能力: 2.2kW 圧縮機: 0.60kW (インバータ式) 付属品: VE2、リモコン、 防振ゴム、遠隔操作77ボタン	1φ100V 冷房0.57kW 暖房0.47kW	1	1階 ETC監視室	コンクリート基礎 (建築工事)
AC2	壁掛エアコン	型式: 空冷IP式 壁掛形H-L17コ 冷房能力: 2.2kW 暖房能力: 2.2kW 圧縮機: 0.60kW (インバータ式) 付属品: VE2、リモコン、 防振ゴム、遠隔操作77ボタン	1φ100V 冷房0.57kW 暖房0.47kW	1	1階 休養準備室	コンクリート基礎 (建築工事)
AC3	空冷式パッケージエアコン	型式: 空冷IP式 壁掛形 冷房能力: 4.5kW 圧縮機: 0.71kW (インバータ式) 付属品: 77ボタン、リモコン、 防振ゴム、遠隔操作77ボタン	3φ200V 冷房1.15kW	1	1階 ETC機械室	異常警報用端子付 停電後自動復帰設置付 コンクリート基礎 (建築工事)
HE1	全熱交換器	型式: ダクト用全熱交換器 (天井埋込形) 能力: 100φ×40m ³ /h×50Pa 付属品: リモコン、 SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 60W	1	1階 休養準備室	
HE2	全熱交換器	型式: ダクト用全熱交換器 (天井埋込形) 能力: 100φ×60m ³ /h×100Pa 付属品: リモコン、 SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 60W	1	1階 ETC監視室	
FE1	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×60m ³ /h×100Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 27W	1	1階 休養準備室 (ミニキッチン)	
FE2	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×70m ³ /h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 15.5W	2	1階 便所	
FE3	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×80m ³ /h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 15.5W	1	1階 機械室	
FE4	天井扇	型式: 低騒音形 能力: 100φ×130m ³ /h×50Pa 付属品: SUS製深型フード (防虫網付)	1φ100V 23W	1	1階 ETC機械室	
	給気ユニット	型式: 差圧式、壁取付型 仕様: 150φ×150m ³ /h 付属品: 外気洗浄フィルター、ペントキャップ、 他付属品一式	-	2	1階 ETC機械室 1階 機械室	
	温度スイッチ	型式: 埋込形 (温度調整範囲0°~40°)	-	2	1階 ETC機械室 1階 機械室	電気工事で据付け

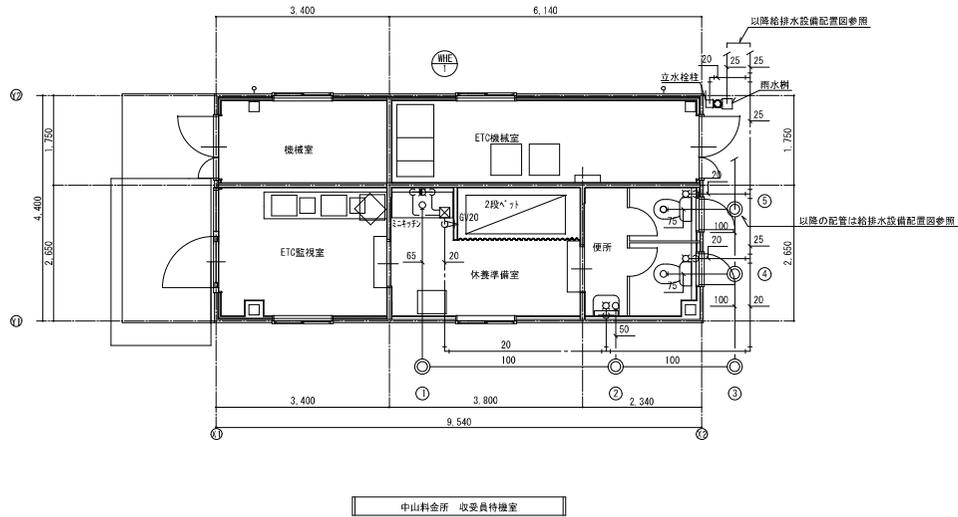
特記仕様
1. 機器は製造者の標準仕様とする。 4. 電気容量は参考値とする。
2. 機器基礎は建築工事とする。
3. 予備フィルターは100%とする。

制気口リスト

室名	系統	風量				種類	制気口					備	備考	
		SA	RA	OA	EA		寸法		ボックス内嵌		ボックス内嵌			
		m ³ /h	m ³ /h	m ³ /h	m ³ /h		L	W	L	W	H	無	GW25t	
1階 便所前室	外気	-	-	140	-	WHS	200	200	400	400	350	-	O	2

- (注記) 1. エアコン室内外機の建蔽配線は本工事とし共巻とする。
2. 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。
3. ペントキャップは深型ステンレス製とし焼付指定色仕上げとする。
4. 外気取入れダクトは防露 (GW25mm) 施工のこと。
5. 排気ダクトは外壁より1mまで防露 (GW25mm) 施工のこと。
6. 保温仕様 スパイラルダクト: 屋内階機・機械室内はN・(ロ)・XI とする。
7. 保温仕様 長方形ダクト・チャンパー: 屋内階機はI・(ロ)・XI とする。
8. 保温仕様 排気筒: RFR50mm・アルミガラスクロス・電牛金網とする。

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山料金所 収受員待機室 給排水設備 配管詳細図	番号	M-06
路線名	高速5号線		
広島高速道路公社			



衛生機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
①	電気温水器	型式：設置型貯湯式 先止め式（飲用・洗物用） 能力：貯湯量12L 付属品：シングルレバー混合水栓、選問スケジュールタイマー、安全弁、練水ホッパー、その他付属品一式	1φ100V 1.1kW	1	1階 ミニキッチン	参考型番：REK812A12 (TOTO) 転倒防止措置は「国土交通省告示第1447号」に則った施工方法とする。

特記仕様
1.機器は製造者の標準仕様とする。 2.電気容量は参考値とする。

器具表

器具名	数量	備考
仕切弁	1	

衛生器具表

器具名	型式	JIS記号	数量	電気容量
洋風便器	鍾形タンク密結形先落とし便器	C120R	2	-
	ロータング（防露式、手洗い付）	-	-	-
	洗浄便座	-	-	1φ100V-410W
手洗器	紙巻器（樹脂製）	-	-	-
	手洗器（一般）	L710	1	-
	台付自動水栓（単水栓）	13-F-A	-	1φ100V-5W
	水石けん入れ	-	-	-
	取付金具	-	-	-
壁排水金具（Pトラップ）	-	-	-	-
水栓柱	泡沫自在水栓、水栓柱	13-F9A	1	-

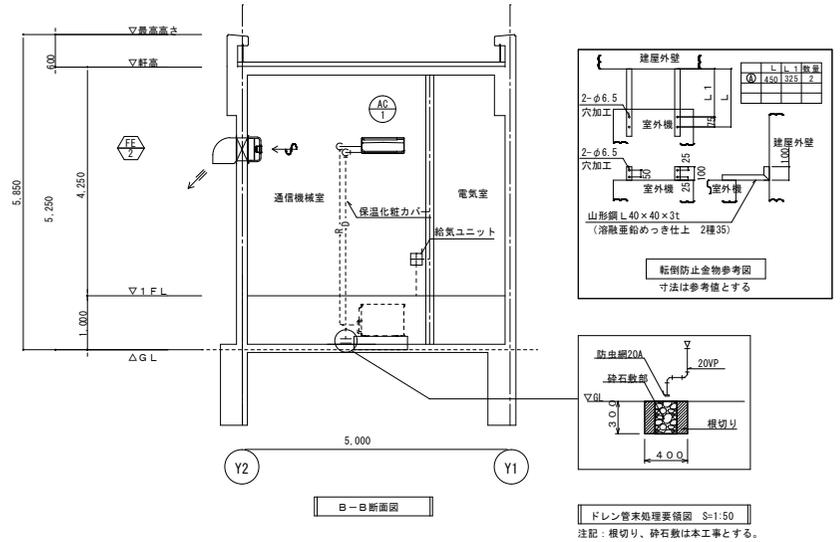
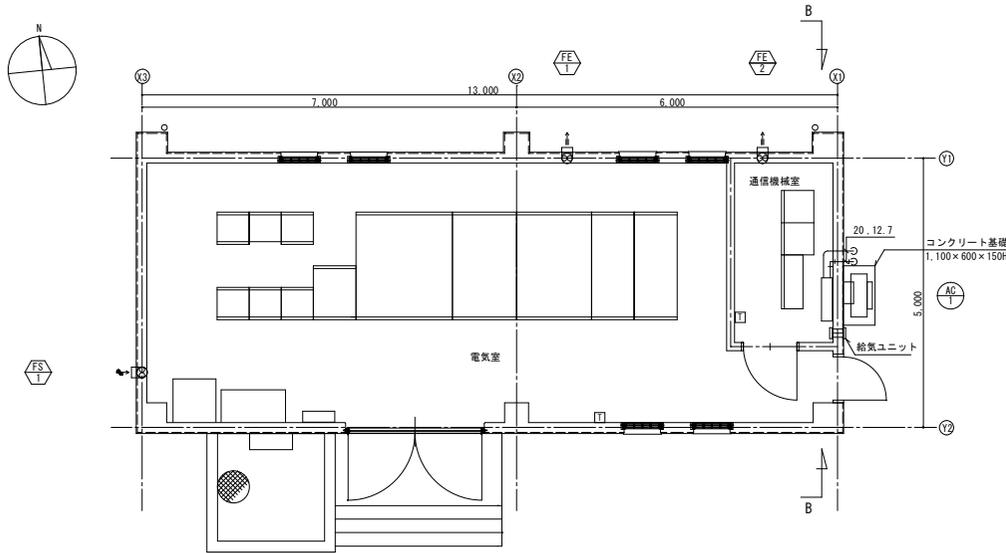
注記
上記記号は広島市都市整備局建築部設備課監修 機械設備工事機材標準図 (H22年度対応) による

令和 6 年度			
工事名	広島高速5号線料金所等新築その他工事		
図面番号	縮尺	1:50	
図名	中山電気室 空調換気設備 詳細図・機器表	番号	M-07
路線名	広島高速5号線		
広島高速道路公社			

空調換気機器表

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	備考
AC1	空冷式パッケージエアコン	型式：空冷式 壁掛形 冷房専用 冷房能力：4.0kW 圧縮機：0.71kW（インバータ式） 付属品：7ヤード配管、90度エルボ、 防振ゴム、遮熱操作パネル、 空調機故障番号出力付き	3φ200V 冷房0.995kW	1	通信機械室	異常警報用端子付 停電後自動復帰装置付 9ヤード付 コンクリート基礎 あと施工アンカー（M10程度） スリーブ（φ100）
FE1	有圧扇	型式：排気用 低騒音形 能力：450φ×3.400m ³ /h×30Pa 付属品：SUS製カテナ（防虫網付）、保護ガード、 取付枠（不燃）、SUS製風圧センサー	1φ100V 390W	1	電気室	FS-1と連動運転 箱抜き530角（既設）
FE2	有圧扇	型式：排気用 低騒音形 能力：200φ×1500m ³ /h×30Pa 付属品：SUS製カテナ（防虫網付）、保護ガード、 取付枠（不燃）、SUS製風圧センサー	1φ100V 19.5W	1	通信機械室	箱抜き230角（既設）
FS1	有圧扇	型式：排気用 低騒音形 能力：450φ×3.400m ³ /h×30Pa 付属品：SUS製カテナ（防虫網付）、保護ガード、 取付枠（不燃）、SUS製風圧センサー	1φ100V 390W	1	電気室	FE-1と連動運転 箱抜き530角
	給気ユニット	型式：差圧式、差取付型 仕様：150φ×1500m ³ /h 付属品：外気洗浄フィルター、ベントキャップ、他付属品一式	-	1	通信機械室	スリーブ（φ200）（既設）
	温度スイッチ	型式：埋込形（温度調整範囲0°～40°） 自動・切・連続切替スイッチ、通電・運転ランプ付	-	2	電気室 通信機械室	0B102角54（既設）

特記仕様
 1. 機器は製造者の標準仕様とする。 2. 電気容量は参考値とする。 3. 予備フィルターは100%とする。
 4. エアコン室内外機の連絡配線は冷媒配管への共巻きとする。 5. 露出冷媒管の外装材は樹脂製化粧カバーとする。



中山電気室 空調・換気設備図

注記 1. 次の項目は施工済み。

- ・エアコンの冷媒・ドレン配管の壁スリーブ
- ・エアコンの基礎、ドレン排水受け砕石
- ・有圧換気扇、吸気ユニット用壁穴あけ